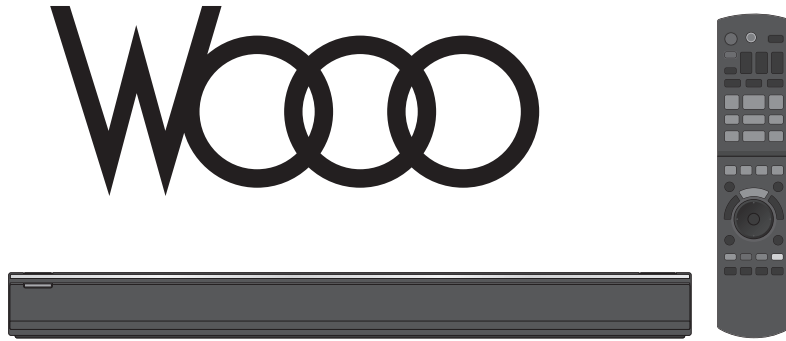
HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書
ブルーレイディスクレコーダー

ディーブイエル　ビーアールティー 12
DVL-BRT12

このたびは、日立ブルーレイディスクレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

HDD（ハードディスク）は一時的な保管場所です。
万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDDの内容（録画済みの番組データなど）の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

本取扱説明書の内容は2012年2月現在の放送運用に基づいて作成されています。今後の放送運用の変更により、一部内容が異なる場合があります。

本機では地上アナログ放送の受信はできません。

3D/Progressive
接続と設定を行ってください ▶ 9 ページ
詳しい接続、設定については、157 ページをご覧ください。

保証書別添付

安全上のご注意
接続／設定
視聴
録画
再生／編集
ダビング
CATV
他の機器と
写真／音楽
便利機能
必要なとき

TSBRT701
VQT4E92

本機の「特長」

録画が便利

▶ 58 ページ

複数番組同時録画 見たいデジタル放送の番組が重なっても、両方ともハイビジョン画質で録画できます。
- スカパー! HDの番組と重なっても録画できます。

関連番組まとめて予約 お好みの項目に関連した番組を自動で予約録画できます。

3D映像を楽しむ

▶ 68 ページ

3D対応テレビと接続し、臨場感にあふれた、迫力ある3D映像をお楽しみいただけます。

番組を持ち出す

▶ 112 ページ

録画した番組を携帯電話などのモバイル機器に持ち出してお楽しみいただけます。

思い出を見る／残す

動画

▶ 61、95 ページ

ビデオカメラなどで撮影した動画の取り込みができます。
ハイビジョン動画(AVCHD)の場合、再生もできます。

写真

▶ 104、107 ページ

デジタルカメラなどで撮影した写真の再生や取り込みができます。

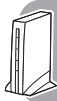
市販のUSBハードディスク[※1]に対応

▶ 152 ページ

※1 以降、USB-HDDと表示

Woooリンク(HDMI)

▶ 110 ページ

HDMIケーブルでWoooリンク対応機器とつなげば、Woooのリモコン1つで本機の操作を
行うことができます。

ネットワークにつないで楽しむ

スカパー! HD録画

▶ 103 ページ

対応チューナーから本機にハイビジョン番組をそのままの画質で録画できます。

AVネットワーク機能

▶ 122 ページ

本機に録画した映像を別の部屋で見ることや、別の部屋にある機器の映像を本機で見ることができます。

アクトビラ

▶ 116 ページ

テレビでいろいろな情報を見ることができます。

ネットワークを使ってダビング

▶ 102 ページ

HDD内蔵の当社製AVネットワークダビング対応のテレビからダビングできます。

1ヵ月の番組表/注目番組

▶ 41、43 ページ

1ヵ月の番組表※2や注目番組※3を表示することができます。

※2 ネットワークで番組情報を提供している放送局のみ（2012年2月現在、WOWOW、スター･チャンネルのみ）

※3 ネットワークで番組情報を提供している放送局のみ（2012年2月現在、NHK、WOWOW、スター･チャンネルのみ）

目次

視聴

録画

再生 / 編集

ダビング

(➔ 次ページに続く)

目次（続き）

CATV

他の機器と

写真 / 音楽

便利機能

必要なとき

本機の設置について

- ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
- 不安定な場所に設置しない。
- 重いものを上に載せない。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - ･急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
  - ･湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - ･梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約２～３時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから３分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

[電源⏻/I]を
3秒以上押す

本機の電源が切れます。

故障かな !? と思った場合 ➜183

本機を廃棄 / 譲渡するときは

155 ページをご覧ください。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。詳しくは 116 ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。

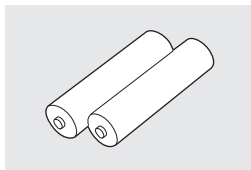
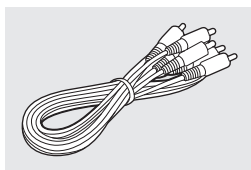
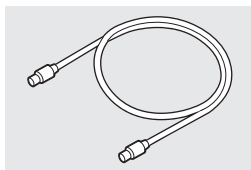
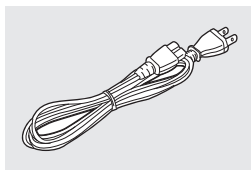
Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

本書内の表現について

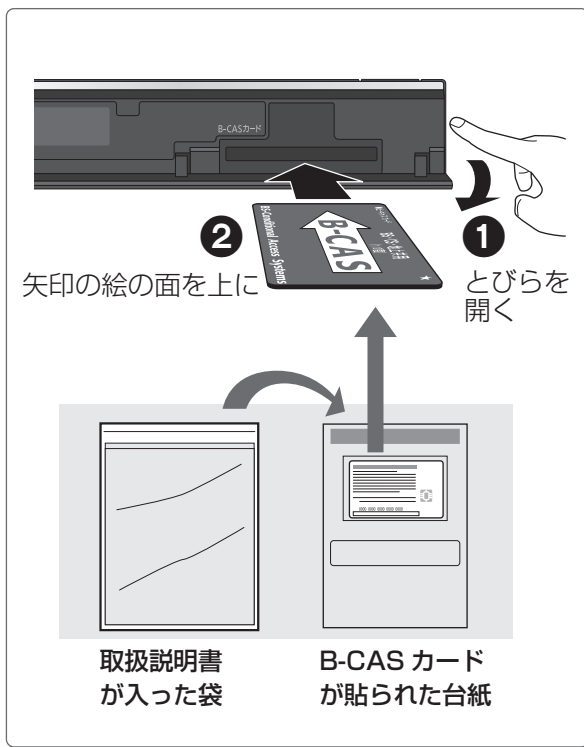
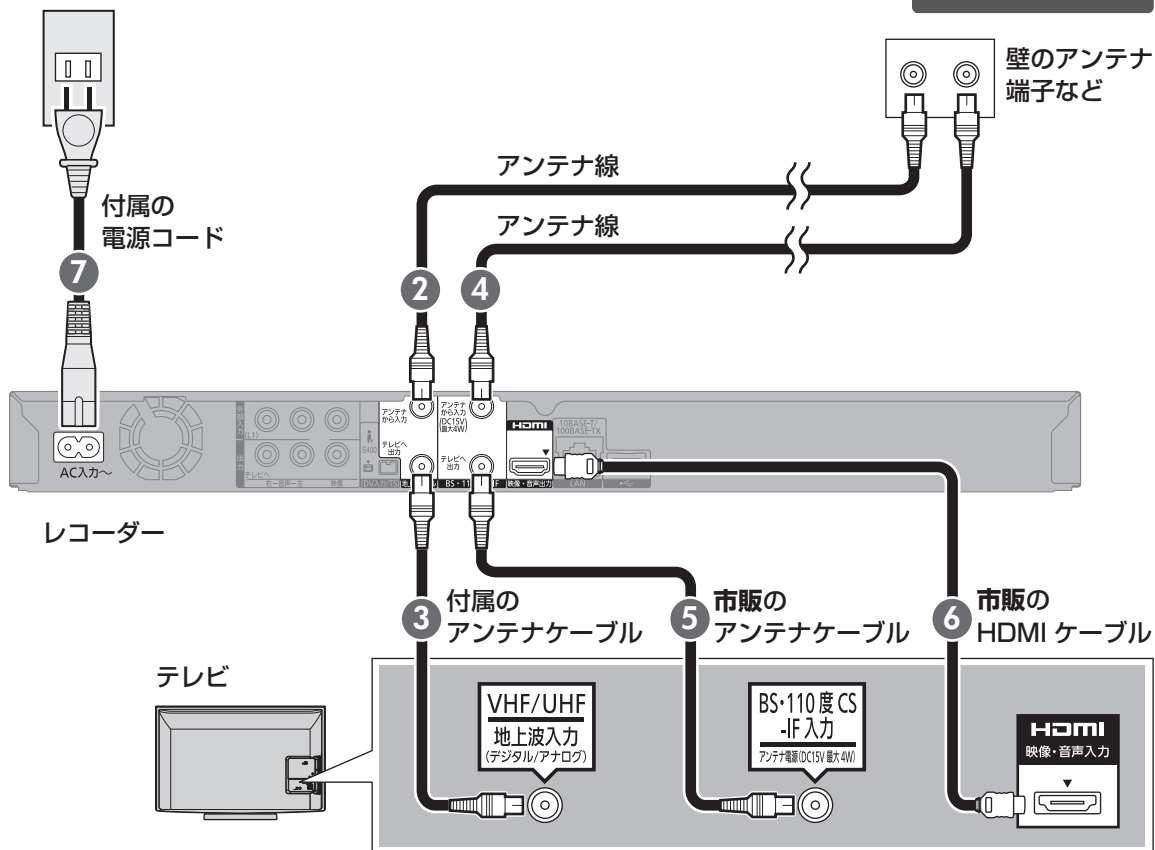
- 本書内で参照していただくページを（➜○○）で示しています。
- 本書では、スタート画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。

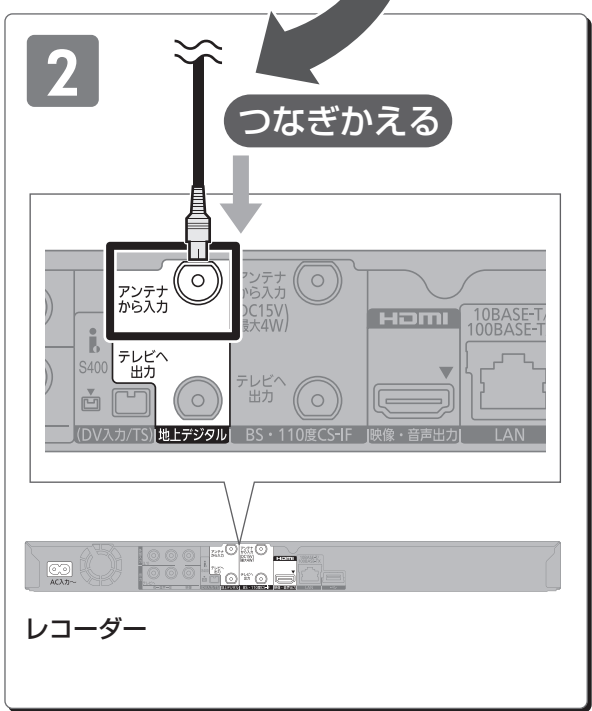
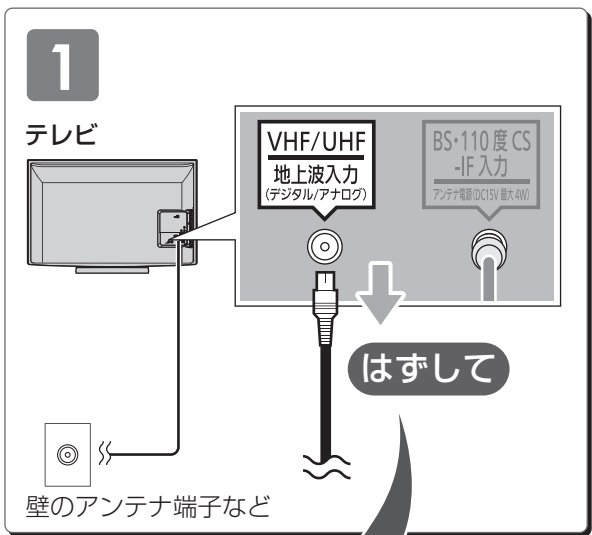
接続と設定を行ってください

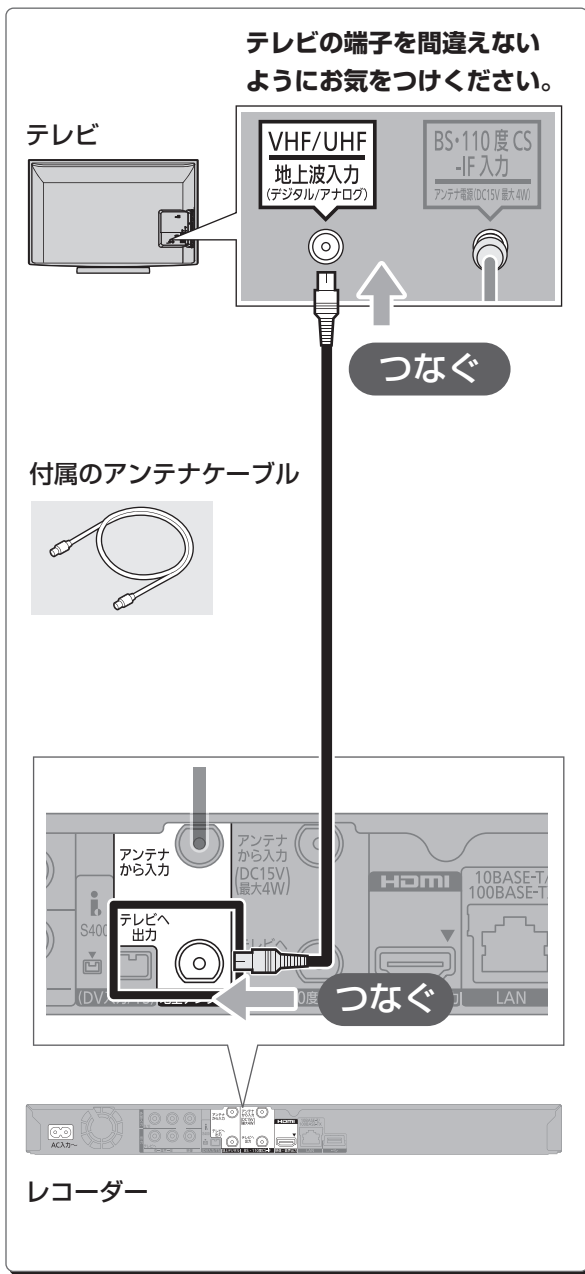
付属品

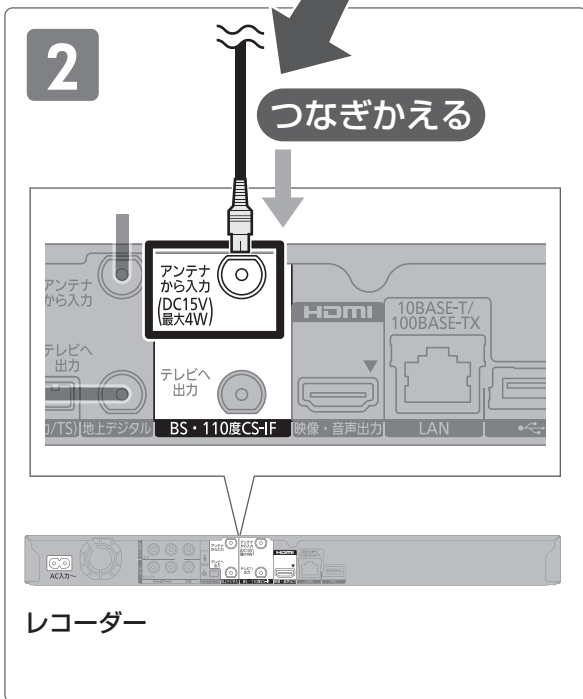
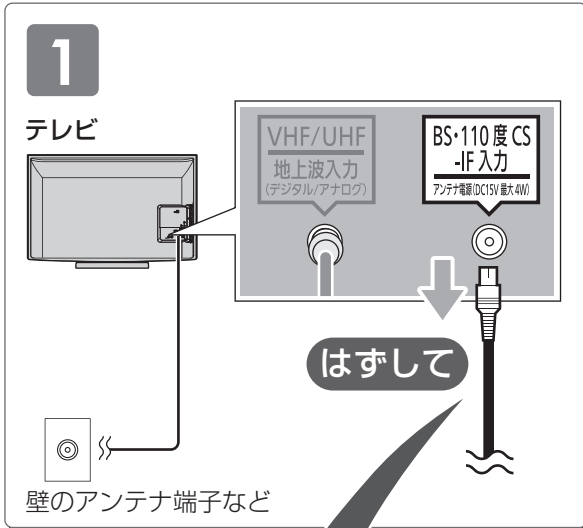
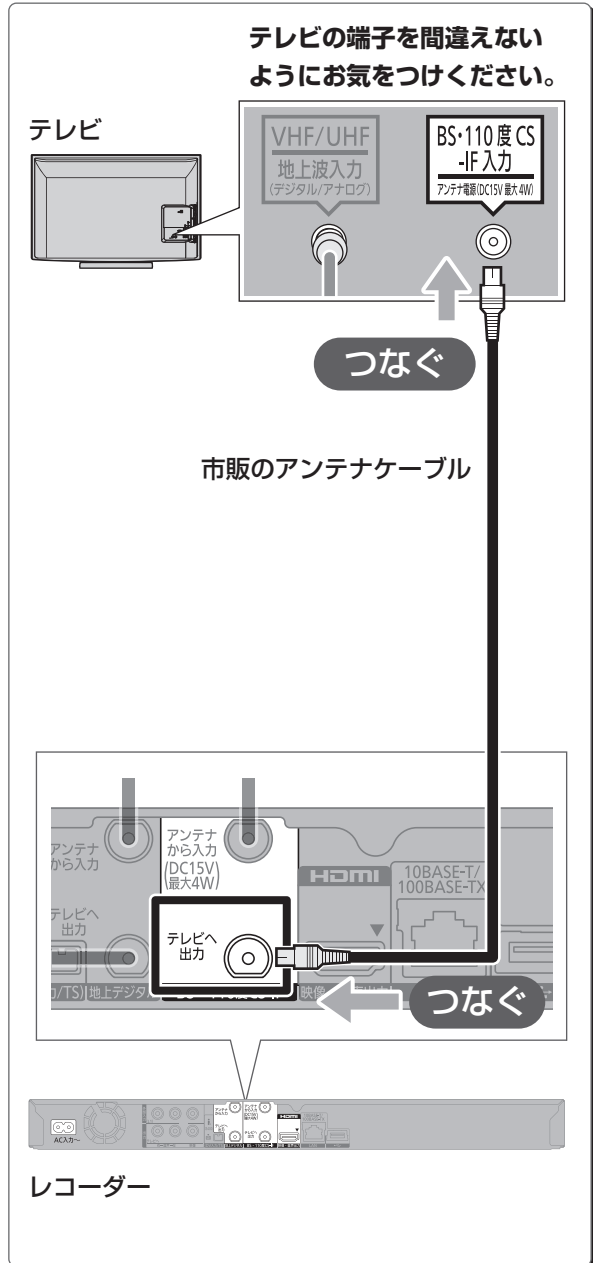
リモコン（1 個）
DVL-RMBRT12

リモコン用乾電池（2 本）
単 3 形乾電池
(動作確認用）

映像・音声コード（1 本）

アンテナケーブル
（75Ω 同軸ケーブル）（1 本）

電源コード（1 本）

B-CAS カード（1 枚）
- 台紙に貼り付けてあります。
- 本カードの紛失時は
（➜158）

- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2012 年 2 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

ご家庭のアンテナ端子に合わせて接続してください

② 地上デジタル放送 アンテナをつなぎかえる

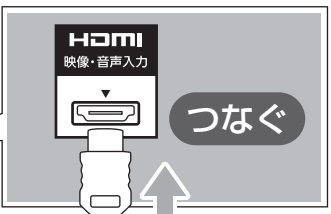
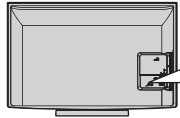
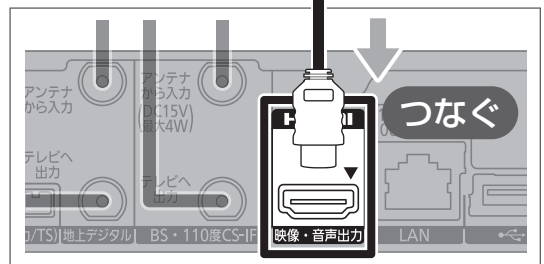
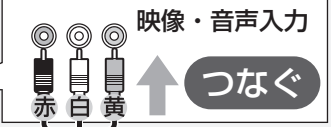
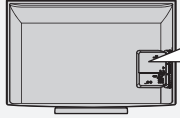
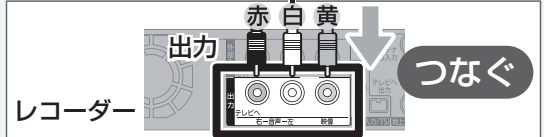
テレビにつないでいるアンテナ線をはずして
レコーダーにつなぎかえます。

③ 地上デジタル放送 アンテナケーブルをつなぐ

付属のアンテナケーブルを使って
テレビとレコーダーをつなぎます。

BS・CS を視聴しない場合、以下の接続は不要です。⑥ に進んでください。

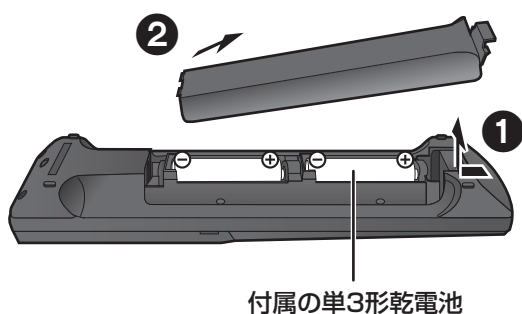
テレビにつないでいるアンテナ線をはずして
レコーダーにつなぎかえます。

市販のアンテナケーブルを使って
テレビとレコーダーをつなぎます。

⑥ 映像・音声コード をつなぐ

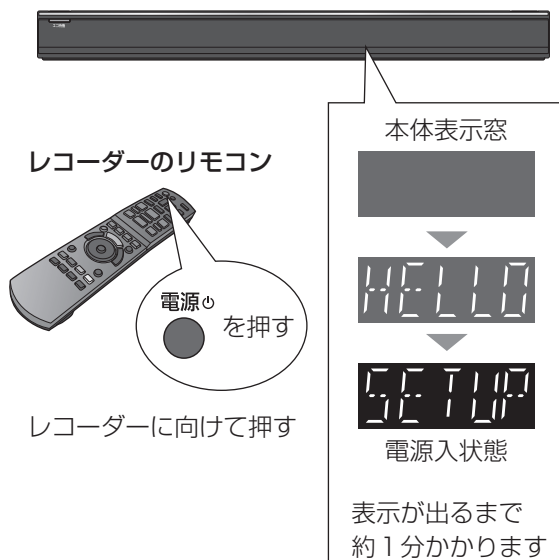
⑦ 電源コード をつなぐ

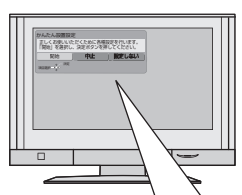
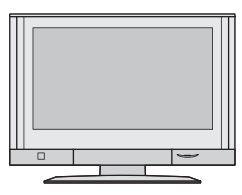
お勧め HDMI ケーブル（市販）を使う場合

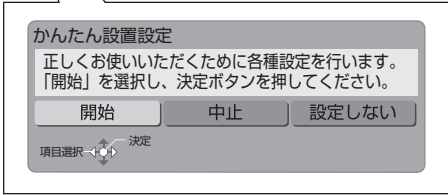
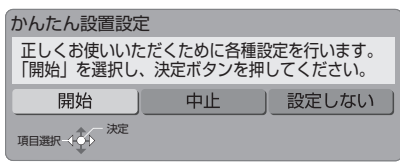
ハイビジョン番組を高画質な映像で見ることができます。

HDMI ケーブルを使わない場合

HDMI ケーブルを使う場合、この接続は不要です

⑧ 電源を入れる

1 リモコンに電池を入れる

2 レコーダーの電源を入れる

●⊕⊖ を確認してください。
●電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

●リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。(➜144)
●本機のリモコン受信部（➜16）に向けて、まっすぐ操作してください。
●電源切 / 入時に本機から動作音がしますが、故障ではありません。

⑨ 設定をする

1
テレビの入力を切り換える
以下の画面が表示されるように切り換えてください。
かんたん設置設定
正しくお使いいただくために各種設定を行います。
「開始」を選択し、決定ボタンを押してください。
開始
中止
設定しない
項目選択
決定

接続と設定について詳しくは…
映像端子で接続する
165ページ
ビデオと接続する
166ページ
アンプと接続する
167ページ
ネットワーク接続をする
168ページ
かんたん設置設定をする
173ページ
かんたんネットワーク設定をする
175ページ

2
画面に従って設定する
かんたん設置設定
正しくお使いいただくために各種設定を行います。
「開始」を選択し、決定ボタンを押してください。
開始
中止
設定しない
項目選択
決定
レコーダーのリモコン
レコーダーに
向けて操作
決定
などで操作

各部の働き

本体前面

リモコン受信部

受信範囲… 正面：約7 m以内
左右：各約30°
上下：各約20°

電源を切／入する

本体表示窓（➜17）

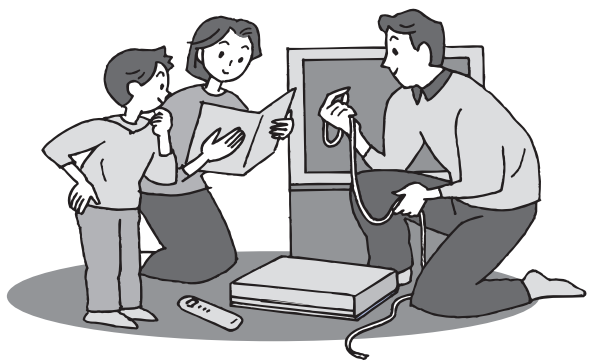
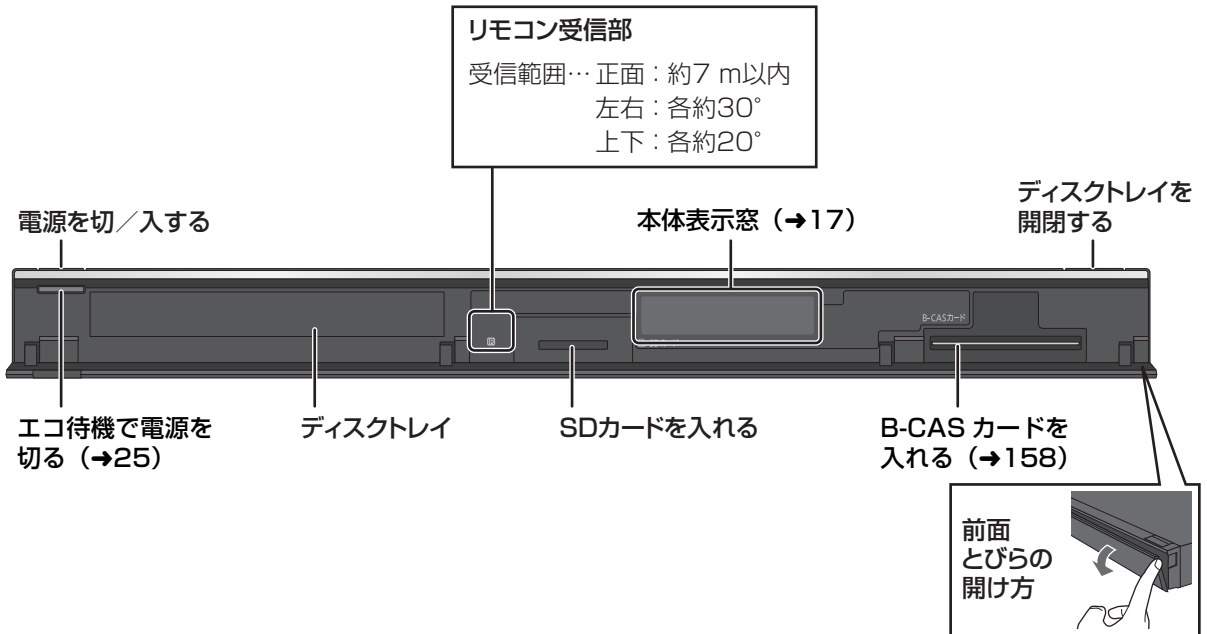
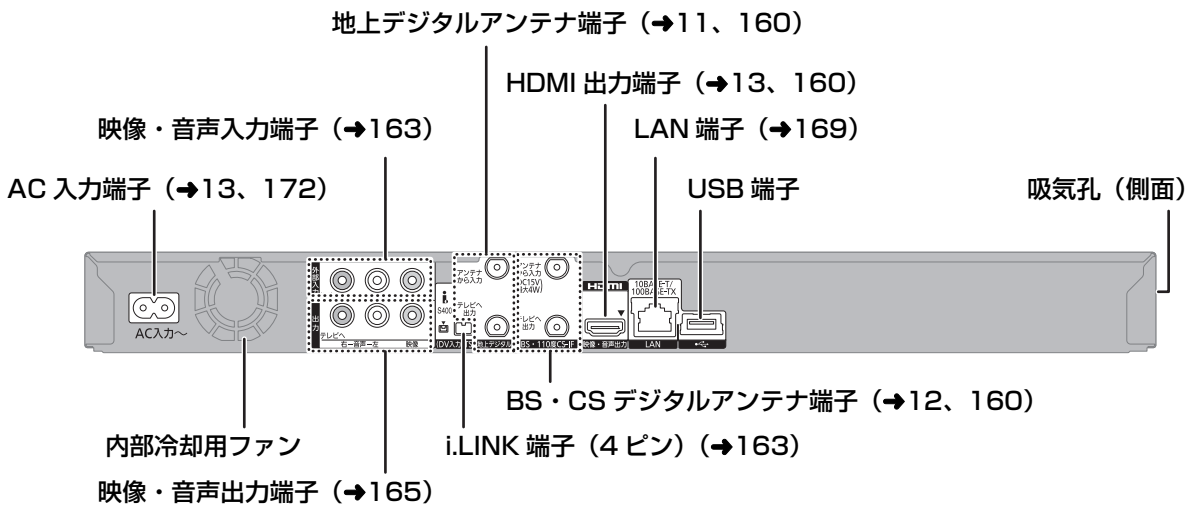
ディスクトレイを開閉する

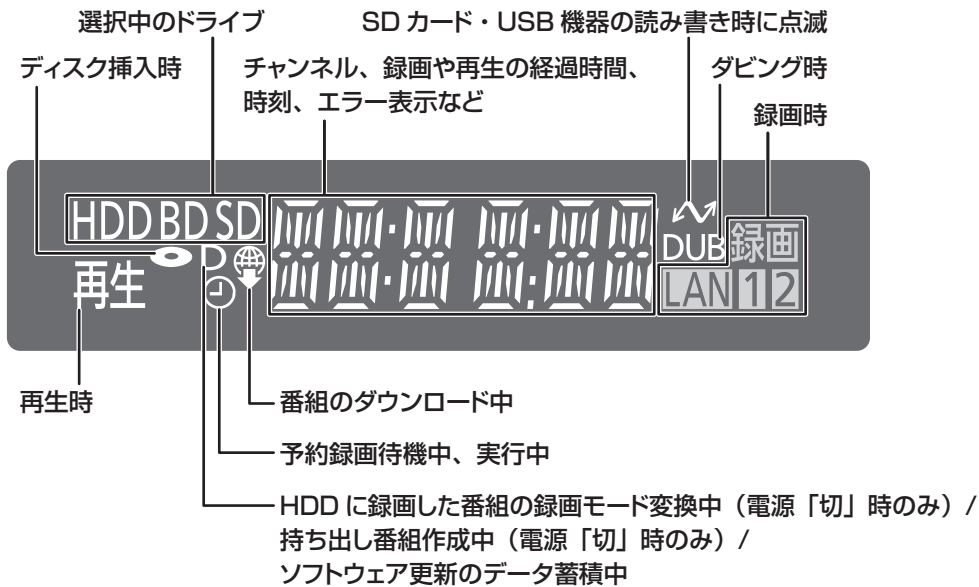
エコ待機で電源を切る（➜25）

ディスクトレイ

SDカードを入れる

B-CAS カードを入れる（➜158）

前面とびらの開け方

本体背面

本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。

お知らせ

- 以下の場合、本体表示窓は電源「切」時は消灯状態になります。
  - ·「クイックスタート」(➜136) を「切」に設定
  - ·「クイックスタートモード」(➜136) を「省エネ」に設定
  - ·**[エコ待機]** を押して電源を切る

リモコン

エコ待機で電源を切る（➜25）

ディスクトレイを開閉する

本機の電源

テレビ操作部（➜145）

●本機のリモコンでテレビの操作をすることができます。

チャンネルを順に選ぶ

外部接続機器に入力を切り換える [L1、DV、i.LINK（TS）など]

HDD/BD/SDを切り換える

予約一覧画面を表示する（➜51）

録画や再生時の基本操作

約 10 秒前へ戻す（➜66）/ お好みチャンネルを表示する（➜32）

約 30 秒先へ飛び越す（➜66）

放送を切り換える（➜31）

アクトビラを表示する（➜116）

録画する（➜35）/ ワンタッチ予約する（➜38）

●ワンタッチ予約は、番組表上で実行することができます。

かんたんスタート画面を表示する（➜30）

スタート画面を表示する（➜27）

番組表を表示する（➜38）

録画一覧 / ディスクメニューを表示する（➜60）

選択および決定する

前の画面に戻る

サブメニューを表示する

画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用します。

HDD 録画モードを選ぶ（➜35）

チャプターマークを作成・削除する（➜76）

番組の消去や予約の取り消しをする

情報を表示する（➜33、67）

ふたを開けると

音声を切り換える（➜33、67）

3 桁番号を入力してチャンネルを選局する（➜32）

データ放送の画面を表示する（➜31）

ボタンはありますが、押しても動作しません。

ガイドを表示する（➜26）

初期設定を表示する（➜136）

再生方法を設定する（➜70）

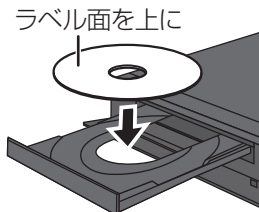
時間を指定して飛び越す（➜67）

チャンネルなどを番号で選ぶ/番号や文字を入力する

ディスク・SD カードを入れる

ディスク

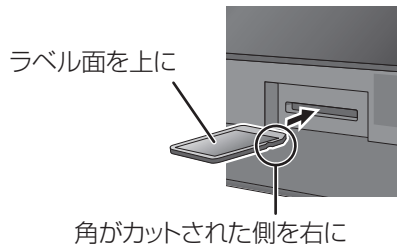
開/閉 ▲ を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、トレイが閉まります。
- 本体の [▲ 開 / 閉] でも操作できます。
- ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
- ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。(➔156)
- 傷や汚れの付いたディスクは、記録や再生ができません。
- 使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。
- **カートリッジ付きディスクについて**
  - ･カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
  - ･DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイに載せてください。(➔ 下記)(TYPE1 は使えません)
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをお勧めします。

SD カード

❶ **本体前面のとびらを開ける**

❷ **カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む**

❸ **本体前面のとびらを閉じる**

カードを取り出すには

上記手順 ❷ で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

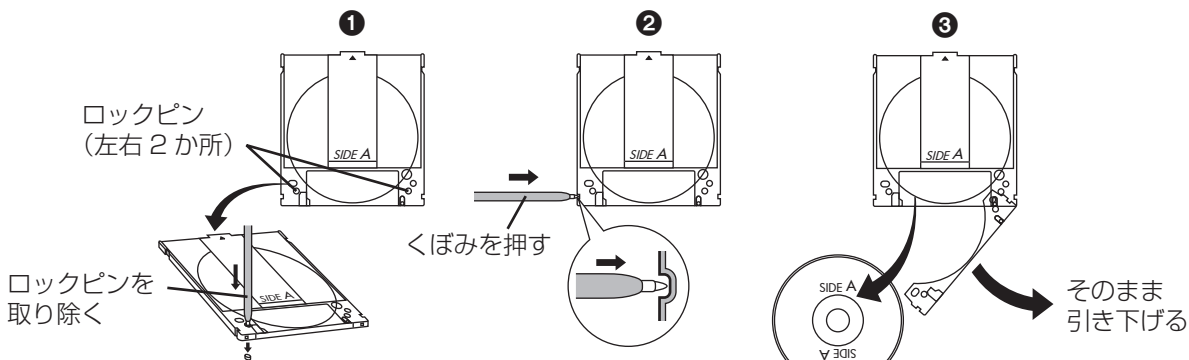
お知らせ

- **本体表示窓の“ ”(➔17)点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。**
- mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用の アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例)
カートリッジ付きディスクの取り出し方例

カートリッジからの取り出し方はディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合

はじめに

記録できるディスクについて

ディスクの種類	ロゴ	記録可能なディスク	記録方式
BD-RE	Blu-ray Disc	BD-RE：Ver.2.1（1層/2層）、Ver.3.0（3層）に対応した2倍速メディアまで	—
BD-R	Blu-ray Disc	BD-R：Ver.1.1/1.2/1.3（1層/2層）に対応した6倍速メディア、Ver.2.0（3層/4層）に対応した4倍速メディアまで	—
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	Ver.2.0/2.1/2.2に対応した5倍速メディアまで	AVCREC方式
			VR方式（DVDビデオレコーディング規格）
DVD-R	DVD R R4.7	DVD-R：Ver.2.0/2.1に対応した16倍速メディアまで	AVCREC方式
DVD-R DL（片面2層）	DVD R R DL	DVD-R DL：Ver.3.0に対応した8倍速メディアまで	VR方式（DVDビデオレコーディング規格）
			ビデオ方式（DVDビデオ規格）
DVD-RW	DVD RW	Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで	VR方式（DVDビデオレコーディング規格）
			ビデオ方式（DVDビデオ規格）

●8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。

	記録できるコンテンツ	記録できる画質 録画モード	フォーマットは？ （➜124）	備考
	番組 写真 （BD-Rは写真は記録できません）	放送画質 DR ハイビジョン画質 1.5〜12.5倍録	必要	● DL、BDXL™ にも記録できます。 ● カートリッジ付きのBD-RE（Ver.1.0）の記録や再生はできません。（カートリッジからディスクを取り出しても使えません） ● 2012 年2 月現在、BD-R（片面4 層）は発売されていません。
	番組 写真	ハイビジョン画質 1.5〜12.5倍録	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。 ● カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。（TYPE1は使えません）
	番組 写真	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要 （データ用ディスクの場合は、フォーマットが必要）	
	番組	ハイビジョン画質 1.5〜12.5倍録	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要	● コピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみ記録できます。 ● デジタル放送は記録できません。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	● コピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみ記録できます。 ● デジタル放送は記録できません。

●DVD の記録方式は、本機でフォーマット（➜124）することで設定されます。

記録できるディスクについて（続き）

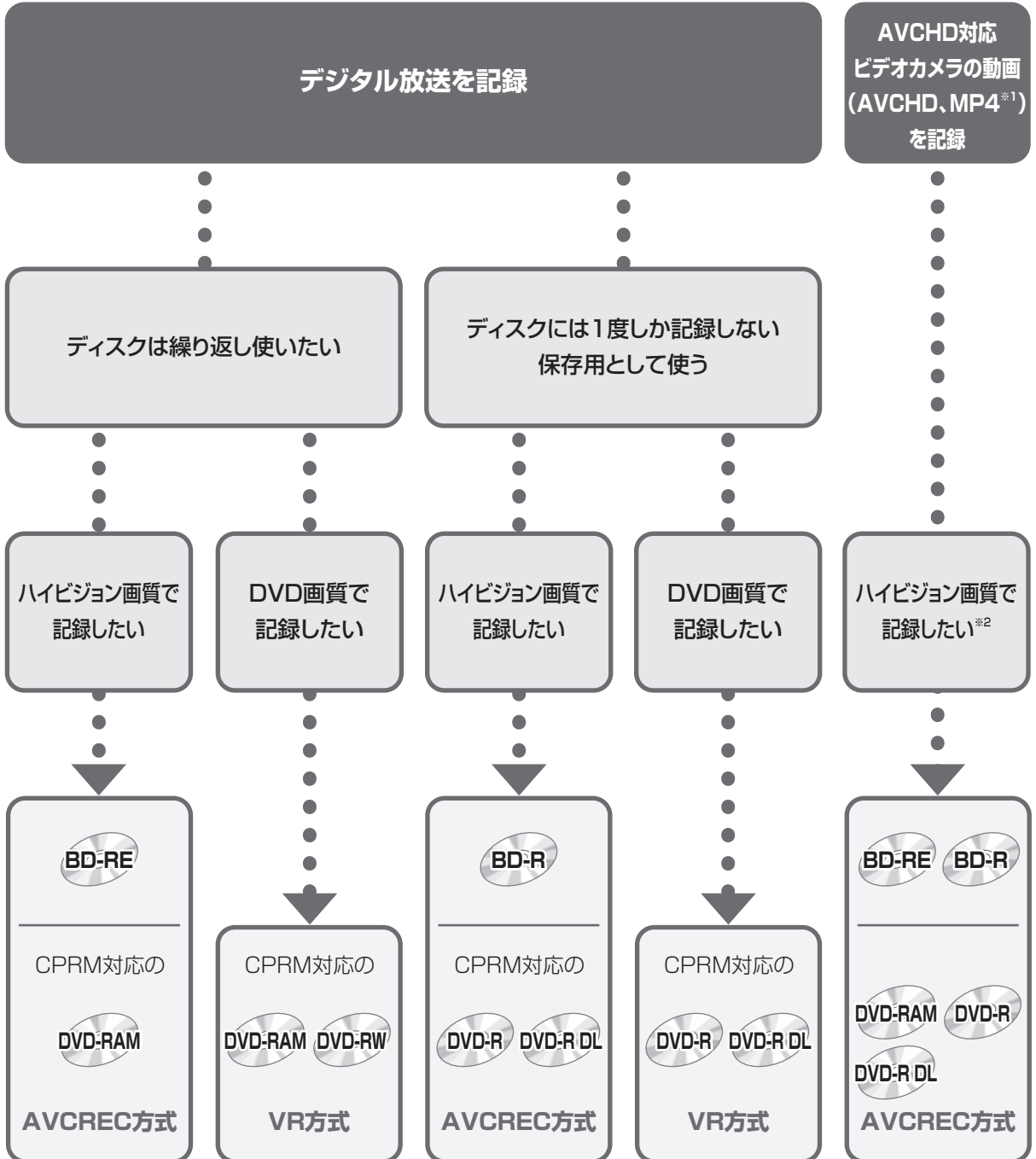
どのディスクを選べば良いかわからない…

お客様の使い方に合わせてディスクを選んでください。

デジタル放送を記録

- ディスクは繰り返し使いたい
  - ハイビジョン画質で記録したい → BD-RE / CPRM対応の DVD-RAM — AVCREC方式
  - DVD画質で記録したい → CPRM対応の DVD-RAM、DVD-RW — VR方式
- ディスクには1度しか記録しない保存用として使う
  - ハイビジョン画質で記録したい → BD-R / CPRM対応の DVD-R、DVD-R DL — AVCREC方式
  - DVD画質で記録したい → CPRM対応の DVD-R、DVD-R DL — VR方式

AVCHD対応ビデオカメラの動画（AVCHD、MP4※1）を記録

- ハイビジョン画質で記録したい※2 → BD-RE、BD-R / DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL — AVCREC方式

※1　MP4はHDDに取り込んだあと、ディスクにダビングします。

※2　DVD画質で記録したい場合、HDDに取り込んだあと、VR方式、ビデオ方式のDVDにダビングします。

記録したディスクを他の機器で再生するには?

BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

- LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。（本機は LTH type の再生に対応しています）
- 2006 年春以前に発売された他社製機器では、BD-RE(Ver.2.1)、BD-R に対応していないため、再生できません。
- 1.5 ～ 12.5 倍録モードの番組や、本機に取り込んだ動画（AVCHD、MP4）、LAN 経由（スカパー！HD）で録画した番組は、再生できない場合があります。
- DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
  - ･BDXL のブルーレイディスクの場合は、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

- **記録したディスクの再生に対応**
- **記録したディスクの記録方式の再生に対応**
  - ･**AVCREC 方式の場合：**
    対応機器には右記のロゴが付いています。　AVCREC™
    対応機器以外で使用しないでください。
    ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
    -R はファイナライズ（➜127）が必要です。
  - ･**VR 方式の場合：**
    VR 方式の再生に対応している必要があります。
  - ･**ビデオ方式の場合：**
    記録後にファイナライズ（➜127）が必要です。
- **デジタル放送を記録したディスクの場合、再生機器も CPRM に対応している必要があります。**

お知らせ

- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

本書内のマーク表示について

ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE※	BD-RE
BD-R※	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW

ディスクなど	表示マーク
DVD ビデオ	DVD-V
+R	
+R DL	
+RW	
CD	CD
SD カード	SD
USB 機器	USB
USB-HDD	USB-HDD

※ DL、BDXL も含みます。

●同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
- ･AVCREC 方式の場合　：例）RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
- ･VR 方式の場合　：例）RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
- ･ビデオ方式の場合　：例）-R(V) -RW(V)　（ただしファイナライズ後は DVD-V ）

●ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）が記録されたディスクや SD カードの場合は、AVCHD と表示

●ビデオカメラなどで撮影した動画（MP4）が記録された SD カードの場合は、MP4 と表示

USB-HDD を接続時の操作について	本書では、USB-HDD を接続している場合の操作も含めて記載しています。 USB-HDD を接続している場合にできる操作については、USB-HDD と表示しています。 接続できる USB-HDD については（➜152）

操作の前に

本機の映像をテレビに映す

1 **テレビの電源を入れる**

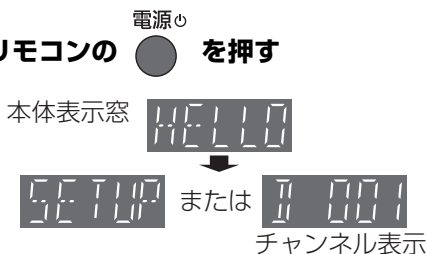
2 **テレビのリモコンで、入力切換の操作をする**

●本機を接続した入力に切り換えてください。
（HDMI、ビデオ 1 など）

3 **本機のリモコンの** 電源⏻ **を押す**

本体表示窓

SETUP または

チャンネル表示

●テレビに映像が映っているか確認してください。

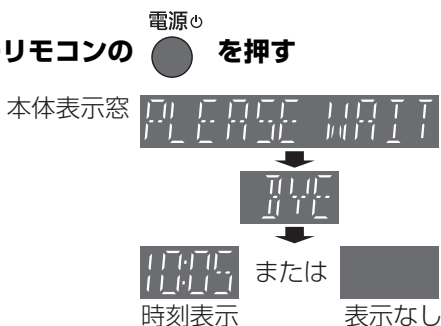
テレビに映像が表示されない場合

●テレビの入力を確認してください。
●接続を確認してください。(➜158～172)

本機の電源を切る

本機のリモコンの **を押す**

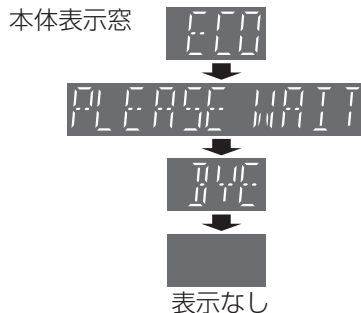
本体表示窓 PLEASE WAIT

時刻表示 または 表示なし

エコ待機で電源を切る

[エコ待機] で電源を切ると、クイックスタートの設定にかかわらず、電源「切」時の消費電力を少なくすることができます。**(消費電力 ➜204)**

を 3 秒以上押す

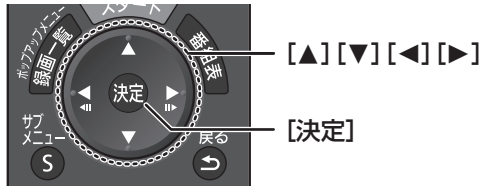
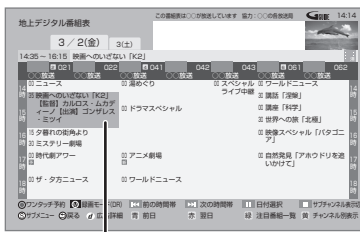
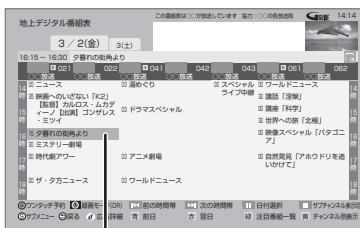
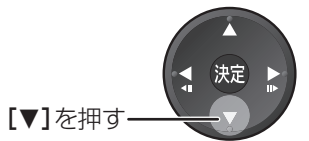
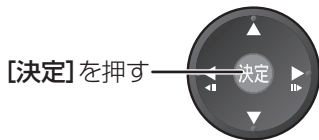
本体表示窓

表示なし

お知らせ

- エコ待機で電源「切」時は、「エコ待機モード」（➜137）の設定にかかわらず、以下の制限があります。
  - ・「クイックスタート」（➜136）が「切」時と同じ動作になるため、起動が遅くなる
  - ・AV ネットワーク機能が使用できない
  - ・i.LINK からの予約録画が実行されない
  - ・スカパー！HD 対応チューナーからの予約登録ができない、または番組の時間変更に追従できない
- 「エコ待機モード」（➜137）が「モード2」の場合、上記に加えて以下の制限もあります。
  - ・アンテナ線を本機経由でテレビに接続している場合に、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがある

  本機を経由させずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。（➜164）
- エコ待機中に無効なボタンを押すと、本体表示窓に“ECO”と表示されます。

画面上の基本操作について

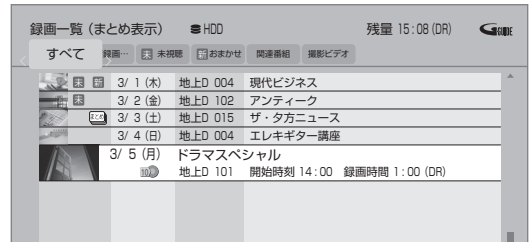
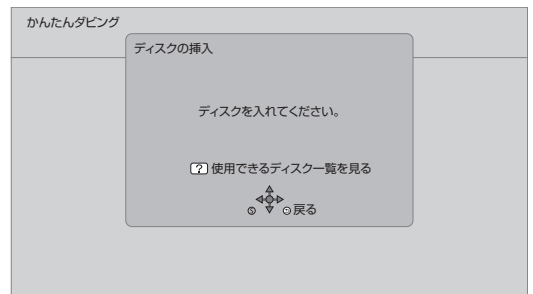
本機は画面に表示されている項目をリモコンの[▲][▼][◀][▶] で選び、[決定] を押すことで操作を行います。

例えば、番組を選びたい場合

黄色になっている項目が、現在選ばれている項目

黄色になります。

番組内容の画面が表示されます。

本書では、上記のような操作をする場合、
番組を選び、決定 を押す
と記載しています。

操作について

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示、さらには補足説明などを確認できます。

操作できるボタンの表示

例）

補足説明

? マークが付いた画面が表示されたとき

?（ガイド）(ふた内部）ボタンを押すと、
操作に対する補足説明が確認できます。

スタート画面について

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。

1 スタート **を押す**

2 項目を選び、決定 を押す

現在表示しているページの位置

スタート画面は3つのページに分かれています。

左右のページを表示するには

スキップ スキップ を押す（または [◀][▶] を数回押す）

全機能から選ぶ

スタート画面に表示できるすべての機能を一覧表示して選ぶことができます。

●スタート画面に表示されていない機能を選びたいときに選んでください。

お知らせ

● **新着お知らせアイコンについて**

以下の機能で新着情報があるときに表示します。

・おまかせ録画を見る※

・最新録画番組を見る※

・メール / 情報・診断コード

※ 電源「切」時にのみ新着情報の更新を行います。

●以下の機能では、新着情報があるときに番組や写真のサムネイルを表示します。

・おまかせ録画を見る

・最新録画番組を見る

スタート画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。表示する機能は、お好みに合わせて変更することができます。(➜30)

●表中の【　】はお買い上げ時に、スタート画面に表示されている機能です。

分類	表示できる機能	備考
見る	【録画番組を見る】	(➜60)
	【最新録画番組を見る】	(➜63)
	【おまかせ録画を見る】	「新番組おまかせ録画」(➜45) で録画した番組を視聴します。
	【写真を見る】	(➜104)
	【撮影ビデオを見る】	(➜63)
番組を探す・予約する	【予約する】	(➜38)
	【予約確認する】	(➜51)
	【関連番組まとめて検索】	(➜46)
	ぴったり録画	(➜37、98)
	新番組おまかせ録画	(➜45)
	【放送局からのおすすめ（注目番組）】	(➜43)
	【ジャンル検索】	(➜44)
	お好み番組表	お好みチャンネル (➜32) で登録された放送局のみを番組表に表示します。

分類	表示できる機能	備考
残す	【ダビングする】	(➜80、82)
	【持ち出し番組かんたん転送】	(➜114)
	【持ち出し番組一覧】	(➜114)
	DV おまかせ取り込み	(➜99)
	i.LINK（TS）ダビング	(➜101)
ネットワーク機能を使う	【AV ネットワーク】	(➜123)
	【アクトビラ】	(➜116)
設定する・その他の機能	【放送設定】	(➜129)
	【初期設定】	(➜136)
	【メール／情報・診断コード】	(➜128、183)
	【壁紙設定】	(➜30)
	お好み設定リセット	(➜30)
【メディアを使う】	ブルーレイ（BD)/DVD	ディスク、SD カード、USB 機器、USB-HDD 内のデータを表示します。
	SD カード	
	USB 機器	
	USB-HDD	

スタート画面について（続き）

お好みの表示に変更する

スタート画面に表示する機能や背景の壁紙をお好みに合わせて変更することができます。
（「全機能から選ぶ」の表示を変更することはできません）

表示する機能を変更する

1 [スタート] **を押す**

2 **変更したい機能を選び、**[サブメニュー S] **を押す**

3 **「機能を登録する」を選び、**[決定] **を押す**

4 **メニューを選び、**[決定] **を押す**

5 **表示したい機能を選び、**[決定] **を押す**

●登録できる機能については（➔28）

6 **「はい」を選び、**[決定] **を押す**

スタート画面の表示をお買い上げ時の設定に戻すには

① [スタート] を押す
② 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す
③ 「設定する · その他の機能」を選び、[決定] を押す
④ 「お好み設定リセット」を選び、[決定] を押す
⑤ 「はい」を選び、[決定] を押す

壁紙を変更する

1 [スタート] **を押す**

2 **「壁紙設定」を選び、**[決定] **を押す**

●表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

3 **壁紙を選び、**[決定] **を押す**

●「写真」を選ぶ場合は、あらかじめ「壁紙登録」（➔105）を行ってください。

4 [戻る] **を押す**

●壁紙設定を終了します。

かんたんスタート画面を表示する

かんたんスタート画面を使うと、よりわかりやすい画面で番組の予約や再生を行うことができます。

1 [かんたんスタート] **を押す**

2 **項目を選び、**[決定] **を押す**

●操作方法は、別紙の「かんたん操作ガイド」をご覧ください。

お知らせ

●ダウンロードした番組や視聴制限のある番組は表示されません。

テレビ放送を見る

1 地上 BS CS(1/2) **を押して、放送を選ぶ**

● [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 1 ～ 12 (ふた内部)**または** チャンネル **を押して、チャンネルを選ぶ**

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

● **本機では、データ放送を録画できません。**
録画が始まるとデータ画面が消えます。

1 **データ放送のある番組を選局し、** データ (ふた内部) **を押す**

2 **見たい項目を選び、** 決定 **を押す**

例)

● 画面の指示に従って、**[青]**、**[赤]**、**[緑]**、**[黄]** や **数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには

データ (ふた内部) を押す

お知らせ

● 本機でワンセグ放送を視聴することはできません。

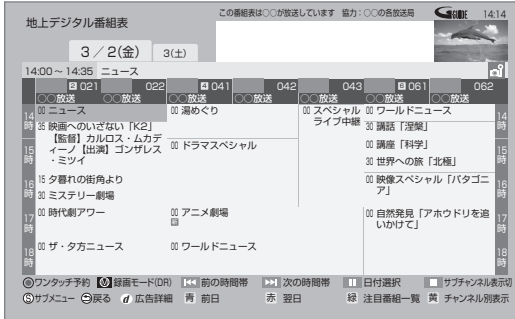
視聴

その他の選局方法

番組表から選局

❶

を押す

❷ 放送中の番組を選び、決定 を押す

別の放送の番組表を見るには
[地上] [BS] [CS] を押す

❸「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

3桁チャンネル番号を入力して選局

❶ テレビ視聴中に、3桁入力（ふた内部）を押す
- 押すごとに放送が切り換わります。

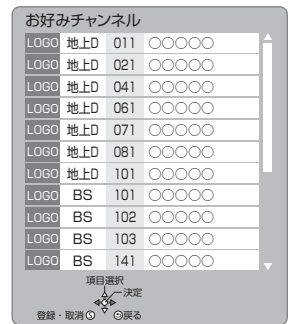
❷ 1 ～ 10（ふた内部）を押して、チャンネルを入力する

例）101 の場合…[1] → [10] → [1]
- 3桁チャンネル画面が表示されている間に入力してください。

枝番号の異なる放送を選局するには
(地上デジタル)（➜34「枝番選局」）

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。
放送に関係なく１つのリストに表示することができます。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

❶ テレビ視聴中に、10秒戻し/お好みチャンネル を押す

❷ 放送局を選び、決定 を押す

■チャンネルの登録

① 登録したい放送局を視聴中に、
[10 秒戻し / お好みチャンネル] を押す
② [サブ メニュー] を押す
③「登録」を選び、[決定] を押す
④「はい」を選び、[決定] を押す
- リストの一番下に登録されます。
（最大 48 チャンネル）

■チャンネルの取り消し

① [10 秒戻し / お好みチャンネル] を押す
② 取り消す放送局を選び、[サブ メニュー] を押す
③「取消」を選び、[決定] を押す
④「はい」を選び、[決定] を押す

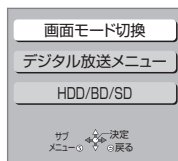
お知らせ
- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

❶ を押す

●表示されない場合、もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。

❷ **「画面モード切換」を選び、決定 を押す**

❸ **画面モードを選ぶ**

ノーマル：
元の映像で表示します。

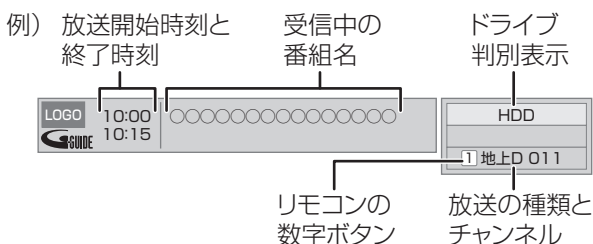
サイドカット：
16:9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。

ズーム：
4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。

お知らせ

- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
  - ･他のチャンネルを選局
  - ･番組の再生を始める、または終了する
  - ･電源を切 / 入
- 番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。
- 「TVアスペクト」(➜140) を「4：3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。
- テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

見ている番組の情報を表示

画面表示 **を押す**

表示を消すには
[**画面表示**] を数回押す

音声を切り換える

音声切換 **（ふた内部）を押す**

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

- 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

放送中の番組の 3D 設定をする

3D/2D 出力

●3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続時

サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

（詳しくは➜68「3D映像を再生するための便利な機能」）

視聴

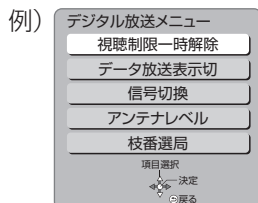
放送内容などの設定

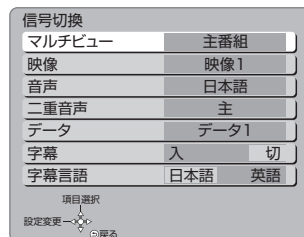
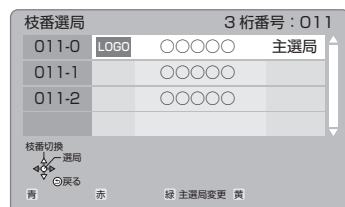
テレビ視聴中に

❶ を押す

- 表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

❷「デジタル放送メニュー」を選び、決定 を押す

例）
デジタル放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示切
信号切換
アンテナレベル
枝番選局
項目選択 決定 戻る

❸ 設定項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

項目	説明
視聴制限一時解除	暗証番号（➜130）を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示切	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 信号切換 マルチビュー 主番組 映像 映像1 音声 日本語 二重音声 主 データ データ1 字幕 入 切 字幕言語 日本語 英語 項目選択 設定変更 戻る **設定する項目を選び、設定する** お知らせ ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 **（詳しくは ➜56）**
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 （例：「011-0」、「011-1」） 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **放送局を選び、[決定] を押す** **主選局を変更するには** 主選局にしたい放送局を選び、[緑] を押す

お知らせ

- 視聴中の番組により表示される項目が変わります。

録画する

基本操作　選び　➡　決定する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

1 地上 BS CS (1/2) **を押して、放送を選ぶ**

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 1 〜 12 (ふた内部) **または** チャンネル **を押して、チャンネルを選ぶ**

3 録画モード **を押して、録画モードを選ぶ**

- 押すごとに、切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モード（黄色い部分）に切り換わります。

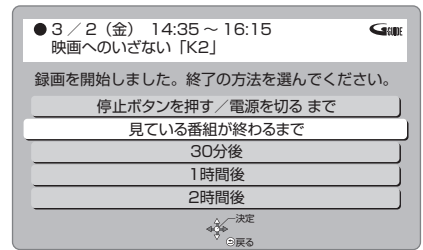
例）

- ハイビジョン画質を選択時に **[サブ メニュー]** を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。**(➜ 57)**

4 ワンタッチ予約 録画 **を押す**

本体前面

“録画 1”または“録画 2”が点灯

5 録画の終了方法を選び、決定 を押す

例）「30 分後」を選んだ場合

本体前面

録画終了までの時間

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

録画停止画面が出たら、「はい」を選び、**[決定]** を押してください。

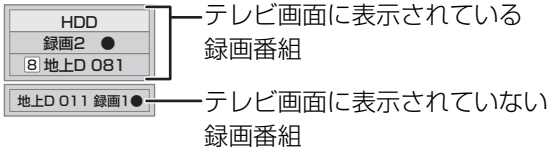
お知らせ

- **録画モードと記録時間の目安（➜ 206）**
- **録画モードと記録時間の倍率について（➜ 57）**
- ディスクや USB-HDD へは録画できません。
  ・予約録画はできます。（ビデオ方式は除く）
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画 **(➜ 58)** できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- 有料放送を録画するには、放送会社と契約した B-CAS カードを挿入してください。契約した B-CAS カードをテレビでお使いの場合は、そのカードを本機に挿入してください。
- デジタル放送の番組でも、DVD 画質相当（従来のアナログ放送と同様の画質）の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、画質は DVD 画質相当です。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

録画中のいろいろな操作

録画中の番組の確認

[画面表示] を押す

例）複数の番組を録画中

録画中の番組をテレビ画面に表示

一時停止などの操作をする場合、操作前に録画中の番組をテレビ画面に表示させてください。

●放送を切り換えていた場合：

を押す

●チャンネルを切り換えていた場合：

を押す

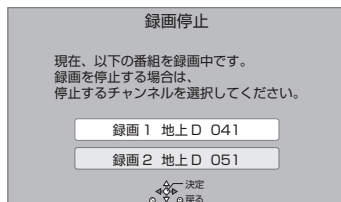
●入力を切り換えていた場合：

[入力切換] を押す

録画を止める

[■停止] を押す

録画停止画面が出たら、「はい」を選び、**[決定]** を押してください。

●複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組をテレビ画面に表示させてください。**（➜ 左記）**

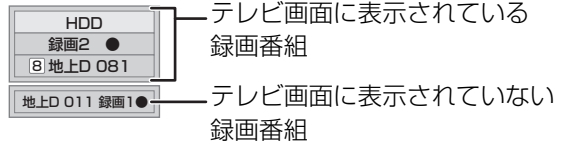
[❚❚一時停止] を押す

●もう一度押す、または **[ワンタッチ予約 録画 ●]** を押すと録画を再開します。（番組は分割されません）
●一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

複数の番組を録画する

35 ページの手順 1 ～ 5 で別の番組を録画する

本体前面

テレビ画面

●複数の番組を録画中のチャンネル / 放送 / 入力切換は、録画中の番組間でのみ行えます。

録画しながら再生する

追っかけ再生：
HDD や USB-HDD に録画中の番組を再生します。

同時録画再生：
録画中に録画済みの番組を再生します。
ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

1 [録画一覧] **を押す**

2 **番組を選び、**[決定] **を押す**

ぴったり録画

録画した番組を新品の DVD（4.7 GB）にぴったりダビングできるよう設定時間に合わせて 1.5 ～ 12.5 倍録モードの中から自動的に最適な画質で HDD に録画します。
（➜56「1.5 ～ 12.5 倍録」）

1 **チャンネルを選ぶ**（➜35 ページ手順 1 ～ 2）

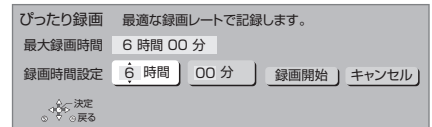
2 [スタート] **を押す**

3 **「全機能から選ぶ」を選び、**[決定] **を押す**
- 表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

4 **「番組を探す・予約する」を選び、**[決定] **を押す**

5 **「ぴったり録画」を選び、**[決定] **を押す**

6 **「HDD に録画」を選び、**[決定] **を押す**

7 **“時間” または “分” を選び、録画時間を設定する**

- 6 時間を超えて設定することはできません。

8 **「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で** [決定] **を押す**

録画の残り時間を確認するには
[画面表示] を押す

例）
録画の残り時間

お知らせ
- 録画中にぴったり録画はできません。

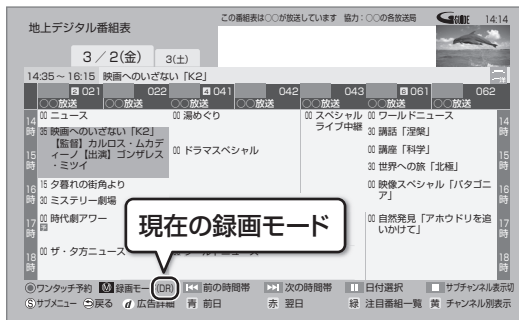
録画

予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) USB-HDD

番組表（G ガイド）を使って HDD に予約録画する

1 **を押す**

2 番組を選ぶ

☞ **別の放送の番組表を見るには**
[地上] [BS] [CS] を押す

☞ **現在の録画モードを変更するには**
[録画モード] を押す

3 決定 **を押す**

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。
（予 が表示されます）
●手順 4 ～ 5 の操作は不要です。

4 「番組予約へ」を選び、 決定 **を押す**

5 項目を選び、 決定 **を押す**

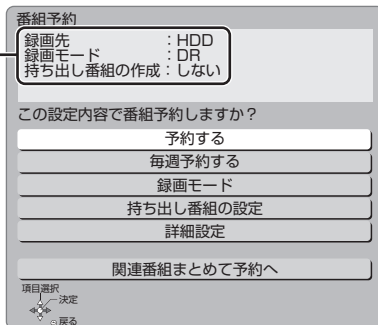
予約する：
予約を登録

毎週予約する：
毎週同じ曜日に予約を登録（➜53）

録画モード：
録画モードを変更（変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）

持ち出し番組の設定：
モバイル機器へ持ち出すための番組を作成（➜112）

詳細設定：
録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更（➜48）

関連番組まとめて予約へ：
お好みの番組を自動で登録（➜46）
●選択している番組に関連番組の情報がない場合、選択できません。

予約内容を確認してください。

お知らせ

●番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。
●電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
●本機では 128 番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は、1 番組として数えます）

番組表（G ガイド）を使ってディスクに予約録画する

ディスクは、1 番組のみ予約できます。

1 ディスクを入れる

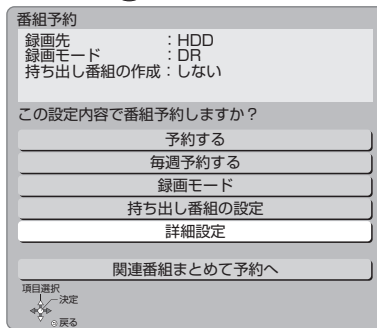
- 下記のような画面が表示されますので、[戻る]を押して画面を消してください。

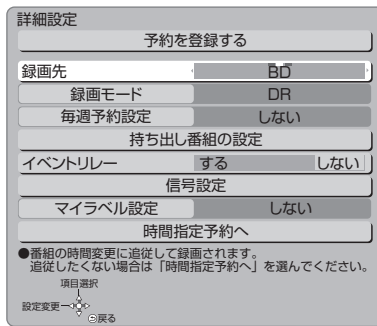
例）

BD-RE
かんたんダビング

2 38 ページの手順 1 ～ 4 を行う

- 38ページの手順3では、[決定]を押してください。

3 「詳細設定」を選び、決定 を押す

4 録画先を「BD」にする

- DVD の場合も、「BD」を選んでください。

5 「録画モード」を選び、決定 を押す

6 録画モードを選び、決定 を押す

- ディスクや記録方式によって録画できるモードは異なります。

7 「予約を登録する」を選び、決定 を押す

- フォーマット画面が表示された場合は、画面に従ってフォーマットを行ってください。

DVD にデジタル放送を録画する場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。

DVD に予約録画できる記録方式

ハイビジョン画質で記録できます。
（1.5 ～ 12.5 倍録モードで記録）

- -RW ではできません。

DVD 画質で記録します。
（XP、SP、LP、EP、FR モードで記録）

予約録画できません。

番組表（G ガイド）を使って USB-HDD に予約録画する

録画モードは DR 固定になります。

1 38 ページの手順 1 ～ 4 を行う

- 38ページの手順3では、[決定]を押してください。

2 「詳細設定」を選び、決定 を押す

3 録画先を「USB-HDD」にする

4 「予約を登録する」を選び、決定 を押す

お知らせ

- USB-HDD に複数の番組を同時に録画することはできません。
- **本機で録画した USB-HDD の番組は、他の機器（本機と同じ型式も含みます）に接続しても再生することはできません。**

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

例）全チャンネル表示

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。

お知らせ

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに 1 日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。
- **パネル広告について**

  ネットワークに接続し、「通信による G ガイド受信」(➔129)を「入」にすると、インターネット専用のパネル広告を表示することができます。

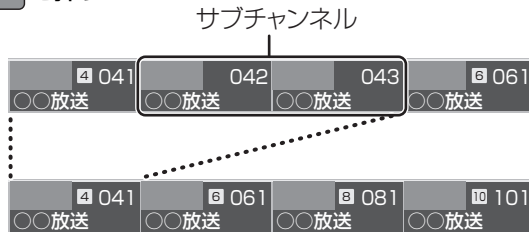
番組表の表示設定

放送の切り換え

地上 BS CS(1/2) を押す

サブチャンネルの表示切り換え

番組表のサブチャンネルを表示するかどうかを切り換えることができます。

  ■停止 を押す

お知らせ

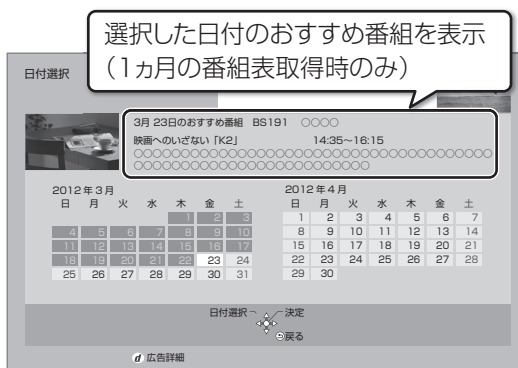
- 表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

日付の切り換え
●全チャンネル表示時のみ

青（前日）赤（翌日）を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

❶ Ⅱ一時停止 を押す

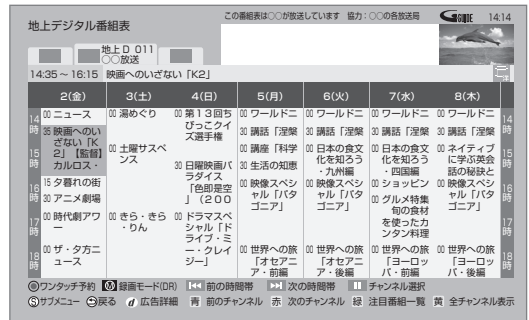
❷ 日付を選び、決定 を押す

お知らせ

- 本機は放送局からの番組情報をもとに、通常は8日分の番組表を表示することができます。
  さらに、本機をネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」（➔129）を「入」にすると、1ヵ月の番組情報を取得することができます。（2012年２月現在、ネットワークから１ヵ月の番組情報を取得できる放送局は WOWOW、スター・チャンネルのみです）

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

❶ 表示したいチャンネルの番組を選ぶ

❷ 黄 を押す

全チャンネル表示に切り換えるには
［黄］を押す

別のチャンネルを表示するには
チャンネル別表示中に
［青］［赤］を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

① ［Ⅱ 一時停止］を押す

② チャンネルを選び、［決定］を押す

お知らせ

- 1ヵ月の番組表を取得している場合、９日目以降の番組情報を取得するのには時間がかかります。
- 番組表を再度表示させた場合は、全チャンネル表示で表示されます。

録画

番組表の表示設定（続き）

1 番組表表示中に

を押す

2 **項目を選び、設定する**

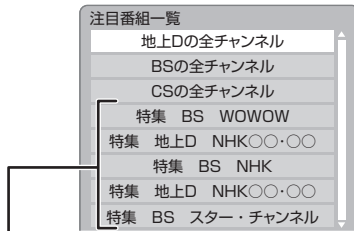
番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(➜44)
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(➜32) で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを表示し、枝番号表示しないようにします。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① **メインジャンルを選び、[決定] を押す** ② **サブジャンルを選び、[決定] を押す** ☞ **ジャンル別の表示をやめるには** ① **[サブ メニュー]** を押す ② 「全ジャンル表示」を選び、**[決定]** を押す ●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	暗証番号（➜130）を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

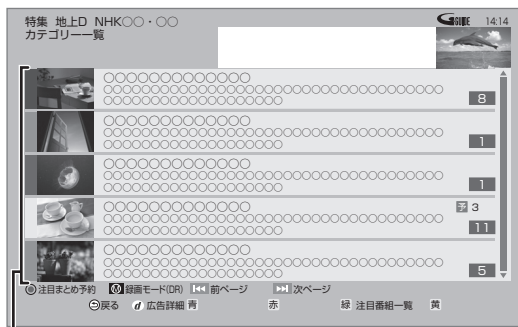
注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に
[緑] **を押す**

2 放送を選び、決定 を押す

●地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順４へ進んでください。

ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」（➜129）を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
（2012 年 2 月現在、ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです）

3（ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ）
カテゴリーを選び、決定 を押す

カテゴリー

カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには
[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す
● 予 が表示され、予約は完了します。
●録画された番組は、まとめ 番組になります。

放送を変更するには
[緑] を押す（**➜ 手順 2 へ**）

4 番組を選び、決定 を押す

カテゴリー

前後のページを見るには
[|◀◀][▶▶|] を押す

他のカテゴリーを表示するには
[青][赤] を押す
（**[❚❚ 一時停止]** を押してカテゴリーを選択することもできます）

放送を変更するには
[緑] を押す（**➜ 手順 2 へ**）

録画モードを変更するには
① **[録画モード]** を押す
② 録画モードを選び、**[決定]** を押す

5 「番組予約へ」を選び、決定 を押す

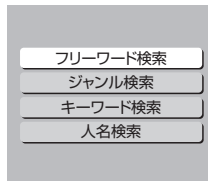
（「番組予約」のときは ➜38 手順 5）
（「時間指定予約」のときは ➜50 手順 3）

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に

を押す

2 「番組表の検索」を選び、決定 を押す

3 検索方法を選び、決定 を押す

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

❹ **検索条件を選び、決定 を押す**
- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには
[**地上**][BS][CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには
[**青**]（前日）[**赤**]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に 、[**❚❚ 一時停止**] を押して日付を選択することもできます）

❺ **番組を選び、決定 を押す**
❻ **「番組予約へ」を選び、決定 を押す**
（➜38 手順 5）

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の複数の検索条件（5 件まで）を登録し、 1 つでも条件を満たす番組を検索することができます。

■**検索条件を登録する**

❹ 緑 **を押す**
❺ **検索方法を選び、決定 を押す**
- 「フリーワード」は、文字を入力し **(➜119)**、登録してください。

上記手順 ❹ ～ ❺ を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録したフリーワードを変更するには
① 検索条件を選び、[**決定**] を押す
② 「フリーワード編集」を選び、[**決定**] を押す
③ 文字を入力する **(➜119)**

登録した検索条件を削除するには
① 検索条件を選び、[**黄**] を押す
② 「はい」を選び、[**決定**] を押す

■**検索する**

❹ 検索する放送種別を変更する場合：
① 赤 **を押す**
② **検索したい放送を「入」に設定し、決定 を押す**

❺ 青 **を押す**

別の日の検索結果を表示するには
[**青**]（前日）[**赤**]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に 、[**❚❚ 一時停止**] を押して日付を選択することもできます）

❻ **番組を選び、決定 を押す**
❼ **「番組予約へ」を選び、決定 を押す**
（➜38 手順 5）

お知らせ
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
- ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」**(➜ 129)** を「入」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。
- 「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

新番組を自動で予約録画する

地上デジタル BS デジタル

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大 16 番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は18時～23時59分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- HDD に DR モードで予約します。

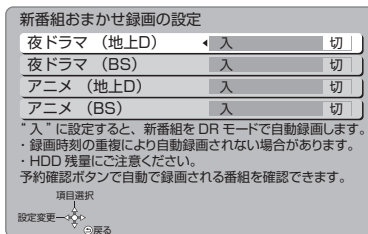
1 **スタート を押す**

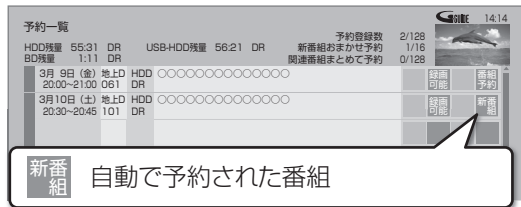
2 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「番組を探す・予約する」を選び、決定 を押す**

4 **「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す**

5 **設定したい項目を選び、「入」にする**

予約された新番組の確認

予約確認 を押す

予約内容を修正するには（➜51）

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

お知らせ

- 再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 通常の番組や関連番組まとめて予約と予約が重なった場合、複数の番組を録画（➜58）できないときは、新番組の予約は行われません。
- 新番組同士の予約が重なった場合、複数の番組を録画（➜58）できないときは、以下の優先順位で予約します。
  1. 開始時刻の早い番組を優先
  2. 新番組の開始時刻が同じときは、地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタルの番組を優先し、同じ放送のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの新番組は、契約していない場合、自動登録されません。

録画

お好みの番組を自動で予約録画する（関連番組まとめて予約）

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目に関連する番組を毎日検索して自動で予約録画します。

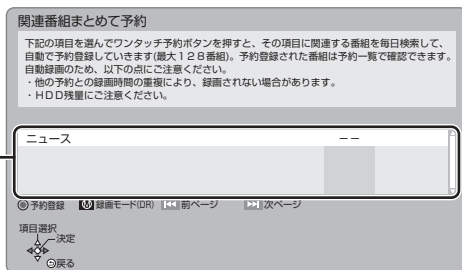
- 登録できる項目数は 32 個までです。
- 自動で予約される番組数は 128 番組までです。
- HDD に予約します。

選択した番組に関連した番組を自動で予約録画する

選択している番組に関連する項目から番組を自動で予約録画します。

1 番組予約画面（➜38 手順 5）表示中に
「関連番組まとめて予約へ」を選び、決定 を押す

- 選択している番組に関連番組の情報がない場合、表示されません。

2 表示されている項目を選び、決定 を押す

選択している番組に関連した項目が表示されます。

- 録画モードを変更する場合は [**録画モード**] を押して、録画モードを選んでください。

検索機能を使って関連した番組を自動で予約録画する

連続ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連した番組を自動で予約録画します。

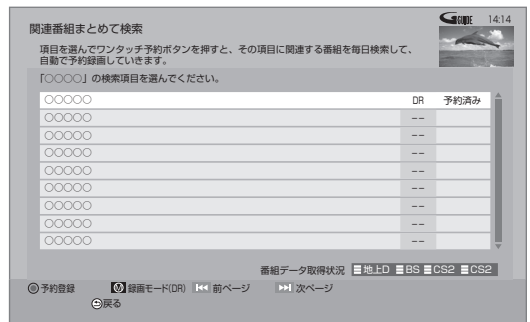
1 スタート を押す

2 「関連番組まとめて検索」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「検索する」を選び、決定 を押す

4 検索対象から項目を選び、決定 を押す

5 項目を選び、ワンタッチ予約録画 を押す

- 録画モードを変更する場合は [**録画モード**] を押して、録画モードを選んでください。

関連番組一覧を表示する場合
手順 5 で [**決定**] を押す

登録した関連番組まとめて予約の確認、取り消し、修正

1 スタート **を押す**

2 「関連番組まとめて検索」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「登録した予約を確認する」を選び、決定 を押す

■取り消す

❹ **登録した項目を選び、ワンタッチ予約 録画 を押す**

❺ **「はい」を選び、決定 を押す**

●すでに予約された番組は取り消されません。予約一覧（➜51）で取り消してください。

■ 予約済み番組を確認する

❹ **確認したい項目を選び、決定 を押す**

●予約番組を修正したい場合：

① 修正したい番組を選び、**[ワンタッチ予約 録画 ●]** を押す

② 項目を選び、**[決定]** を押す
詳細設定について（➜48）

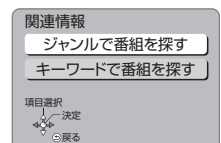
（予約番組を修正すると、関連番組まとめて予約の番組ではなくなります）

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組に関連した情報（ジャンル、出演者など）から番組を検索します。

1 番組内容画面（➜38 手順 4）表示中に
「関連情報」を選び、決定 を押す

2 項目を選び、決定 を押す

例）

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには
[地上] [BS] [CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには
[青]（前日）**[赤]**（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に、**[❚❚ 一時停止]** を押して日付を選択することもできます）

3 番組を選び、決定 を押す

4 「番組予約へ」を選び、決定 を押す
（➜38 手順 5）

録画

お知らせ

●通常の番組や新番組と予約が重なった場合、複数の番組を録画できないときは、関連番組まとめて予約は行われません。
●関連番組まとめて予約同士が重なった場合、複数の番組を録画できないときは、以下の優先順位で予約します。
①開始時刻の早い番組を優先
②開始時刻が同じときは、地上デジタル放送の番組を優先
③同じ放送波のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
●契約が必要なチャンネルの関連番組は、契約していない場合、自動登録されません。

詳細設定をする

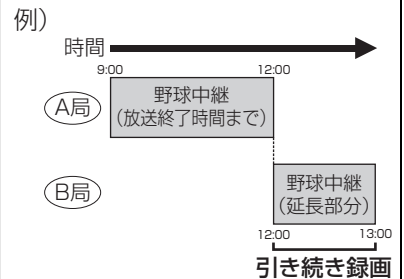
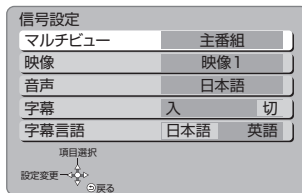
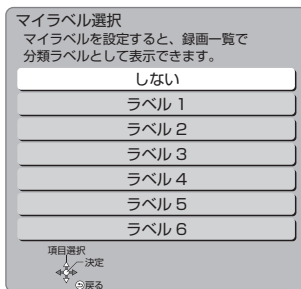
38 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する（➜ 下記へ）

●「録画モード」「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、[**決定**] を押してください。

2 設定が終了したら、
「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード（➜56）を設定します。
毎週予約設定	毎週予約設定 毎週予約 しない 自動更新 入 切 月 する しない 火 する しない 水 する しない 木 する しない 金 する しない 土 する しない 日 する しない ●お好みの曜日を選び、曜日毎に設定を変更することができます。 項目選択 決定 設定変更 戻る **「毎週予約」（➜53）を設定する** ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。

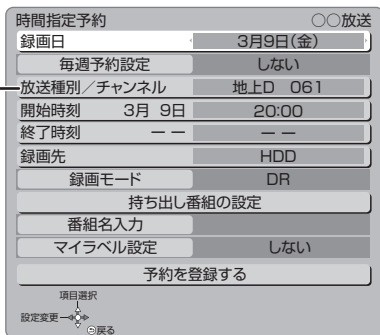
持ち出し番組の設定 **HDD**	録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。（➜112） **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」を選ぶ** ●「かんたん転送の登録」を「する」に設定すると、「かんたん転送」（➜114）で転送することができます。 ●持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。（➜113） **持ち出し番組の画質について（➜112）**
イベントリレー	「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。（ただし、別番組として録画されます） 例） **お知らせ** ●毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。 ●録画先が "BD" の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。 ●他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

信号設定	複数の音声や映像の信号があるときに設定します。 **① 項目を選び、設定する** **② [戻る] を押す** **お知らせ** ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 **(詳しくは ➜56)** ●選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定すると、録画一覧 **(➜62)** で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。**(➜74)** **ラベルを選び、[決定] を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベル名は変更することができます。 **(➜64「分類ラベル設定」)**
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 **(➜50「時間指定予約」)**

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) USB-HDD

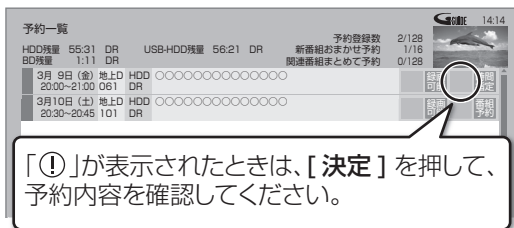
日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 **を押す**

2 ワンタッチ予約 録画 **を押す**

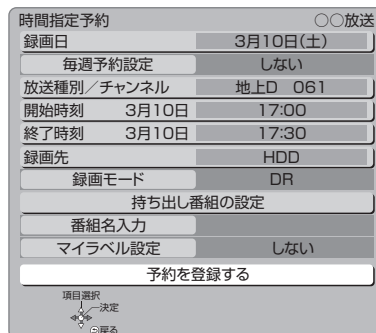
3 **予約内容を設定する**

（➜ 右記「時間指定予約」へ）

CATVセットトップボックスなどの外部入力から録画するときは「外部入力L1」を選んでください。

4 **「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、** 決定 **を押す**

お知らせ

- **暗証番号に関する表示が出たとき**
  デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号（➜130）の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る] を押すと予約できます。
- 本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。（➜136「時刻合わせ」）
- 番組追従機能（➜53）は働きません。

予約内容の設定

時間指定予約

❶ **項目を選び、設定する（➜ 下記へ）**
- 「毎週予約設定」「録画モード」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、[決定] を押してください。

❷ 設定が終了したら、
左記手順４へ

項目	説明
録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。（➜48「毎週予約設定」）
放送種別／チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻／終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ● [◀] または [▶] を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード（➜56）を設定します。
持ち出し番組の設定 HDD	持ち出し番組作成の設定をします。（➜48）
番組名入力	● 文字入力について（➜119） ● 入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。（➜49）

お知らせ

- 「時間指定予約へ」でチャンネルを修正した場合、録画した番組の番組名は修正前に予約した番組名が入りますので、「番組名入力」の番組名を消去してください。

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 **を押す**

2 **番組を選び、以下の操作を行う**

予約状況がマークで表示されます。
- 「!」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- **表示マークについては ➜198**

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。

予約の取り消し

❶ 黄 **を押す**
❷ **「はい」を選び、決定 を押す**

予約内容の修正

❶ 決定 **を押す**
❷ **「修正」を選び、決定 を押す**
(「番組予約」のときは ➜48「詳細設定」)
(「時間指定予約」のときは ➜50「時間指定予約」)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

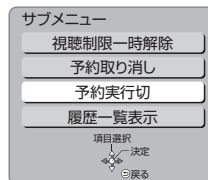
予約の重複などを確認できます。

❶ 決定 **を押す**
❷ **「毎週一覧」を選び、決定 を押す**

- 予約の「重複」がある場合に [**決定**] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。**(➜54)**
予約の修正をしてください。
- 毎週予約を行なっていない場合は、「毎週一覧」は表示されません。

予約の実行を止める（一時解除）

❶ サブメニュー S **を押す**

例）

❷ **「予約実行切」を選び、決定 を押す**

- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
- **[サブ メニュー]** を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。[LAN 経由（スカパー！HD）で録画中の番組を除く]

視聴制限の一時解除

暗証番号（**➜130**）を入力して視聴制限を一時解除します。

❶ サブメニュー S **を押す**
❷ **「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す**
❸ 1 ～ 10 **（ふた内部）で暗証番号を入力する**

履歴一覧の表示

❶ サブメニュー S **を押す**
❷ **「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す**

- 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

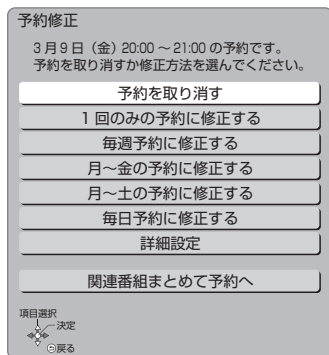
❶ サブメニュー S **を押す**
❷ **「履歴削除」を選び、決定 を押す**
❸ **「はい」を選び、決定 を押す**

- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

録画

番組表での予約の取り消し / 修正

❶「予」が表示されている番組を選び、ワンタッチ予約 録画 を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す

「詳細設定」を選んだ場合

「番組予約」のときは（➜48「詳細設定」）
「時間指定予約」のときは（➜50「時間指定予約」）

「関連番組まとめて予約へ」を選んだ場合
（➜46）

お知らせ

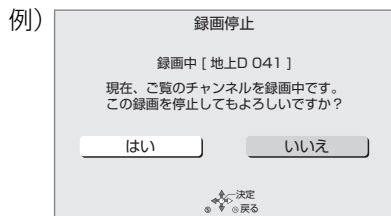
- 同じ番組を複数予約している場合は、予約一覧で取り消しや修正を行ってください。（➜51）

録画中の予約録画を止める

1 ■停止 を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2「はい」を選び、決定 を押す

例）

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

●連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(➜51)

■ **まとめ表示について** まとめ **HDD** **USB-HDD**

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。(➜65)

(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

■ **前回の番組を消去して録画するには（自動更新）** **HDD**

「自動更新」を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

●録画先を HDD 以外に変更すると、「自動更新」は「切」に設定されます。

ディスクの残量不足などに対応（代替録画）

以下の理由などでディスクなどに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に "HDD" に録画先を変更し、録画の開始から HDD に録画します。

●ディスクや USB-HDD の残量不足

●ディスクの入れ忘れ

●USB-HDD が接続されていない

●USB-HDD の電源が入っていない

お知らせ

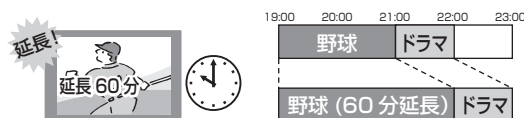
●HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

●DVD 画質の予約を代替録画すると、HDD には３倍録モードで録画します。

番組追従機能

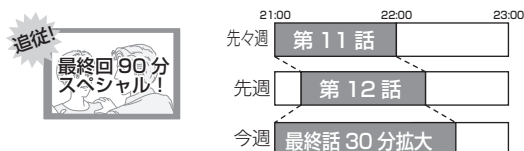
●番組表から予約した番組にのみ働きます

■ **野球中継などの番組延長に対応**

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)

●「イベントリレー」(➜48)を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。

●予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■ **毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応**

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)

●次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。

●番組表の更新をもとに働くため、更新状態（番組名の変更など）によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

☞ **番組追従機能を無効にするには**

時間指定予約で予約を行ってください。(➜50)

お知らせ

●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。

●番組追従機能は、G ガイド固有の機能ではありません。

予約録画する（続き）

予約録画に関するお知らせ

予約録画待機中の録画や再生

以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。

●録画中：
　複数の番組を録画できない状態のとき

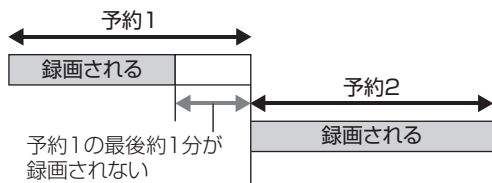
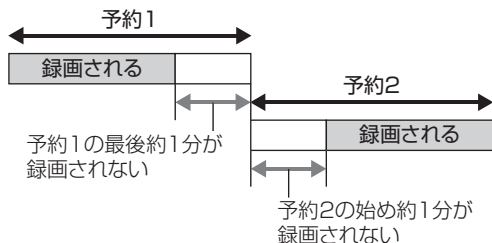
●ディスク再生中：
　ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき

●「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中：
　・XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画の開始時刻になったとき
　・ディスクへのDRモード以外の予約録画の開始時刻になったとき

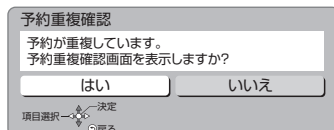
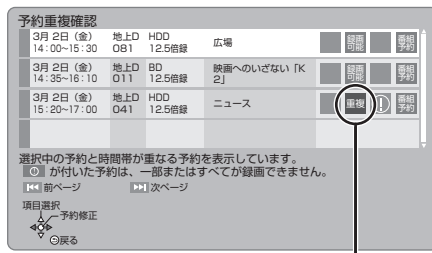
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。予約録画中に電源を切ることはできます。（録画に影響はありません）

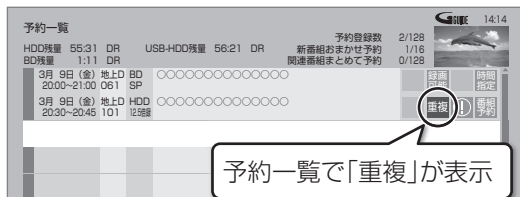
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

複数の番組を録画できない状態のときは、前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。

次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。

●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき
（38 ページ手順 5 などのあと）

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。

例）

「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定] を押すと、予約の修正ができます。

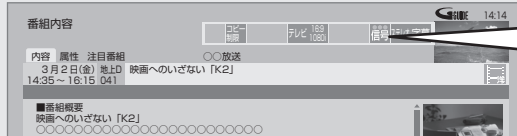
予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。
開始時刻が同じ場合、後から予約した番組を優先して録画します。

●LAN 経由（スカパー！HD）の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ二重音声の番組や複数の音声を含んだマルチ音声の番組があります。このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。

信号：マルチ音声

主+副：二重音声

番組を視聴中のときは、**[音声切換]** を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の２か国語放送（マルチ音声または二重音声）を記録する場合

記録する操作	記録音声	記録先	記録できる音声
デジタル放送などの録画	信号 マルチ音声 主+副 二重音声	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD	**両方の音声を記録**
		RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)	●**マルチ音声：片方の音声のみ記録** 予約時に「信号設定」(➜49) の「音声」で選択する ●**二重音声：両方の音声を記録**
外部入力、DV 入力からの録画※ 外部入力(L1)取込※	二重音声	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)	**以下の設定に従って記録** 「ハイビジョン画質 ／ 持ち出し番組の記録設定」(➜137) の「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする
		RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) [DV 入力、外部入力（L1）取込時のみ]	**両方の音声を記録**
		-R(V) -RW(V) [DV 入力、外部入力（L1）取込時のみ]	**以下の設定に従って記録** ●DV 入力から録画時 「ハイビジョン画質 ／ 持ち出し番組の記録設定」(➜137) の「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする ●外部入力（L1）取込時 「DVD-Video 記録の設定」(➜137) の「ぴったり録画の音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする

※ 外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力してください。

録画モードについて

録画モード	DR	1.5 ～ 12.5 倍録	XP・SP・LP・EP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮[※1]して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにもハイビジョン画質で記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせてXP～EPの中で画質を自動調整して記録 ●番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。
	—	高画質　長時間	高画質　長時間	—
記録できる放送 / 入力	地上･BS･CSデジタル放送 i.LINK（TS）	地上･BS･CSデジタル放送 外部入力、DV 入力	地上･BS･CSデジタル放送 外部入力、DV 入力	
記録できるディスク	HDD BD-RE BD-R USB-HDD	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD[※2]	RAM(VR) -R(VR) -R(V)[※3] -RW[※3]	
サラウンドの音声	サラウンド音声		ステレオ音声 （ダウンミックス 2 チャンネル）	
複数の音声（マルチ音声➜55）	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つ記録[※4]	音声は 1 つだけ記録[※4]	
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は 1 つだけ記録[※4]		
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 （再生時、字幕表示の入 / 切ができる）		字幕の入 / 切情報は記録しない （再生時、字幕表示の入 / 切はできない）[※4]	

※ 1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※ 2　USB-HDD には DR モードでのみ録画できます。録画後、1.5 ～ 12.5 倍録モードに録画モード変換（➜75）できます。

※ 3　-R(V) -RW(V) デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

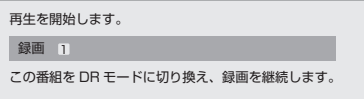
※ 4　記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。
- 録画時　　：「信号切換」（➜34）で選ぶ
- 予約録画時：「信号設定」（➜49）で選ぶ
- ダビング時：「信号切換」（➜70）で選んだあと、ダビングを行う（➜87）

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード(4 倍録～ 12.5 倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

1.5 ～ 12.5 倍録モードでの録画について

1.5 ～ 12.5 倍録モードでの録画中に、再生やダビング、AV ネットワーク機能の使用などを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

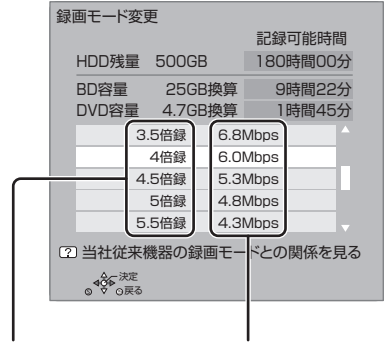
例） BD-V 再生時

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
（電源「切」時に予約録画など本機が動作中の場合、動作終了後に変換を行います）

変換が終了しているか確認するには（➜75）

また、複数の番組を録画中には、以下の制限があります。

- HDD とディスクに 1 番組ずつ録画中、HDD の残量不足の場合、再生やダビングはできません。
- 持ち出し番組やダビングリスト作成画面のプレビューはできません。

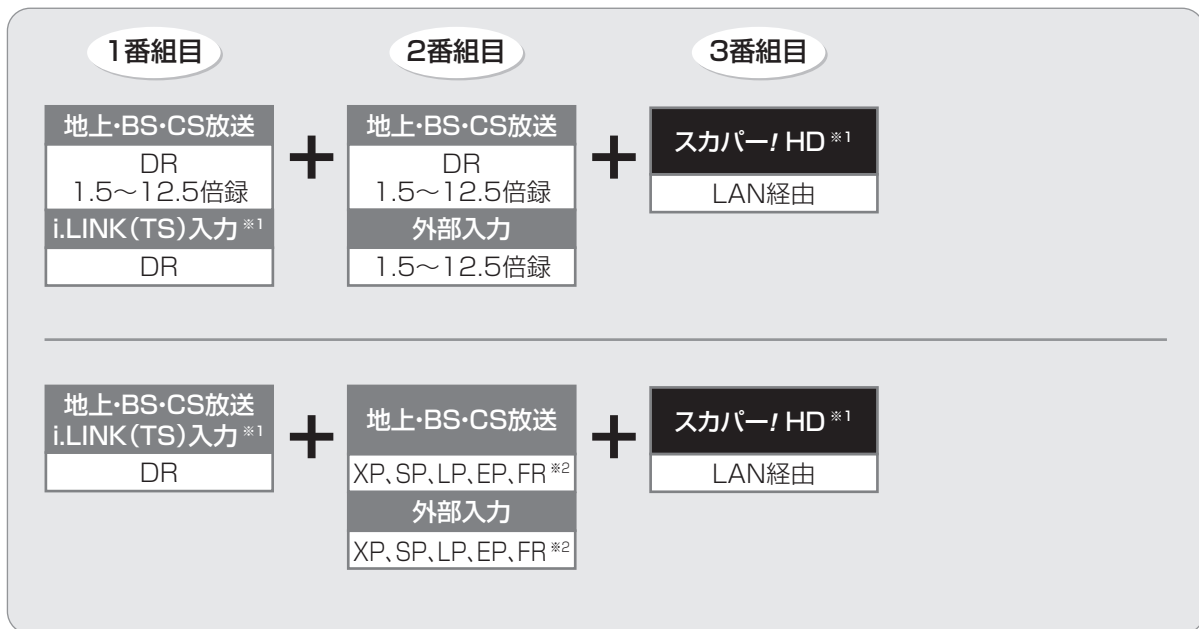
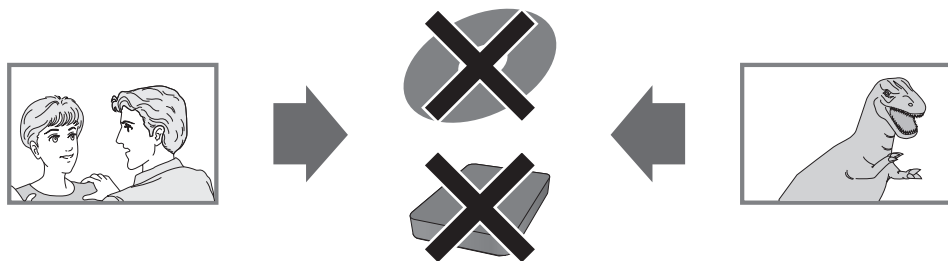
録画モードと記録時間の倍率について

例）

※ 情報量（ビットレート）の数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像（24 Mbps）を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

録画モードと記録時間の目安（➜206）

番組の同時録画について

本機でできる最大の同時録画の組み合わせは、以下のとおりです。
- 1 ～ 3 番組目の録画順は自由です。

※ 1　i.LINK（TS）入力、LAN 経由（スカパー！HD）の番組は、HDD にのみ録画できます。
※ 2　XP、SP、LP、EP、FR モードでの録画は DVD にのみできます。

お知らせ

- 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
  - · DV 入力から録画する場合
  - ·「外部入力（L1）取込」中
  - · ディスクから HDD へダビング中
  - · HDD から HDD へダビング（複製）中
  - · LAN 経由（スカパー！HD）の 2 番組の場合
  - · Wooo リンクを利用して「レコーダー録画開始」を実行しているときは、新たに「レコーダー録画開始」はできません。
  - · ディスクへ 1.5 ～ 12.5 倍録で録画中は、外部入力から録画することはできません。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。

ブルーレイディスク

市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVD

著作権保護技術を持ったCPRMに対応している必要があります。

パッケージに CPRM対応 の記載のあるDVDを準備してください。

（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

■ **コピー制限について**

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD や USB-HDD の場合は10またはを1、ブルーレイディスクの場合は1を表示します。

10～1はダビングの残り可能回数を表します。

DVDの場合は×を表示し、ダビングや移動はできません。

1の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。（複製はできません）

- 通常の番組・持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。（BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません）

ダビング元　　ダビング先

- プロテクト設定（➜72）されている1の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

社団法人 デジタル放送推進協会

http://www.dpa.or.jp

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」（➜137）に従って記録します。-R(V) -RW(V) へ記録するときに有効です。

- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」（➜137）に従って記録します。

480i の映像を 1.5 ～ 12.5 倍録モードで記録するときに有効です。

- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
  - ・外部入力、DV 入力から録画
  - ・ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）から HDD にダビング
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

従来のアナログ放送と同様の画質で放送されている番組の記録

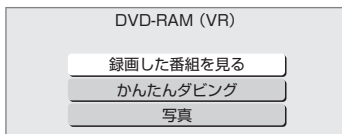
放送によっては、DR モードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。

録画

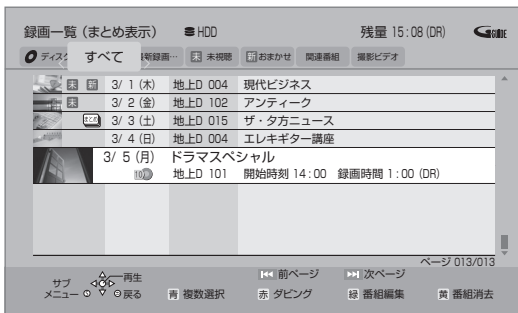
録画した番組を再生する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例）RAM

上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 **を押す**

2 番組を選び、決定 を押す

●毎日・毎週予約した番組は、まとめ番組内に録画されます。
まとめ番組を選んで、[決定]を押すと、まとめ番組内の番組を表示できます。

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

BD-V DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

●自動的に再生が始まります。
●再生が始まらない場合、[▶ 再生]を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合
項目を選び、決定 を押す

メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中：[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中：[録画一覧]を押す

DVD-V [録画一覧]を押す
（[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ）

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中：[録画一覧]を押す
（[サブ メニュー]を押して、「ポップアップメニュー」を選ぶ）

●停止中に[1]～[10]を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。
DVD-V：2 桁入力　BD-V：3 桁入力

お知らせ

●表示マークについては（➜199）
●録画一覧表示中に[赤]を押すと、かんたんダビング（➜80）を行うことができます。

お知らせ

●メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[■ 停止]を押して停止させてください。

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を再生する

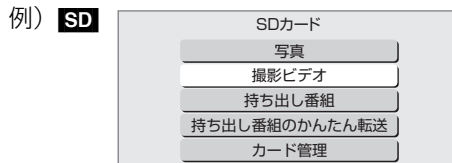
AVCHD

MP4（SD カードのみ）

AVCHD対応ビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

●以下の動画の再生にも対応しています。
・1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録
・AVCHD 3D

ディスクまたは SD カードを入れると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例） SD

ディスクを入れた場合：
下記の手順 5 に進みます。
SD カードを入れた場合：
下記の手順 4 に進みます。

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 ディスクを入れた場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す（➜ 手順 5 へ）
SD を入れた場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

5 「撮影ビデオを見る」または「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」を選び、決定 を押す

●複数種類の撮影ビデオが SD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。
再生したい撮影ビデオを選び、**[決定]** を押してください。

6 タイトルを選び、決定 を押す

☞ **メニューが表示されないときは**
[1] ～ [10] で３桁入力してタイトルを再生してください。

お知らせ

● MP4 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

4 「プレイリストを見る」を選び、決定 を押す

5 プレイリストを選び、決定 を押す

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

例）

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

家じゅう		「AV ネットワーク」(➔122) で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 ●「家じゅうラベルの表示」(➔143) を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大10台まで、番組数は最大40000番組までです。
ディスク		ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ● BD-V DVD-V では表示されません。
USB-HDD		USB-HDD 内の番組（USB-HDD が接続されている場合に表示）
HDD	すべて	すべての番組
	最新録画番組	最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未 未視聴	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「未 未視聴」から除外されます。
	新 おまかせ	新番組おまかせ録画（➔45）で録画された番組 ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「新 おまかせ」から除外されます。
	関連番組	関連番組まとめて予約（➔46）で録画された番組
	ダウンロード	ダウンロードした番組（➔118）
	ドラマ、映画などの「ジャンル」	録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル	「マイラベル設定」（➔49、74）で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。（➔64「分類ラベル設定」）
	撮影ビデオ	ディスクや SD カード、USB 機器から取り込まれた動画（AVCHD、MP4）（➔95）

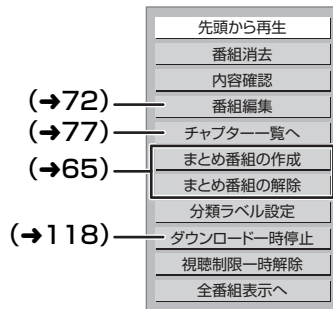
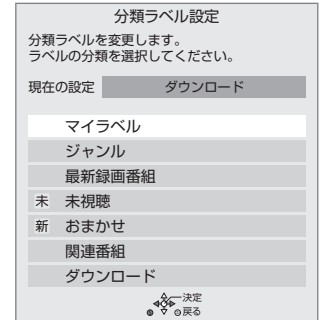
録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す**

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル（➜62）を選んでから［サブ メニュー］を押してください。

❷ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

例）

先頭から再生 HDD USB-HDD	番組を最初から再生します。
番組消去	番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。（ダウンロードした番組を除く） **「消去」を選び、［決定］を押す**
内容確認	番組の内容が確認できます。 ☞ **画面を消すには** ［決定］を押す
分類ラベル設定 HDD	録画一覧に表示するラベルを変更します。 ●「すべて」「撮影ビデオ」ラベルは変更できません。 分類ラベル設定 分類ラベルを変更します。 ラベルの分類を選択してください。 現在の設定　ダウンロード マイラベル ジャンル 最新録画番組 未　未視聴 新　おまかせ 関連番組 ダウンロード 決定 戻る **表示させたいラベルを選び、［決定］を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、［決定］を押す ②「名称変更」を選び、［決定］を押す （ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください） ③ ラベル名を入力する （➜119）
視聴制限一時解除 HDD USB-HDD	「HDD 番組の視聴制限」（➜138）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
全番組表示へ **まとめ表示へ** HDD USB-HDD	表示を切り換えます。
一覧を更新 **更新を中止** ●「家じゅう」ラベル選択時のみ	「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。

まとめ 番組について

毎日・毎週予約や、関連番組まとめて予約をした番組は、録画一覧画面で まとめ 番組として表示されます。

まとめ 番組の再生 HDD USB-HDD

■番組を選んで再生する

❶ まとめ 番組を選び、決定 を押す

❷ 再生する番組を選び、決定 を押す

■番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ 番組を選び、 を押す

- まとめ 番組内の番組を連続で再生します。
- まとめ 番組にダウンロードした番組が含まれる場合、まとめ再生はできません。

まとめ 番組の番組名について HDD USB-HDD

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。(➜72)

- まとめ 番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集 HDD USB-HDD

❶ 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

❷ すべて選んだあと、サブメニュー S を押す

❸ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。 （まとめ番組一覧表示のとき） **「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

再生中のいろいろな操作

停止

[■停止] を押す

続き再生メモリー機能
止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。
- HDD USB-HDD：番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク：前回止めた位置のみを記憶
  - ・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
  - ・BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

[❚❚一時停止] を押す

- もう一度押す、または [▶ 再生] を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し（サーチ）

[◀◀早戻し] または [▶▶早送り] を押す

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。（5 段階）
- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に

[|◀◀スキップ] または [▶▶|スキップ] を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。
- チャプターマーク（➜76）がある場合は、その場面に飛びます。
- HDD USB-HDD まとめ再生中（➜65）は、前後の番組も含めて飛び越します。
- MP4 ではできません。

30 秒先へ飛び越す /10 秒前へ戻す

[30秒送り] または [10秒戻し] を押す

押すごとに、約30秒先へ飛び越して、または約10秒前に戻して再生します。
- DVD-V 正しく働かない場合があります。

早見再生（1.3 倍速）

を約 1 秒以上押す

通常よりも速い速度で再生します。
- もう一度 [1.3 倍速 /▶ 再生] を押すと、通常再生に戻ります。
- 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、「1080/60p」の表示がある番組、-RW（ファイナライズ後も含む）、MP4 ではできません。
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

スロー再生

一時停止中に

または [▶▶早送り] を押す

押すごとに速度が速くなります。（5段階）
- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または BD-V、AVCHD では、送り方向のみ働きます。
- MP4 ではできません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

（左または右）を押す

押すごとに 1 コマずつ送り（戻し）ます。
- 押したままにすると、連続してコマ送り（戻し）します。
- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または BD-V、AVCHD では、コマ戻しはできません。
- MP4 ではできません。

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

操作方法（➜33）

音声の切り換え

音声切換（ふた内部）**を押す**

●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

● MP4 ではできません。

時間を指定して飛び越す（タイムワープ）

❶ タイムワープ（ふた内部）を押す

❷ 飛び越し時間の表示中に、
[▲][▼] で飛び越す時間を設定し、決定 を押す

飛び越し時間表示
約5秒間表示

●[▲][▼] を押すごとに 1 分ずつ(押したままで 10 分ずつ）送り [▲]、戻し [▼] します。

● BD-V DVD-V AVCHD MP4 ではできません。

旧作モード

映像の制作時期が古く、画質が良好でない場合に適したモードです。ノイズを抑えてすっきりとした画質に補正します。

❶ サブメニュー S を押す

❷「旧作モード」を選び、決定 を押す

❸ [◀][▶] で「入」を選び、決定 を押す

● BD-V DVD-V AVCHD MP4 ではできません。

●サイドバイサイドの 3D 映像はできません。

●画質が良好な番組の場合、再生する画質が劣化することがあります。

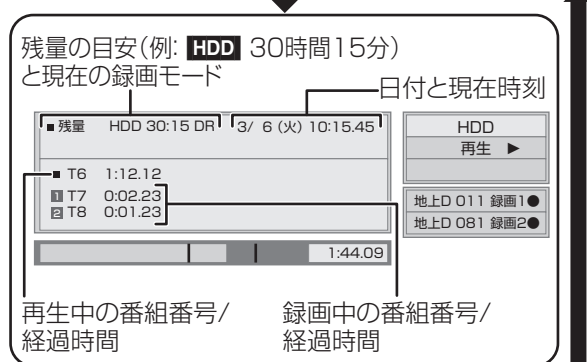
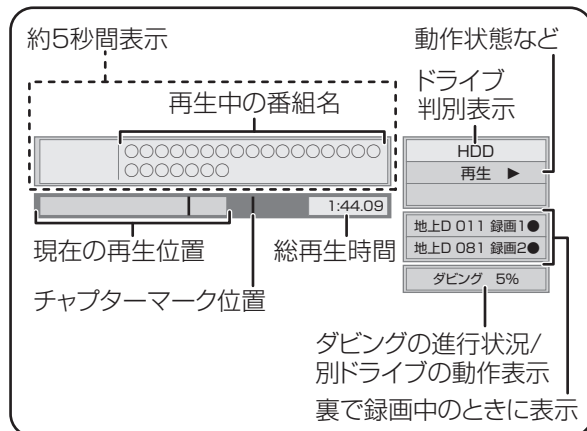
●再生を停止すると「切」に戻ります。

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示 **を押す**

●押すごとに切り換わります。

例） HDD

画面表示なし

残量表示について

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。（DR モードは、特にそのばらつきが大きくなります）

お知らせ

●ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

3D 映像を楽しむ

3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

- 本機と 3D 対応のテレビを、HDMI ケーブルで接続する（➜159）
  ・テレビ側で必要な準備を行ってください。

※ イラストはイメージ図です。

- 表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D 方式設定	3D映像が正しく3D再生できない場合に、接続しているテレビの方式に合わせて設定を変更します。（➜140）
3D 再生時の注意表示	3D 視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。（➜140）
BD-Video の 2D→3D変換モード	2D ディスクを 3D 再生する場合の、字幕やメニューの表示方法を設定できます。（➜137）
画面表示の飛び出し量	再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。（➜71）

3D 映像を 2D（従来の映像）再生したい場合、以下の設定をしてください。

- BD-V ：「3D ディスクの再生方法」（➜137）
- 録画した 3D 番組 ：「3D 番組の出力方法」（➜140）

3D 映像を再生するための便利な機能

❶ **再生または視聴中に** **を押す**

- 表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

❷ **「3D/2D 出力」を選び、決定 を押す**

❸ **項目を選び、決定 を押す**

出力方式	オリジナル	元の映像で表示します。
	サイドバイサイド	サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に選択してください。 ●変更しても正しく表示されない場合は、「3D 方式設定」（➜140）とテレビ側の 3D 設定を確認してください。
	2D → 3D 変換	再生中の 2D 映像を擬似的に 3D 映像に出力します。（録画した番組、BD-V、DVD-V の再生時に有効）

- 上記のサブメニューは 3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続したときのみ表示します。

お知らせ

- 「3D 方式設定」（➜140）が「サイドバイサイド」の場合：
  ・テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。
  ・「画面表示の飛び出し量」（➜71）は設定できません。
- 接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
- 3D 映像は、「HDMI 出力解像度」や「24p 出力」（➜141）の設定どおりに出力されない場合があります。
- 3D 映像の再生開始時に、サイドバイサイド（2画面構成）で見えることがあります。
- 3D映像と2D映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。
- 以下の場合、「出力方式」の設定は「オリジナル」に戻ります。
  ・他のチャンネルを選局
  ・番組の再生を始める、または終了する
  ・電源を切 / 入
- BD-V の 3D 再生や 3D 表示のある番組では、「出力方式」は「オリジナル」固定になります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、接続したテレビによっては、サイドバイサイド（2 画面構成）で再生することがあります。

BD-Live、e-move 対応の BD ビデオや副映像のある BD ビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や操作方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。
●本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

❶ **ネットワーク接続と設定をする（➜168、175）**
❷ **「BD-Live インターネット接続」（➜137）を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する**
❸ **1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる**
❹ **ディスクを入れる**

●SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**（➜125、手順 5 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください）**

お知らせ
●インターネットに接続して BD-Live コンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
●BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

e-move 対応ディスクから映像を持ち出す

e-move 対応ディスクでは、インターネットに接続して映像をモバイル機器に持ち出して楽しむことができます。
●e-moveの映像は、本機の持ち出し番組を再生できる機器で楽しめます 。**（➜112）**

❶ **ネットワーク接続と設定をする（➜168、175）**
❷ **「BD-Live インターネット接続」（➜137）を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する**
❸ **SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する**
❹ **ディスクを入れる**
❺ **ディスクの手順に従って、映像を持ち出す**

お知らせ
●持ち出した映像は、持ち出し番組一覧（**➜115**）で確認・消去することができます。
●ディスクによっては、映像を消去すると、再度映像の持ち出しができなくなる場合があります。
●「BD ビデオデータ消去」（**➜125**）を行っても、映像は消去されません。

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例）

●副映像の音声を出力する場合、「デジタル出力」（**➜139**）の「BDビデオ副音声・操作音」（**➜139**）を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは
●「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**（➜70）**
●「BD-Video の 2D → 3D 変換モード」を「モード 2」に設定してください。**（➜137）**

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に

再生設定 **（ふた内部）を押す**

2 **メニューを選び、[▶] を押す**

例）BD-V

3 **設定項目を選び、[▶] を押す**

●ディスクにより表示される設定項目は異なります。

4 **設定を変更する**

お知らせ

●映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

ディスク

映像情報 AVCHD

情報の表示のみ

音声情報

音声や言語の選択または音声属性の表示

信号切換

DR モードまたは 1.5 ～ 12.5 倍録モードの番組は音声などを切り換えます。

「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

[決定] を押して、さらに設定します。

- ▶ **マルチビュー（主番組など）**
- ▶ **映像（映像 1 など）**
- ▶ **音声（日本語 / 英語など）**
- ▶ **二重音声（主 / 副など）**
- ▶ **字幕（入 / 切）**
- ▶ **字幕言語（日本語 / 英語）**

BD-V

- ▶ **主映像**
  - ・**映像情報 / 音声情報**
- ▶ **副映像**
  - ・**映像情報（入 / 切）/ 音声情報（入 / 切）**

アングル

アングルを選びます。

字幕情報

字幕表示の入 / 切や、言語の選択

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕位置 BD-V DVD-V

字幕の表示位置を変更します。

字幕スタイル

ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生

リピート
（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
- ▶ **番組**：録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **タイトル**：BD-V DVD-V AVCHD
  タイトル全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター**：再生中のチャプターを繰り返し再生
- ▶ **プレイリスト**：プレイリスト
- ▶ **全曲**：ディスク全体の全曲
- ▶ **1 曲**：選んだ曲のみ

ランダム（音楽再生時のみ）
●「入」にすると、順不同に再生します。

画面表示の飛び出し量
3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

映像

画質選択
再生時の画質を選びます。
- ▶ **ノーマル**：標準
- ▶ **ソフト**：ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン**：輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ**：映画鑑賞向け
- ▶ **ユーザー**：さらに画質を調整
  [▶] で「詳細画質設定」を選び、[決定] を押す
  ・**コントラスト**（白黒の強弱）
  ・**ブライトネス**（画面全体の明るさ）
  ・**シャープネス**（鮮やかさ）
  ・**カラー**（色の濃さ）
  ・**ガンマ**（暗くて見えにくい映像の輪郭）

HD オプティマイザー
「入」にすると、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ
480p、1080p のプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

24p
[「24p 出力」（➔141）が「入」の場合のみ]
「入」にすると、DVD-V や録画した番組をより映画らしい動きで再生することができます。
●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。
●以下の場合、設定は「切」に戻ります。
・DVD-V：ディスクを取り出した場合
・録画した番組：再生を停止した場合

音声

音質効果
ナイトサラウンド※
夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。
- ▶ **ナイトサラウンド**
- ▶ **切**

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス※
センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

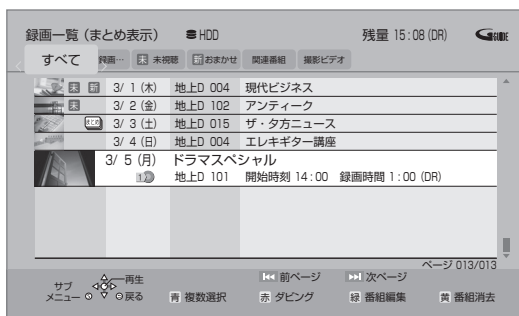
※ HDMI 出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。（➔139）

番組を編集する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

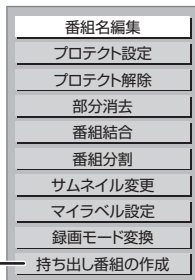
（ファイナライズしたディスクや AVCHD では編集できません）

1 録画一覧 **を押す**

2 番組を選び、緑 を押す

例）HDD

3 項目を選び、決定 を押す（➜右記へ）

●ディスクでは表示される項目が異なります。

例）HDD

（➜113）

お知らせ

●「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。

●持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」「番組結合」はできません。「持ち出し番組の作成」（➜113）の設定を取り消すと実行できます。

●ダウンロードした番組は、「プロテクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。

番組名編集

☞ 文字入力 （➜119）

お知らせ

● 新 表示の番組は変更できません。

●番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。

● まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

プロテクト設定 / 解除

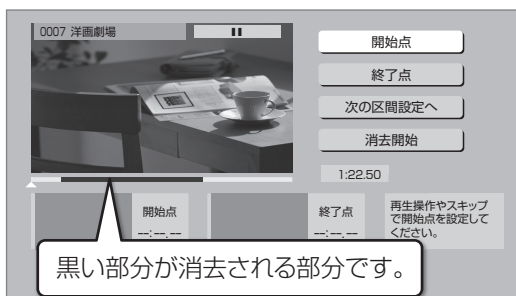
記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

● -R(V) -RW(V) ではできません。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す

●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

部分消去

● -R(V) -RW(V) ではできません。

① **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で [決定] を押す**

③ **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で [決定] を押す**

●続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**[決定]** を押す（**➜手順 ② へ**）

・20区間まで設定できます。

・すでに設定した区間の変更はできなくなります。

⑤ **「消去開始」を選び、[決定] を押す**

⑥ **「実行」を選び、[決定] を押す**

●部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。

番組結合

HDD USB-HDD

同じ録画モードや素材の 2 つの番組同士を、1 つの番組に結合することができます。

- 1.5 ～ 12.5 倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

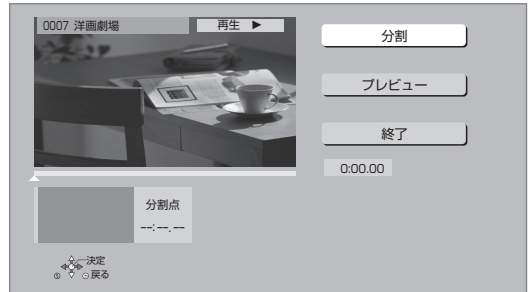
① **結合したい番組を選び、[決定] を押す**

② **「結合」を選び、[決定] を押す**

お知らせ

- 結合した番組は以下のようになります。
  - ・録画モード：
    画質の高いほうの録画モード（ただし、画質は向上しません）
  - ・ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
  - ・番組名：最初に選択した番組名
  - ・チャプターマーク：
    結合した位置に作成（結合してチャプターマーク数が 999 を超える場合、超えた分は削除されます）
  - ・番組の結合部分：映像や音声が途切れることがあります。
  - ・持ち出し番組は消去されます。
- 以下の番組は結合できません。
  - ・ダウンロードした番組
  - ・録画時間の合計が 8 時間を超える場合
  - ・デジタル放送の番組とそれ以外の番組
  - ・本機で DR モードで録画した番組と i.LINK（TS）入力から記録した番組
  - ・LAN 経由（スカパー ! HD）で録画した番組
    - 録画モード変換(➜75)を行うと、結合できるようになります。
    視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。
  - ・撮影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士

番組分割

- -R(V) -RW(V) ではできません。

① **「分割」を選び、分割する場面※で [決定] を押す**
- 「プレビュー」を選び、[決定] を押すと、分割する場面を確認することができます。

場面を選び直すには

① 「分割」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める

② 分割する場面で、[決定] を押す

② **「終了」を選び、[決定] を押す**

③ **「分割」を選び、[決定] を押す**

- 分割した番組は、まとめ 番組になります。
- 分割すると、持ち出し番組は消去されます。
- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。
- BD-RE BD-R 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

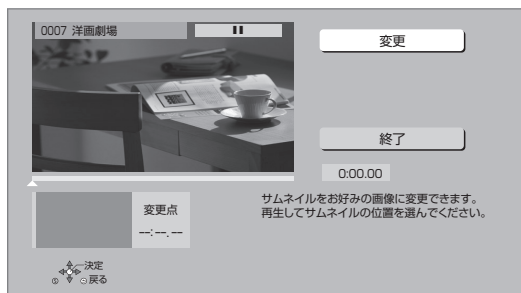
① 早送りやスロー再生など（➜66）を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [❚❚ 一時停止] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

サムネイル変更

HDD -R(V) -RW(V) USB-HDD

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）を変更します。

●-R(V) -RW(V) サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。

① **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

② **「変更」を選び、お好みの場面※で [決定] を押す**

場面を選び直すには

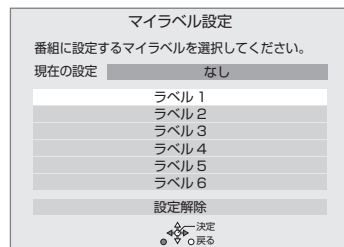
① 「変更」を選び、**[▶ 再生]** を押して再生を始める

② お好みの場面で、**[決定]** を押す

③ **「終了」を選び、[決定] を押す**

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。

① **ラベルを選び、[決定] を押す**

② **「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す**

●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。

●マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、**[決定]** を押してください。

●マイラベル名は変更することができます。**(➜64「分類ラベル設定」)**

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生など（**➜66**）を使って、目的の部分を探す

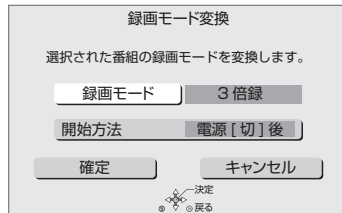
② 編集したい場面で **[❚❚ 一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

録画モード変換

HDD **USB-HDD**

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- 1.5 ～ 12.5 倍録 モードのみ選択できます。

① **「録画モード」を選び、[決定] を押す**

② **倍率を選び、[決定] を押す**

③ **「開始方法」を選び、開始方法を設定する**

- **すぐに**：
  「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。
- **電源 [切] 後**：
  電源「切」後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

④ **「確定」を選び、[決定] を押す**

⑤ 「すぐに」開始する場合：
「開始」を選び、[決定] を押す

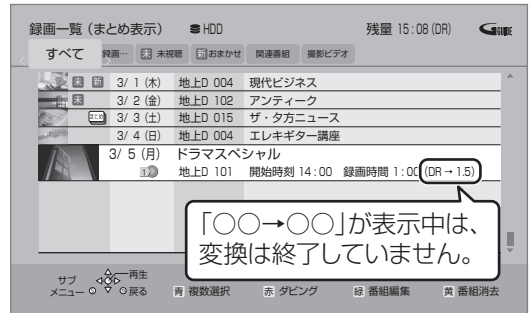
変換を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」開始する場合：
[決定] を押す

「電源 [切] 後」を選んだ後に、変換の設定内容を変更・取り消しするには

① **72 ページ**手順 **3** で「録画モード変換」を選ぶ

② 「設定変更」または「設定取消」を選び、**[決定]** を押す

変換が終了しているか確認するには

お知らせ

- 12.5 倍録モードの番組は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、EP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」（➜137）で記録したい音声を選んでください。

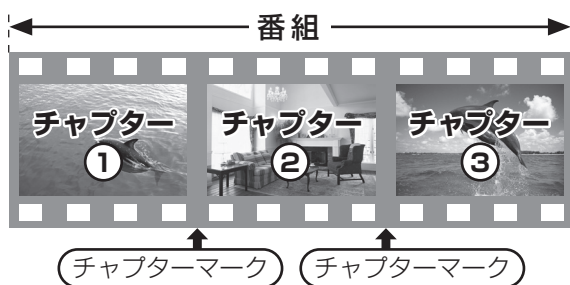
チャプターの作成・再生・編集

HDD（ダウンロードした番組ではできません）

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)
（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます）

USB-HDD

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ（➜66）すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。

チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」（➜138）を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。複数の番組を録画中でも作成します。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

- HDD USB-HDD チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能（➜66）や「サムネイル変更」（➜74）ができなくなります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

 を押す

削除

一時停止中に

❶ スキップ または スキップ を押して、削除したい場面に飛ぶ

❷ チャプターマーク を押す

❸「はい」を選び、決定 を押す

前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

① ［録画一覧］を押す

② 番組を選び、［サブ メニュー］を押す

③「チャプター一覧へ」を選び、［決定］を押す

④ ［緑］を押す

⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

チャプターを再生・編集する

1 録画一覧 **を押す**

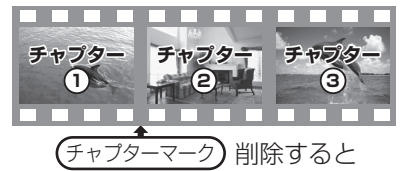
2 番組を選び、サブメニュー を押す

3 「チャプター一覧へ」を選び、決定 を押す

4 編集する：
チャプターを選び、サブメニュー を押す
（➜ 手順５へ）

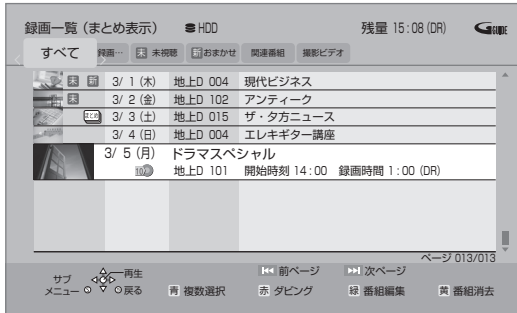
再生する：
チャプターを選び、決定 を押す

5 編集する項目を選び、決定 を押す
（➜ 右記へ）

チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。（元に戻すことはできません） 番組が部分消去されます。 **「消去」を選び、[決定] を押す** ●チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。 ●持ち出し番組も消去されます。
チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、１つにつなぎます。 前後のチャプターが結合されます。 **「結合」を選び、[決定] を押す**

番組を消去する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

1 録画一覧 **を押す**

2 番組を選び、黄 を押す

- まとめ 番組内の番組を消去する場合、
[黄] を押す前に、[決定] を押して、まとめ 番組内の番組を表示してください。

3「消去」を選び、決定 を押す

お知らせ

- HDD 消去すると、持ち出し番組も消去されます。
（ダウンロードした番組を除く）
- **消去後のディスク残量について**
  - ・HDD BD-RE RAM -RW(VR) USB-HDD
消去すると、消去した分、残量が増えます。
  - ・-RW(V)
最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	・・・	最後に記録した番組	残量

・BD-R -R 消去しても残量は増えません。

番組のダビングについて

基本操作　選び　決定　→　決定する　決定

本機には複数のダビング方法があります。
ダビング元やダビング先など用途に応じたダビング方法を行ってください。

録画した番組のダビング

HDD から BD DVD へ ➡
- ●難しい設定はせずに番組をダビングしたい
  …**かんたんダビング（➜80）**
- ●お好みの設定でダビングしたい
- ●FR モードで DVD の残量ぴったりにダビングしたい
  …**詳細ダビング（➜82）**
- ●DVD 画質で音声、字幕を選択してダビングしたい
  …**再生中番組の保存（➜86）**

BD DVD HDD から HDD へ ➡
HDD から USB-HDD へ ➡
USB-HDD から HDD BD DVD USB-HDD へ ➡
詳細ダビング（➜82）

DVDにデジタル放送をダビングする場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。

☞ **複数の音声（マルチ音声）や字幕情報を含んだ番組のダビングについて（➜87）**

HDD と USB-HDD 間のダビングについて

移動のみ可能
- ●ダビング元の番組は消去されます。
- ●HDD の持ち出し番組は消去されます。
- ●ダビングの残り回数は減りません。
- ●HDD に取り込んだ撮影ビデオ（AVCHD、MP4）、MPEG2 動画、録画モードが XP、SP、LP、EP、FR の番組の場合は、USB-HDD へダビングできません。

ディスクから HDD へのダビングについて

デジタル放送の番組をダビングする場合
- ●DVD からはダビングできません。
- ●BD からは移動のみできます。（ムーブバック）（ディスクの番組は消去されます。ただし **BD-R** はディスク残量は増えません）
- ●ファイナライズ後の **BD-R** からは移動できません。

番組をダビングする

かんたんダビング

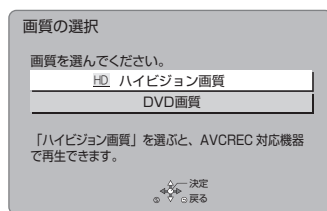
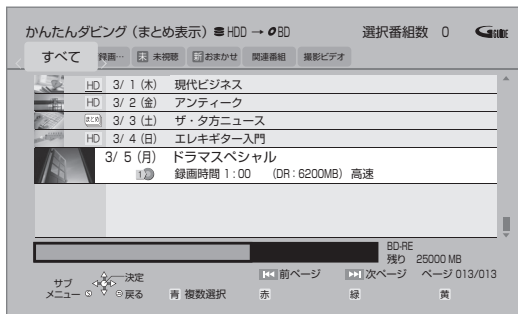
ダビング方向：

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

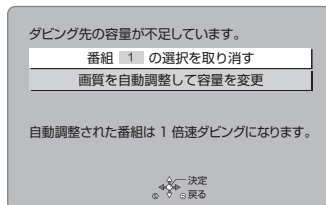
HDD にある番組をディスクにダビングします。

1 ディスクを入れる

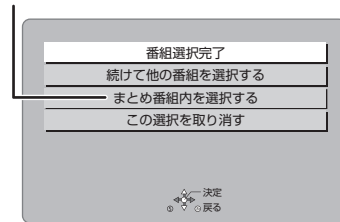
2 「かんたんダビング」を選び、決定 を押す

- **RAM** **-R** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
  画質を選び、[決定] を押してください。

3 番組を選び、決定 を押す

選んだ番組がディスク残量を超える場合

確認画面が表示されます。

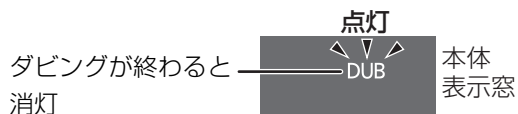
例）

「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

4 「番組選択完了」を選び、決定 を押す

手順３でまとめ番組を選んだときのみ表示

他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。（➜ 手順 3 へ）

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- オプション設定について（➜81）

6 「はい」を選び、決定 を押す

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

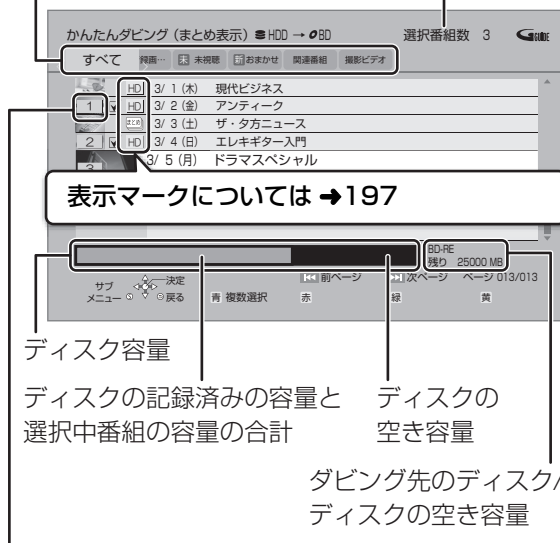
ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作（➜87）

お知らせ

- 「DVD 画質」で未フォーマットの **-R** **-RW** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
  - ・10 ～ 1 の番組が含まれている場合　：VR 方式
  - ・10 ～ 1 の番組が含まれていない場合 ：ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。（まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が 99 番組を超えると、ダビングできません）
- プロテクト設定（➜72）されている 1 の番組はダビングできません。

かんたんダビングの画面の見方

ダビングする画質について

HD 表示のある番組：

- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

  BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

- 以下のディスクはDVD画質でのダビングになります。

  RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW

HD 表示のない番組：

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) にはハイビジョン画質でダビングします。（ただし画質は向上しません）

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面（➜80 手順 3）で

❶ 番組を選び、サブメニュー S を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☑ が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ●ダビング終了後自動電源［切］ ●ダビング終了後自動ファイナライズ（-R -RW のみ）
視聴制限一時解除※	「HDD番組の視聴制限」（➜138）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※	表示順を変更します。 （全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※ 番組に ☑ が付いているときはできません。

詳細ダビング

ダビング方向：

- HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD
- BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) ➡ HDD
- USB-HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜124)

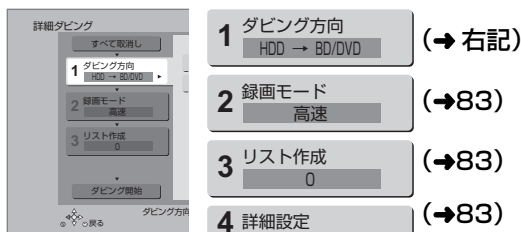
1 スタート を押す

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [I◀◀] [▶▶I] でページを切り換えてください。

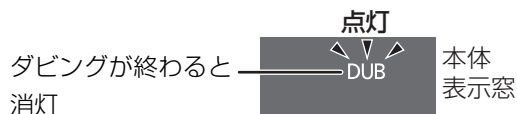
3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す (➜ 右記へ)

●「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

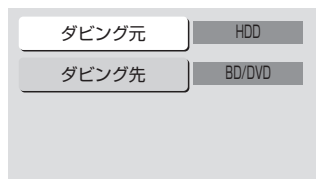
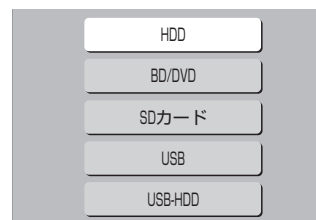
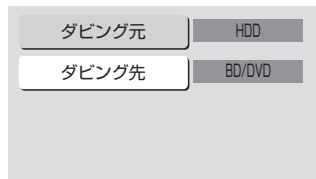
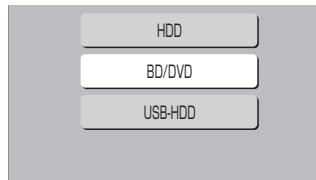
6 「ダビングする」または「ダビング後に電源 [切]」を選び、決定 を押す

点灯

ダビングが終わると消灯 —— DUB 本体表示窓

☞ **ダビングを実行中に中止するには**

[戻る] を 3 秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。
●中止時の動作 (➜87)

ダビング方向

❶ 「ダビング元」を選び、決定 を押す

❷ ダビング元を選び、決定 を押す

❸ 「ダビング先」を選び、決定 を押す

❹ ダビング先を選び、決定 を押す

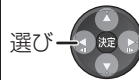
❺ [◀] を押す (➜ 左記手順 4 の画面へ)

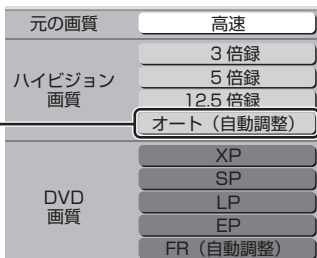
お知らせ

- HDD USB-HDD ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。(複製後は まとめ 番組になります)
  - ･コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります)
  - ･1 表示のある番組、ダウンロードした番組の複製はできません。

録画モード

❶「録画モード」を選び、決定 を押す

録画モード	高速

❷ 録画するモードを選び、決定 を押す

記録先の空き容量に合わせて、1.5～12.5倍録モードの中から自動で選択してダビングします。

- ハイビジョン画質を選択時に [サブ メニュー] を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(➜ 57)

❸ [◀] を押す（➜82 手順 4 の画面へ）

お知らせ

- **録画モードと記録時間の目安（➜206）**
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。

リスト作成（番組を選択する）

❶「新規登録」を選び、決定 を押す

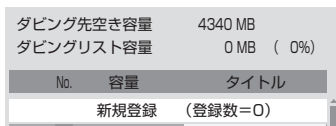
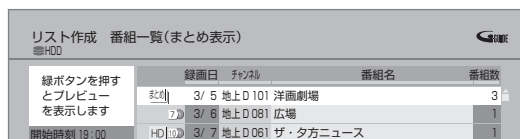
ダビング先空き容量	4340 MB
ダビングリスト容量	0 MB （ 0%）

No.	容量	タイトル
	新規登録	（登録数＝0）

❷ 番組を選び、青 を押す

リスト作成　番組一覧（まとめ表示）
HDD

緑ボタンを押すとプレビューを表示します
開始時刻 19：00

	録画日	チャンネル	番組名	番組数
まとめ	3/ 5	地上D 101	洋画劇場	3
7	3/ 6	地上D 081	広場	1
HD 10	3/ 7	地上D 061	ザ・タカニュース	1

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❸ すべてを選んだあと、決定 を押す

❹ [◀] を押す（➜82 手順 4 の画面へ）

お知らせ

- USB-HDD にダビングする場合や高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。（USB-HDD には「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません）
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
  ・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

（-R -RW へダビングするときのみ）

❶「ファイナライズ」を選び、決定 を押す

❷「入」または「切」を選び、決定 を押す

❸ [◀] を押す（➜82 手順 4 の画面へ）

（BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へ 1.5 ～ 12.5 倍録 モードを選んでダビングするときのみ）
複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

❶「音声・字幕の記録」を選び、決定 を押す

❷「モード 1」または「モード 2」を選び、決定 を押す

- モード 1 ：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード 2 ：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(➜70) で記録する内容を設定してください。

❸ [◀] を押す（➜82 手順 4 の画面へ）

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (➜127) を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

詳細ダビング（続き）

ダビングの便利な機能

リスト作成画面（➜83「リスト作成」手順 ❷）で

❶ 番組を選び、[サブメニュー] を押す

❷ 項目を選び、[決定] を押す（➜ 下記へ）

内容確認※	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除※ HDD USB-HDD	「HDD 番組の視聴制限」（➜138）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※ HDD USB-HDD	表示順を変更します。（全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ 全番組表示へ※ HDD USB-HDD	表示を切り換えます。

※　番組に☑ が付いているときはできません。

リスト作成画面（➜83「リスト作成」手順 ❶）で

●登録されたリストや設定を取り消す：
「すべて取消し」を選び、[決定] を押す

●リスト項目を入れ替える：
番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ

●リストの追加や消去、移動などの編集をする：
[サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
・リスト全消去
・追加
・消去
・移動

ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングする

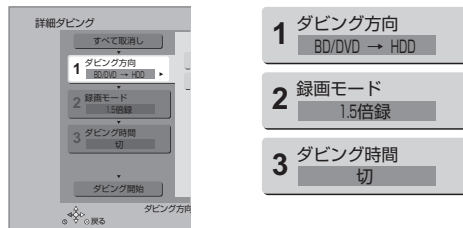
ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：
DVD-V（ファイナライズ後の -R(V) -RW(V)、+R、+R DL、+RW）➜ HDD

1 [スタート] を押す

2 「ダビングする」を選び、[決定] を押す
●表示がない場合は [⏮][⏭] でページを切り換えてください。

3 「詳細ダビング」を選び、[決定] を押す

4 項目を選び、[▶] を押す
●操作方法は「詳細ダビング」（➜82）をご覧ください。

以下のように設定してください。
・「ダビング方向」:「ダビング元」➜「BD/DVD」
・「録画モード」 :「録画モード」を選ぶ
（1.5～12.5倍録のみ選べます）
・「ダビング時間」: ダビング時間を設定する（➜85）

5 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

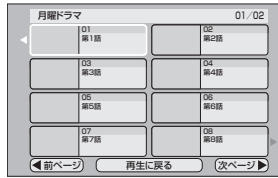
6 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、[決定] を押す

●最初に右記の画面がダビングされます。

●番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

トップメニューが表示された場合は

番組を選び、[**決定**] を押す

好みの番組を再生するには

① [**録画一覧**] を押す
② 番組を選び、[**決定**] を押す

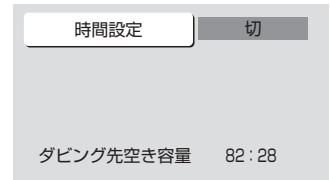
ディスクの再生が始まらない場合は

① [**▶ 再生**] を押す
②（トップメニューが表示されたら）
番組を選び、[**決定**] を押す

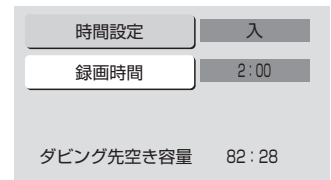
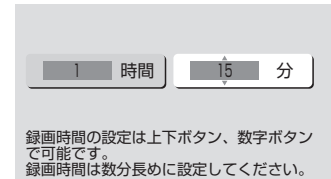
ダビングを実行中に中止 / 終了するには

[**戻る**] を 3 秒以上押す

ダビング時間

❶ **「時間設定」を選び、決定 を押す**

❷ **「入」または「切」を選び、決定 を押す**

●「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

❸ **「録画時間」を選び、決定 を押す**

❹ **“時間”または“分”を選び [▲][▼] で設定し、決定 を押す**

お知らせ

- **市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ（➜66）で飛び越すことができます。

番組をダビングする（続き）

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にダビングすることができます。（1 番組のみダビング）
記録する音声や字幕情報を設定できるので、複数の音声や字幕情報を含んだ番組を DVD 画質で DVD にダビングするときに便利です。

- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -RW

- ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜124）

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合：

- RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) **［音声切換］**を押して記録したい音声を選び、「信号切換」（➜70）で字幕情報の設定をする

2 サブメニュー S を押す

- 表示されない場合、もう一度［**サブ メニュー**］を押してください。

3「再生中番組の保存」を選び、決定 を押す

4「保存開始」を選び、決定 を押す

ダビングを実行中に中止するには

［**戻る**］を 3 秒以上押す

- 中止時の動作（➜87）

お知らせ

- RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) 複数の音声を含んだ番組を 2 番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。
  ① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
  ・**［音声切換］**を押して記録したい音声を選ぶ
  ・「信号切換」（➜70）で字幕設定をする
  ② かんたんダビング（➜80）、詳細ダビング（➜82）
  字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1 番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例）デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合

番組 A	番組 B	番組 C
ダビング完了	ダビング完了	中止

番組 A・B のみダビングされます。
番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。
ただし、コピー制限のない番組を 1 倍速でダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

BD-R **-R** 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数 (➜208) を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、1 倍速ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

- ダビング先の **BD-RE** **BD-R** の残量が少ない
- **BD-RE** **BD-R** 以外のディスクへのダビング

3D 対応の番組のダビングについて

- 以下の番組のダビングをした場合は、「出力方式」(➜68) を「サイドバイサイド」にして再生してください。
  - ・3D 表示のある番組を **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビング
  - ・3D 表示のないサイドバイサイドの番組をダビング
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、1倍速ダビングになり、2D映像として記録されます。
  - ・ダビング先の **BD-RE** **BD-R** の残量が少ない
  - ・**BD-RE** **BD-R** 以外のディスクへのダビング

複数の音声（マルチ音声）や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。

- **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**
  （高速、1.5 ～ 12.5 倍録 モードでダビング時）
  複数の音声や字幕情報を記録できます。（再生時に切り換え可能）
- **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** （HDD からダビング時）
  複数の音声や字幕情報の記録はできません。（再生時に切り換え不可）
  再生中番組の保存 (➜86) でダビングしてください。

お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。

  BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** 詳細ダビングの詳細設定 (➜83) で、「音声・字幕の記録」を「モード 2」にしてディスクに 1 倍速ダビングすると、「信号切換」(➜70) で設定した内容で記録することができます。（ただし、音声の切り換えや字幕表示の入 / 切はできなくなります）

二重音声の番組のダビングについて

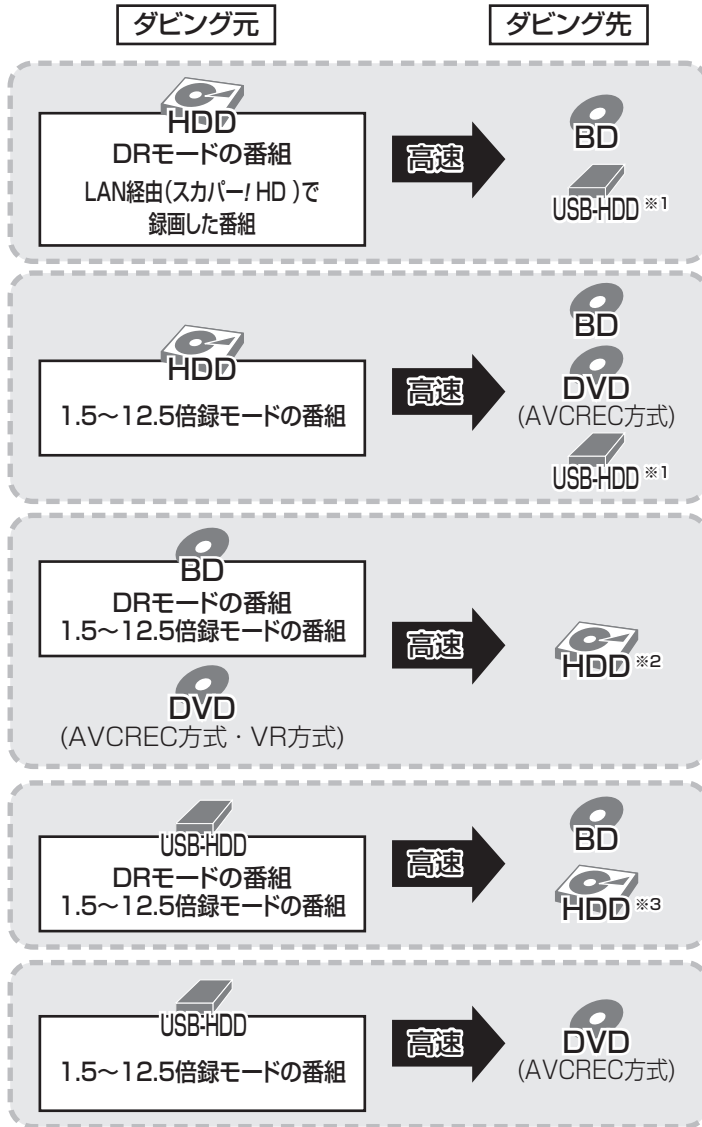
録画した番組をダビングする場合、音声は以下のようになります。

- **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** **USB-HDD** **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)**
  両方の音声を記録
- **-R(V)** **-RW(V)** 以下の設定に従って記録：
  「DVD-Video 記録の設定」(➜137) の「ぴったり録画の音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする

ダビング時の動作について（続き）

ダビングする番組とディスクによりダビング速度は異なります。

高速でダビングできる場合

ダビング元		ダビング先
HDD DRモードの番組 LAN経由（スカパー! HD）で録画した番組	高速	BD USB-HDD ※1
HDD 1.5～12.5倍録モードの番組	高速	BD DVD（AVCREC方式） USB-HDD ※1
BD DRモードの番組 1.5～12.5倍録モードの番組 DVD（AVCREC方式・VR方式）	高速	HDD ※2
USB-HDD DRモードの番組 1.5～12.5倍録モードの番組	高速	BD HDD ※3
USB-HDD 1.5～12.5倍録モードの番組	高速	DVD（AVCREC方式）

※1　USB-HDD へは移動のみできます。
（ダビング残り可能回数を保持したまま転送され、HDD の番組は消去されます）

※2　デジタル放送の番組をダビングする場合
・DVD からはダビングできません。
・BDからは移動のみできます。（ムーブバック）
（ディスクの番組は消去されます。
ただし BD-R はディスク残量は増えません）
・ファイナライズ後の BD-R からは移動できません。

※3　HDD へは移動のみできます。
（ダビング残り可能回数を保持したまま転送され、USB-HDD の番組は消去されます）

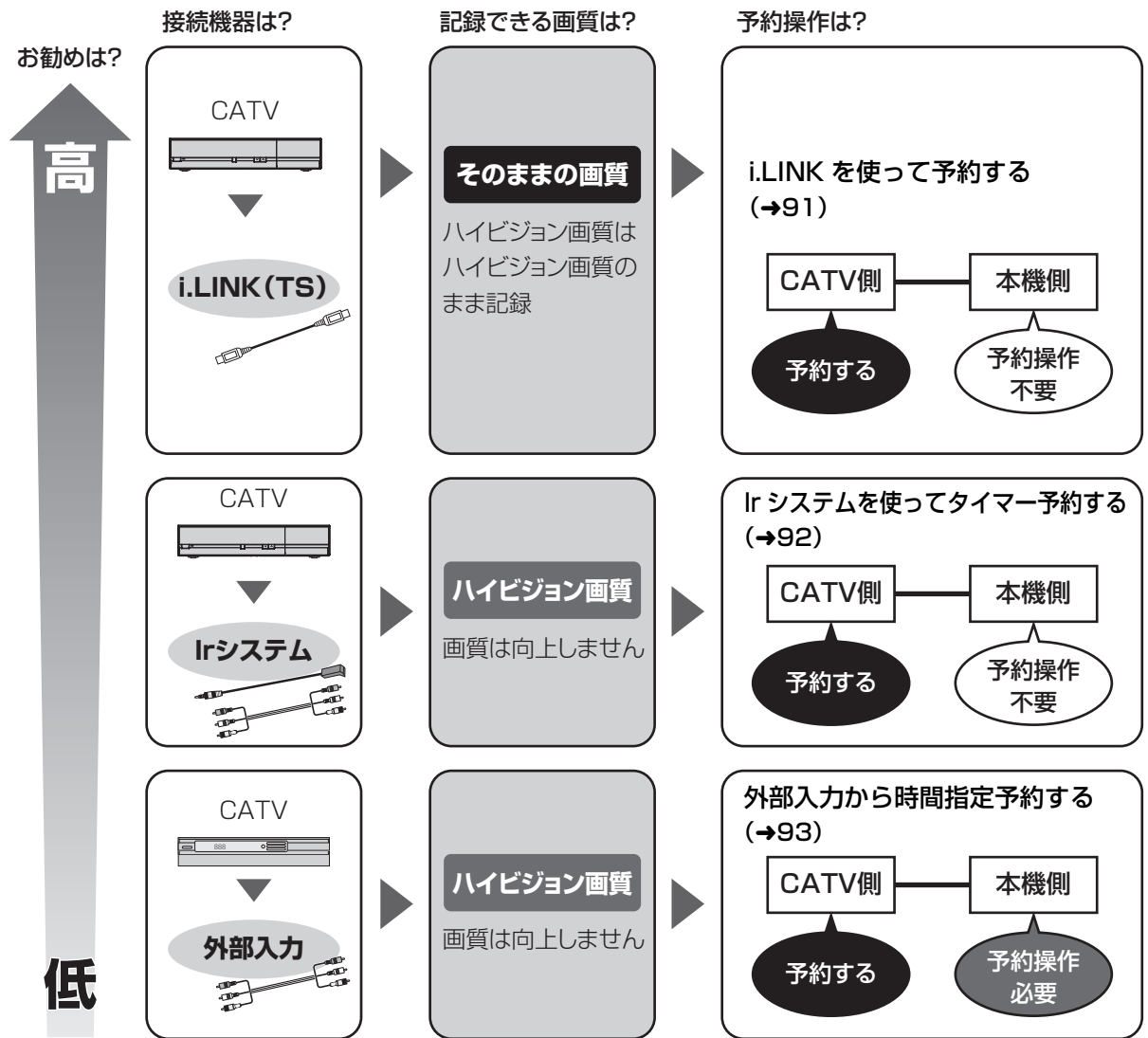
- 高速ダビングでの録画モードは、ダビングする番組と同じです。
- ディスク容量を超えてダビングする場合やディスクに記録した機器によっては、1 倍速ダビングになります。
- HDD にダビングした XP、SP、LP、EP、FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR 方式の DVD には高速で、それ以外のディスクには 1 倍速でダビングします。

高速でダビングできない場合 （1 倍速ダビングになる場合）

※４　ビデオ方式の DVD には、コピー制限のない番組のみダビングできます。

※５　コピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみダビングできます。

CATV（ケーブルテレビ）から本機に録画する

接続の詳細については（➜163）

i.LINK（TS）端子、Ir システムを使っての録画は、できない機器もあります。接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

上記の接続で、見ている番組を録画するときは（➜91）

お知らせ

- CATV からコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング 10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。

見ている番組を録画する

HDD

1 [入力切換] を押して、CATV を接続した端子（「L1」など）を選び、CATV でチャンネルを選ぶ

2 [録画モード] を押して、録画モード（➜56）を選ぶ

●i.LINK（TS）入力の場合、DR モードのみ選べます。

3 [ワンタッチ予約 録画] を押す

4 録画の終了方法を選び、[決定] を押す

録画を止めるには

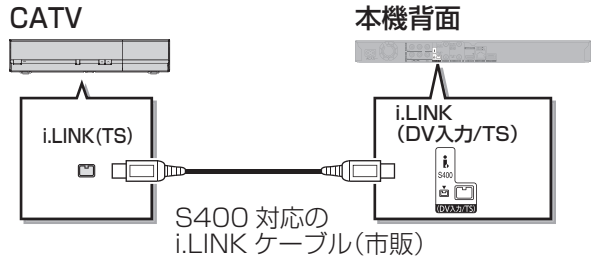
[■ 停止] を押す

お知らせ

●外部入力（L1）から録画中、ディスクへの DR モード以外の予約録画が始まると、録画が中断します。

●i.LINK（TS）入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画（➜58）できない場合は、録画が中断します。

i.LINK を使って予約する

HDD

●**初期設定**で以下の設定をする

・「i.LINK 機器モード設定」:「TSモード2」（➜141）

1 CATV 側の i.LINK 設定で本機を設定する

2 CATV 側で予約をする

●「録画機器」の設定は、「D-VHS」にしてください。

例）CATV 側の予約画面

予約方法は機器により異なります。詳しくは CATV 側の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の電源を切る

お知らせ

●本機には DR モードで録画されます。

●本機の予約一覧には登録されません。

●i.LINK（TS）入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画（➜58）できない場合は、録画が中断します。

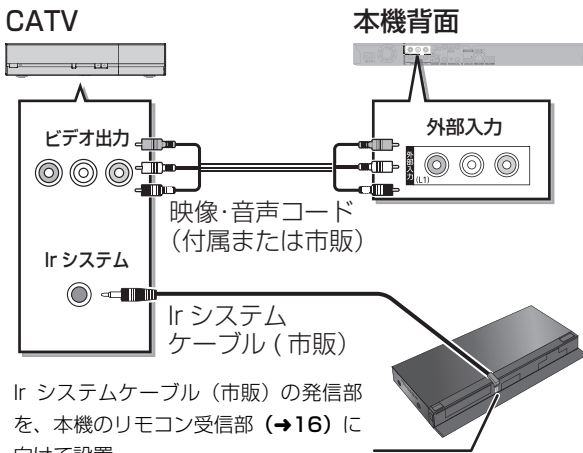
●他の操作を実行していると、予約録画が開始されない場合があります。予約の開始前には本機の電源を切ってください。

●録画中に本機の電源を切らないでください。

●番組の先頭部分が録画されないときがあります。

CATV（ケーブルテレビ）から本機に録画する（続き）

Ir システムを使ってタイマー予約する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

●**初期設定**で以下の設定をする
·「リモコンモード」（➜144）:
CATV 側の Ir システムのリモコン種別の番号と合わせる

1 **CATV 側の Ir システムを設定する**

2 **CATV 側で予約をする**

●「録画機器」の設定は、「Ir(タイマー)」にしてください。

例）CATV 側の予約画面

詳細設定

予約を登録する

予約方式	見るだけ　録画
録画機器	Ir(タイマー)
録画モード	——
信号設定	
その他の設定	

予約方法は機器により異なります。詳しくは CATV 側の取扱説明書をご覧ください。

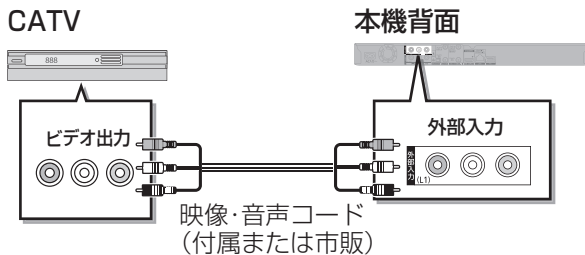
●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に “ACCEPT”が表示されます。
●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。（➜51）

お知らせ

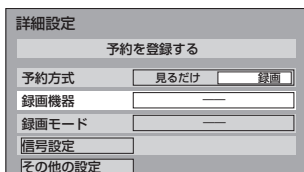
●本機動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。
●お使いの機器によっては、タイマー予約ができない場合があります。

外部入力から時間指定予約する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC)

-R(VR) -RW(VR)

1 CATV 側で予約をする

●「録画機器」の設定は、「――」にしてください。

例）CATV 側の予約画面

予約方法は機器により異なります。
詳しくはCATV側の取扱説明書をご覧ください。

2 本機の「時間指定予約」で予約する（➜50）

●「放送種別/チャンネル」は「外部入力L1」に設定してください。

お知らせ

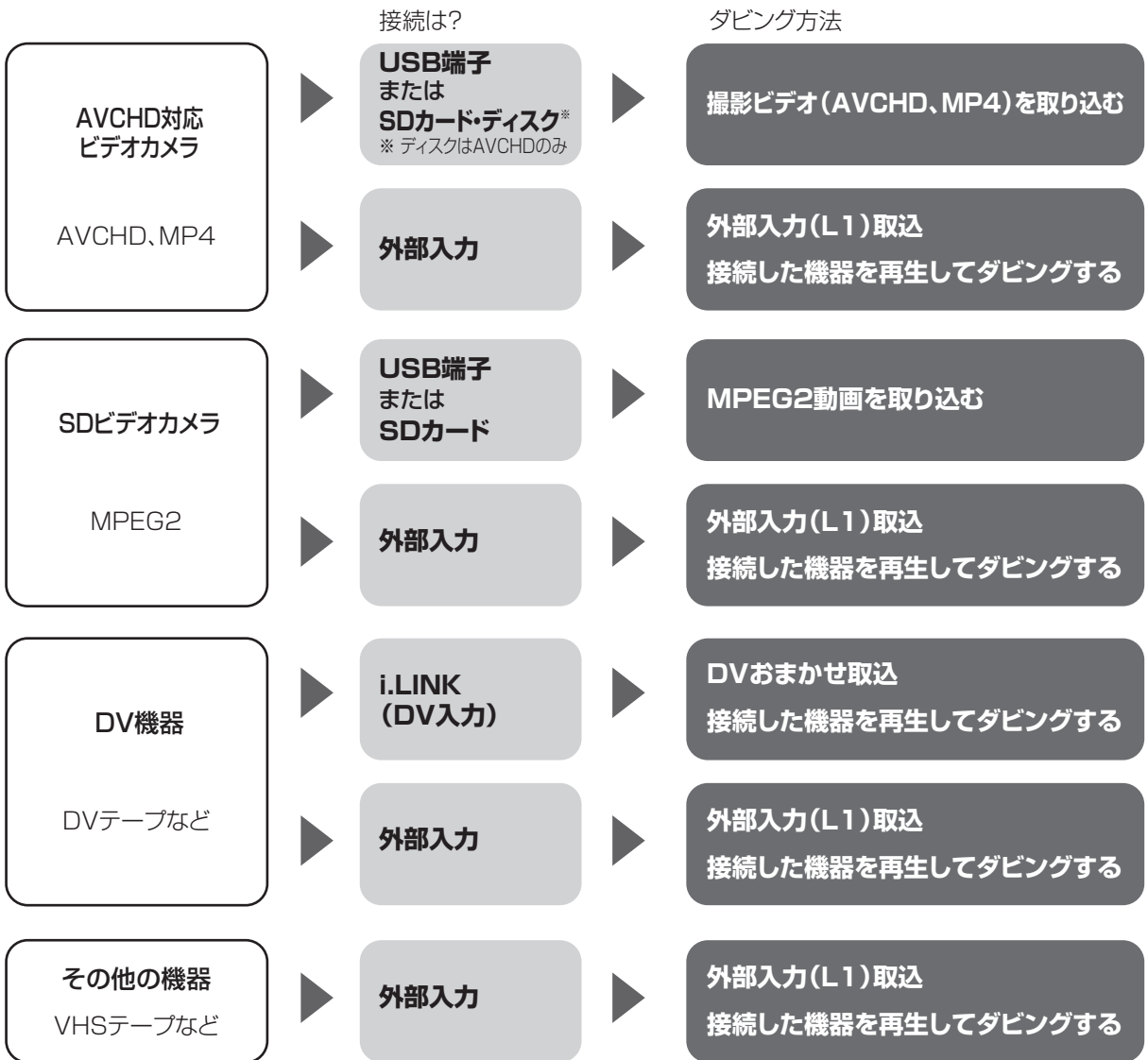
●**Ir システムを使った連動予約について**

Ir システム連動予約対応機器の場合、Ir システムを使うと、本機の予約操作は不要になりますが、録画の開始時刻に本機側が以下の状態になっている必要があります。

・入力切換が「外部入力（L1）」

・電源「切」

上記状態になっておらず予約が失敗することを防ぐため、Ir システムを使って予約をする場合は、タイマー予約（➜92）での予約をお勧めします。

ビデオカメラからダビングする

接続と設定

USB 端子

●接続する(➜154)

SD カード・ディスク

●挿入する(➜19)

外部入力

●ビデオと接続する(➜166)

i.LINK(DV 入力)

●i.LINK ケーブルで接続する(➜163)

●**初期設定**で以下の設定をする

・「DV 入力時の音声設定」: 記録する音声の種類を選ぶ(➜140)

・「i.LINK 機器モード設定」: 「DV モード」(➜141)

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を取り込む

USB　SDカード　ディスク

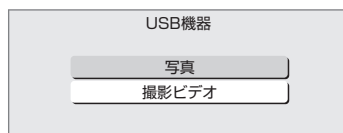
AVCHD対応ビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 「1080/60p」※や「AVCHD 3D」の表示がある番組は HDD BD-RE BD-R にのみ取り込むことができます。

※ 1080/60p（1920×1080/60プログレッシブ）記録の番組

- MP4の番組は HDD にのみ取り込むことができます。（取り込みは1倍速になります）
- MP4 取り込み時の画質は、「MP4 取り込み画質」（➜138）で選ぶことができます。
「高画質モード」は 2 倍録相当、「標準モード」は 5 倍録相当の画質になります。

USB 機器を接続する（➜154）またはディスク、SD カードを入れると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）USB

- USB 機器側で本機と接続するための設定をしてください。詳しくは、USB 機器の説明書に従って行ってください。

USB 機器または SD カードの場合：

- かんたん差分取り込み：右記の手順 4 へ
- 選んで取り込み：96 ページの手順 4 へ

ディスクの場合：

- 96 ページの手順 5 へ

かんたん差分取り込み

USB　SDカード

取り込んだ撮影ビデオの履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された撮影ビデオのみを取り込みます。

取り込み方向：

USB SD ➡ HDD

1 **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

USB 手順 6 へ

5 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

6 「かんたん差分取り込み」を選び、決定 を押す

7 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 取り込んだ撮影ビデオの履歴は、SD カードは 5 枚、USB 機器は 1 台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除されます。
- 取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜138）や「全番組消去」（➜138）を行うと、削除されます。
- 同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」（➜96）を行ってください。
- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 以下の操作を行った場合、取り込み済みの動画を再度取り込んでしまいます。
  - ・ビデオカメラなどで編集
  - ・取り込みを中断
  - ・取り込み済みの履歴が削除されている場合
  - ・別メディアに記録された同じ撮影ビデオを取り込む場合

選んで取り込み
USB　SDカード　ディスク

取り込み方向：
- USB SD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) ➡ HDD

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す
- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す（➜ 手順５へ）

USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す
USB から取り込む場合（➜ 手順６へ）

5 「撮影ビデオを取り込む」または「撮影ビデオ（AVCHD）を取り込む」を選び、決定 を押す
ディスクから取り込む場合（➜ 手順７へ）

6 「選んで取り込み」を選び、決定 を押す
- 複数種類の撮影ビデオがSDカードやUSB機器に存在している場合、メッセージが表示されます。取り込みたい撮影ビデオを選び、[決定] を押してください。
- USB SD 「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、[決定] を押してください。

7 タイトルを選び、青 を押す
- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

8 すべてを選んだあと、決定 を押す

9 「取り込み開始」を選び、決定 を押す
- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

お知らせ
- 1 つのタイトルに 99 シーンを超えて記録されている場合、99 シーンごとに分けて取り込みます。
- AVCHD 対応ビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。
- 本機は、当社製 AVCHD 対応ビデオカメラ DZ-BD10H の HDD からの取り込みには対応（HS モードは取り込みできません）していますが、DZ-BD9H/DZ-BD7H/DZ-HD90 の HDD からの取り込みはできません。

取り込んだ動画の録画一覧での表示

HDD の録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD※ ：「AVCHD」

※サイドバイサイド方式で記録した 3D 映像も含む。

- AVCHD 3D ：「AVCHD 3D」
- 1080/60p の番組 ：「AVCHD PRO」
- MP4 ：「AVC VIDEO」

MPEG2 動画を取り込む（ダビング）

USB　SDカード

SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画をダビングします。

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜124)

ダビング方向：

USB SD ➜ HDD RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)

1 USB機器を接続するまたはSDカードを入れる

USB 機器を接続するには（➜154）

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

USB 手順 4 へ

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

4 「選んで取り込み」を選び、決定 を押す

●複数種類の撮影ビデオがSDカードやUSB機器に存在している場合、メッセージが表示されます。「MPEG2」を選び、[決定] を押してください。

5 項目を選び、[▶] を押す

●操作方法は「詳細ダビング」(➜82）をご覧ください。
以下のように設定されているかご確認ください。
・「ダビング方向」:「ダビング元」➜「USB」
または「SD カード」

6 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

7 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、決定 を押す

お知らせ

- ダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
- USB 機器や SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。
- ダビング中は、録画や再生はできません。
- BD-RE、BD-R には直接ダビングできません。いったん HDD にダビングしてから、ディスクにダビングしてください。

接続した機器を再生してダビングする

外部入力　i.LINK(DV入力)

HDD

1 [入力切換] **を押して、外部機器を接続した端子（L1、DV）を選ぶ**

2 [録画モード] **を押して、録画モード（➜56）を選ぶ**

●1.5 ～ 12.5 倍録モードのみ選べます。

3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、[ワンタッチ予約録画] **を押す**

4 録画の終了方法を選び、[決定] **を押す**

☞録画を一時停止するには

[❚❚ 一時停止] を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

☞録画を止めるには

[■ 停止] を押す

外部入力（L1）取込（ぴったり録画）

外部入力

BD-RE　BD-R　RAM(AVCREC)　RAM(VR)　-R(AVCREC)　-R(VR)　-R(V)　-RW(VR)　-RW(V)

●外部入力（L1）端子に接続したときのみ

1 [スタート] **を押す**

2 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] **を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「番組を探す・予約する」を選び、[決定] **を押す**

4 「ぴったり録画」を選び、[決定] **を押す**

5 「ディスクに録画」を選び、[決定] **を押す**

6 “時間” または “分” を選び、録画時間を設定する

●BDは24時間、DVDは8時間を超えて設定することはできません。

7 接続した機器で再生を始め、「録画開始」を選び、[決定] **を押す**

● BD-RE　BD-R　RAM(AVCREC)　-R(AVCREC)
残量に合わせて 1.5 ～ 12.5 倍録モードのいずれかで録画します。

● RAM(VR)　-R(VR)　-R(V)　-RW(VR)　-RW(V)
FR モードで録画します。

☞録画の残り時間を確認するには

[画面表示] を押す

☞録画を一時停止するには

[❚❚ 一時停止] を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

☞録画を止めるには

[■ 停止] を押す

DV おまかせ取込

i.LINK(DV入力)

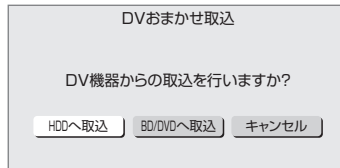
HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) RAM(VR) -R(AVCREC) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)

●i.LINK（DV 入力 /TS）端子に接続したときのみ

1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく

DVおまかせ取込

DV機器からの取込を行いますか?

HDDへ取込 BD/DVDへ取込 キャンセル

2 「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、決定 を押す

3 録画モード Ⓜ を押して、録画モード（➜56）を選ぶ

録画モードは以下から選びます。

● HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
1.5 ～ 12.5 倍録モード

● RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)
XP、SP、LP、EP モード

4 「録画開始」を選び、決定 を押す

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

お知らせ

●i.LINK（DV 入力 /TS）経由で、接続した機器から本機を操作することはできません。

●i.LINK（DV 入力 /TS）経由で本機に接続できる DV 機器は、1 台のみです。

●DV 機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。

●「外部入力（L1）取込」中または DV 入力からダビング中は
・予約録画が始まると、ダビングを中断します。
・追っかけ再生、同時録画再生、放送 / 入力切換はできません。

● -R 記録や編集を約 30 回行うと、そのディスクは記録できなくなる場合があります。

● -R(V) -RW(V) 「外部入力（L1）取込」または「DV おまかせ取込」後にファイナライズ（➜127）を行うと、自動的に約 5 分ごとのチャプターを作成します。

●片面 2 層の -R(V) は、外部入力（L1）取込や DV おまかせ取込はできません。

●日付や時刻情報は記録されません。

●DV 機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。

他の機器と

レコーダー・ビデオデッキ・テレビ（Wooo）から ダビングする

※ 1　i.LINK（TS）、LAN 端子でダビングするかは機器によって異なります。

※ 2　LAN 端子を使ってダビングします。

接続と設定

i.LINK（TS）

- i.LINK ケーブルで接続する（➜163）
- 「i.LINK機器モード設定」を設定する（➜141）
  - ・当社製ブルーレイディスクレコーダーと接続：「TS モード 1」
  - ・当社製テレビと接続：「TS モード 2」
- 接続機器側の i.LINK（TS）の設定をする

外部入力

- ビデオと接続する（➜166）

LAN 端子

- ネットワーク接続と設定をする（➜168、175）
  AV ネットワーク機能の設定を変更する場合（➜146）

i.LINK（TS）を使ってダビングする

HDD に DR モードで録画した番組を、ハイビジョン画質のままダビングすることや、接続した機器から HDD へダビングすることができます。

●本機は、i.LINK（TS）に対応した当社製ブルーレイディスクレコーダーまたは当社製テレビとの動作のみ保証しています。（2012 年 2 月現在）

対応機器

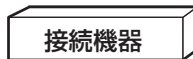
●当社製ブルーレイディスクレコーダー：
DV-BH250/DVL-BR9/DVL-BR10/DVL-BRT11/DVL-BRT12

●当社製テレビ：
XR01/HR01/XR10000/HR10000/HR100CS/HR9000/HR8000 シリーズおよび L37-X01

お知らせ

●S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
●本機から i.LINK 対応機器の再生などの操作はできません。
●i.LINK（TS）経由で本機に接続できる i.LINK（TS）機器は、1 台のみです。

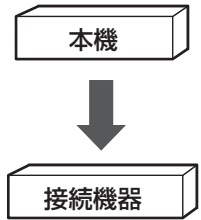
レコーダーなどから本機へダビングする

ダビングできる当社製機器：
ブルーレイディスクレコーダー
テレビ

ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

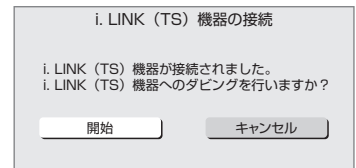
●接続した機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
●DR モードでダビングします。
●本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画 (➔58) できない場合は、ダビングは中止されます。

本機からレコーダーなどへダビングする

i.LINK（TS）ダビング

● HDD の DR モードの番組のみダビングできます。

1 接続した i.LINK（TS）機器の電源を入れる

2 「開始」を選び、決定 を押す

●ダビング元になる側で操作します。

下記操作で開始することもできます。
① **[スタート]** を押す
② 「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③ 「残す」を選び、**[決定]** を押す
④ 「i.LINK(TS)ダビング」を選び、**[決定]** を押す

3 番組を選び、青 を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、**[青]** を押す

4 すべてを選んだあと、決定 を押す

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

●ダビングは、1 倍速になります。

お知らせ

● 1 の表示がある番組は以下のようになります。
・ダビングすると、HDD から消去されます。
・ダビングを中止すると、中止した位置までの内容は HDD から消去されます。
● 10 ～ 2 の表示がある番組は以下のようになります。
・ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
・ダビングを中止してもダビングできる残り回数は減ります。
●接続した機器が、録画や再生中や確認画面が表示されているときはダビングできない場合があります。

レコーダー・ビデオデッキ・テレビ（Wooo）から ダビングする（続き）

外部入力を使ってダビングする

HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) RAM(VR) -R(AVCREC) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)

● HDD にダビングする場合：
「接続した機器を再生してダビングする」(➜98)

●ディスクにダビングする場合：
「外部入力（L1）取込」(➜98)

ネットワークを使ってダビングする

HDD

HDD 内蔵の当社製 AV ネットワークダビング対応のテレビやスカパー! HD 対応チューナーとネットワーク接続すると、テレビなどの HDD に録画した番組を本機の HDD にダビングすることができます。

●ネットワーク接続と設定をする
(➜169、170、175)
AV ネットワーク機能の設定を変更する場合(➜146)

ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

スカパー！HD 対応のチューナーから本機に録画する

スカパー! HD対応チューナーと接続する場合は､LAN端子と接続してください。

※ 1 外部入力から録画する場合は、「見ている番組を録画する」(➜91)の手順で録画してください。

※ 2 インターネットに接続しない場合は、ブロードバンドルーターの接続は必要ありません。

接続と設定

●ネットワーク接続と設定をする
(➜169、170、175)
スカパー！HD 録画の設定を変更する場合（➜146）

ネットワークで接続すると、スカパー！HD対応のチューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

HDD

スカパー！HD対応のチューナーでネットワーク設定と予約の設定をする

●本機が録画先になるように設定してください。詳しくはスカパー! HD 対応のチューナーの説明書をご覧ください。

●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。(➜51)
- ･そのままの画質で録画します。本機側で録画モードを変更することはできません。
- ･「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
- ･接続しているチューナーによって、または視聴制限のある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。

スカパー！HD 録画中は、本体前面の“LAN”ランプが点灯します。

本体表示窓

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

●複数の番組を録画中のときは、“LAN”の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

●本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。

●スカパー！HDの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
- ･本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。(➜136「時刻合わせ」)
- ･予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。

●スカパー! HDの番組を録画中は､市販のBDビデオやAVCHDのディスクを再生することはできません。

●予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」(➜48)､「番組名入力」(➜50)､「マイラベル設定」(➜49)の設定ができます。ただし、チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し､再登録するため､本機側で設定した内容は無効になります。

●録画中のスカパー！HDの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。

●予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

●スカパー！HD の番組は、録画モードが表示されません。

●視聴制限のある番組は、録画一覧画面（➜62）やダビング画面(➜80、83)などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

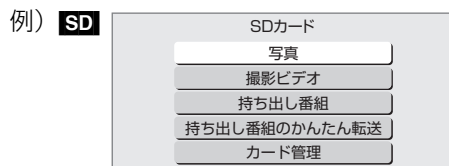
●以下の場合､記録したスカパー! HD の番組は字幕表示の入／切ができません。
- ･接続しているチューナーが字幕データの出力に対応していない場合
- ･1 倍速ダビングした場合
- ･他社製機器で記録した場合

写真を再生する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW

- CD USB 写真を記録したCD-R、CD-RWやデジタルカメラなどのUSB機器が再生できます。
- 本機では、フルHD対応の3DテレビとHDMIケーブルで接続している場合、3D対応のデジタルカメラで撮影した写真（MPO）の3D再生をお楽しみいただけます。

ディスク、SDカードを入れるまたはUSB機器を接続（➜154）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）SD

「写真」を選び、[決定]を押す
- 下記の手順5に進みます。

1 スタート を押す

HDD スタート画面の「写真を見る」を選んでください。（➜手順5へ）

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は[|◀◀][▶▶|]でページを切り換えてください。

3 BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD
「SDカード」を選び、決定 を押す

USB
「USB機器」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベント（日付またはフォルダ）を選び、決定 を押す

例）HDD
ラベル
- ▮ の付いたラベル：アルバム
  イベントをお好みでアルバムに入れておくと、さらに写真を探しやすくなります。（➜106）
- 3D ラベル：
  取り込んだ3D写真（MPO）を3D再生する場合は、このラベルから選んでください。

イベント
- HDDに取り込まれた写真（➜107）は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。

7 写真を選び、決定 を押す

☞ 再生を止めるには
[■ 停止]を押す

☞ 前後の写真を見るには
[◀][▶]を押す

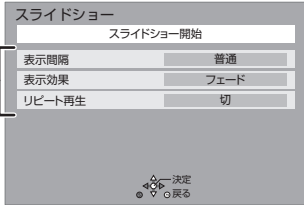
☞ 写真の情報を表示するには
[画面表示]を押す

☞ スライドショーを見るには
[▶ 再生]を押す

お知らせ
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される場合があります。
- HDD以外のメディアの写真は、フォルダごとに表示します。「¥...¥」はフォルダの階層を表します。
- ☒ の表示になっている写真は、本機では再生できません。

写真再生のいろいろな機能

写真一覧表示中または写真再生中に操作します。

1 サブメニュー S **を押す**

●表示されない場合、もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。

2 **項目を選び、決定 を押す**

写真一覧表示中

スライドショー	写真を連続して再生することができます。 **「スライドショー開始」を選び、[決定] を押す** 例） 開始前に、スライドショーの内容を設定できます。(➜ 下記) **スライドショーを終了するには** [**戻る**] を押す **表示間隔** 画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。 **表示効果** 写真の表示方法を設定します。 ●「フェード」「ランダム」「モーション」「ウェーブ」が選べます。 （3D 写真再生時を除く） **リピート再生** 再生を繰り返します。
カレンダー HDD	カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からイベントを探すことができます。

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。(➜33) ●3D写真再生時は効果がありません。
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右90° 回転 左90° 回転	写真を回転します。
壁紙登録	再生中の写真をスタート画面の壁紙に登録します。

写真の整理をする

HDD BD-RE RAM SD

1 スタート **を押す**

HDD スタート画面の「写真を見る」を選んでください。**（➜ 手順 5 へ）**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 BD-RE RAM

「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD

「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベント単位で管理する場合：

イベントを選び、サブメニュー S を押す（➜ 手順 8 へ）

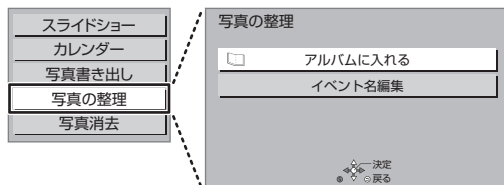
写真単位で管理する場合：

イベントを選び、決定 を押す

●HDD「イベントをまとめる」ときは、**[青]** を押してイベントを選択したあと、**[サブ メニュー]** を押してください。

7 写真を選び、サブメニュー S を押す

8 項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

例）HDD「すべて」表示時

アルバムに入れる HDD ●「すべて」表示時のみ	イベントまたは写真を既存のアルバムに登録します。 **登録するアルバムを選び、[決定] を押す**
イベント名編集	イベント名を編集します。 **文字入力については（➜119）**
イベントをまとめる HDD ●アルバム表示時のみ	選択した 2 つ以上のイベントを、1 つのイベントにまとめることができます。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
アルバムから除外 HDD ●アルバム表示時のみ	選択したイベントや写真をアルバムから外します。 **「アルバムから除外」を選び、[決定] を押す**
アルバム名編集 HDD ●アルバム表示時のみ	選択中のアルバムのアルバム名を編集します。 **文字入力については（➜119）**
写真消去 ●「すべて」「フォルダ」表示時のみ	イベントまたは写真を消去します。 **「消去」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除 BD-RE RAM SD	**「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

お知らせ

●HDD内のすべての写真を一度に消去する場合は、「全写真消去」（➜138）を行ってください。

写真を取り込む / 書き出す

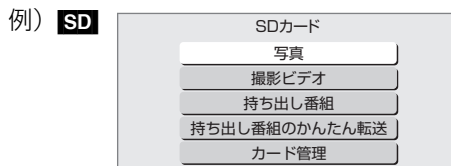
基本操作 選び 決定する

写真を取り込む

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW ➡ HDD

写真かんたん取込

取り込んだ写真の履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

ディスクや SD カードを入れるまたは USB 機器を接続（➜154）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録されている内容によって異なります）

例）SD

●下記の手順 4 に進みます。

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**

●表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

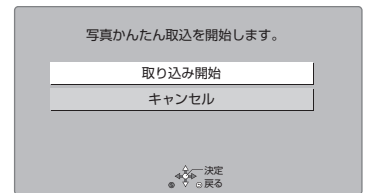
3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

4 **「写真」を選び、決定 を押す**

5 **「写真を取り込む」を選び、決定 を押す**

6 **「取り込み開始」を選び、決定 を押す**

7 **取り込み終了後、「HDD の写真一覧を見る」または「テレビ視聴画面へ」を選び、決定 を押す**

お知らせ

●写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜138）や「全写真消去」（➜138）を行うと、削除されます。
●同じ写真を取り込みたい場合、消去済み写真をもう一度取り込みたい場合、写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」（➜108）を行ってください。
●取り込んだ写真は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。
●イベント名は取り込まれません。

写真を取り込む / 書き出す（続き）

写真一覧から取り込む

1 （スタート）**を押す**

2 「メディアを使う」を選び、（決定）を押す

- ●表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、（決定）を押す
SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、（決定）を押す
USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、（決定）を押す

4 「写真」を選び、（決定）を押す

5 「写真を見る」を選び、（決定）を押す

6 イベントまたは写真を選び、（青）を押す

- ●選んだイベント、写真には☑が表示されます。操作を繰り返します。

例）SD

7 すべてを選んだあと、（赤）を押す

8 「HDD へ取り込む」を選び、（決定）を押す

9 「アルバムに入れる」または「アルバムに入れない」を選び、（決定）を押す

- ●「アルバムに入れる」を選んだ場合、取り込み先のアルバムを選んでください。
- ●「アルバムに入れる」を選んだ場合のみイベント名を取り込みます。

10 「取り込み開始」を選び、（決定）を押す

写真を書き出す

HDD ➡ BD-RE RAM SD

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW ➡ SD

SD USB ➡ BD-RE RAM

104 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 イベントまたは写真を選び、（青）を押す

- ●選んだイベント、写真には☑が表示されます。操作を繰り返します。

例）HDD

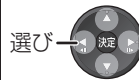
7 すべてを選んだあと、（赤）を押す

8 ディスクに書き出す場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD へ書き出す」を選び、（決定）を押す
SD に書き出す場合：
「SD カードへ書き出す」を選び、（決定）を押す

9 「書き出し開始」を選び、（決定）を押す

音楽 CD を再生する

基本操作 選び ➡ 決定する

CD

音楽 CD を入れる

●自動的に再生が始まります。

☞ **別の曲を再生するには**
再生したい曲を選び、[決定] を押す

音楽再生中のいろいろな操作

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

●再生中に、以下の再生設定を行うことができます。
·「再生」（➜71）の「リピート」「ランダム」
·「音声」（➜71）

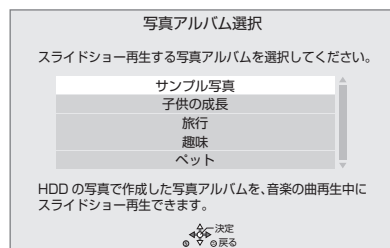
写真のスライドショー

音楽再生中に、［青］を押す

☞ **スライドショーを停止するには**
[戻る] を押す
（音楽の再生を停止したときも、停止します）

☞ **表示させる写真を選択するには**
本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ HDD に内蔵されているサンプル写真または「アルバムに入れる」（➜106）で登録したアルバムからのみ選ぶことができます。

① **スライドショー再生中に、[サブ メニュー] を押す**
② **「写真アルバム選択」を選び、[決定] を押す**
③ **アルバムなどを選び、[決定] を押す**

写真／音楽

Wooo リンクを使う

Wooo リンク（HDAVI Control™）とは

本機とHDMIケーブル（市販）を使って接続したWoooリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

※　すべての操作ができるものではありません。

■設定

① 「Wooo リンク制御」（➜140）を「入」にする
（お買い上げ時の設定は「入」）

② **接続した機器側（テレビなど）で、Wooo リンクが働くように設定する**

③ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切 / 入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**
（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

お知らせ

- Wooo リンクは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- Wooo リンクに対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。

Wooo リンク対応機器の確認

機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ（Wooo）側から録画（「レコーダー録画開始」など）をしたときの本機の動作

■録画モード・録画先

- 本機であらかじめ設定された録画モードで HDD に録画します。

■録画ができない場合

- すでに本機が「レコーダー録画開始」を実行しているときは、新たに「レコーダー録画開始」はできません。
- 本機に契約された B-CAS カードが挿入されていないとき。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

(本機のリモコン)：本機のリモコンで操作できます。

(テレビのリモコン)：テレビのリモコンで操作できます。

入力自動切換え / 電源オン連動

●テレビの電源が待機状態のときのみ

(本機のリモコン)

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。

●本機の電源「切」時は、**[アクトビラ]**、**[初期設定]**は働きません。

電源オフ連動

(本機のリモコン)(テレビのリモコン)

●リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

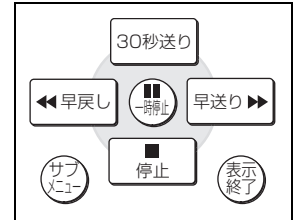
お知らせ

●ダビング、ファイナライズ、消去、**[ワンタッチ予約 録画 ●]** を押して録画などの実行中は切れません。

テレビのリモコンで本機を操作

(テレビのリモコン)

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

●本機のリモコンの **[サブ メニュー]** を押すと、下記の画面が表示されます。
テレビのリモコンのカーソルボタンで操作することができます。

●テレビのリモコンの Wooo リンクボタンを押すと、本機の予約の操作や番組表から放送局を選局することなどができます。

❶ **テレビのリモコンを使って、本機のスタート画面を表示させる**
●テレビによって、本機のスタート画面を表示させる方法や画面は異なります。(「レコーダー操作一覧」を選んで表示させる場合もあります)
●自動的に本機の電源も入ります。
スタート画面については(➜27)

❷ **テレビのリモコンで操作したい項目を選び、[決定] を押す**

便利機能

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

モバイル機器（携帯電話など）に転送するには、HDDに録画した番組から持ち出し番組を作成する必要があります。

持ち出し番組について

- 通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。（ダウンロードした番組は番組消去しても、持ち出し番組は消去されません）
- 通常の番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。（ダウンロードした番組を除く）
- 本機では、持ち出し番組の再生・編集はできません。

持ち出し番組の画質について

本機では持ち出し番組の記録画質を選ぶことができます。「高画質(VGA)」に設定すると、「ワンセグ画質(QVGA)」より高画質で作成します。（高画質と表示）
ただし、「高画質(VGA)」に対応したモバイル機器でしか再生できません。

- 「持ち出し番組の VGA 画質」(➜138)で記録する画質(1.5 Mbps/1.0 Mbps)を変更できます。

多重音声の記録について

多重音声の番組から持ち出し番組を作成する場合、以下のようになります。

- **マルチ音声の番組**
  - ・録画した番組から作成するとき：
    「信号切換」の「音声」(➜70) で設定した音声 1 つ
  - ・通常の番組の録画と同時に作成するとき：
    マルチ音声、サラウンド音声では放送されていません
- **二重音声の番組**
  - ・録画した番組から作成するとき：
    「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➜137) の設定に従う
  - ・通常の番組の録画と同時に作成するとき：
    両方の音声

持ち出し番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定 HDD

番組の予約時に、持ち出し番組を作成するように設定しておくことができます。

番組予約 (➜38 手順 5)、詳細設定 (➜48 手順 1)、または時間指定予約 (➜50 手順 3) 画面で

1. **「持ち出し番組の設定」を選び、決定を押す**
2. **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」に設定する**
3. **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
4. **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**
   - 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」(➜114) で自動的に転送することができます。

お知らせ

- 地上デジタル放送を「ワンセグ画質（QVGA)」で作成する場合、通常の番組の録画と同時に作成します。
- 以下の場合、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
  - ・「高画質（VGA)」で作成するとき
  - ・BS・CS デジタル放送、外部入力から作成するとき
  - ・LAN 経由（スカパー！HD）で録画した番組から作成するとき
  - ・地上デジタル放送録画時に、ワンセグ放送が行われていないとき
  - ・地上デジタル放送の連続録画時間が8時間を超えるときの超えた分
- ワンセグ放送が地上デジタル放送と放送内容が異なる場合や開始時刻 / 終了時刻がずれる場合、正しく作成されないことがあります。「録画した番組から作成する」(➜113) で作り直すことをお勧めします。
- 複数の音声や字幕を含む番組から作成する場合、「信号設定」(➜49) で記録したい音声や字幕を選んでください。
- 作成される持ち出し番組のアスペクトは 16:9 になります。

録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成 HDD

HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。
作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

❶ を押す

❷ 作成する番組を選び、[緑] を押す

❸ 「持ち出し番組の作成」を選び、[決定] を押す

❹ 「持ち出し番組の画質」を選び、設定する

❺ 「かんたん転送の登録」を選び、設定する
- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」(➜114)で自動的に転送することができます。

❻ 「開始方法」を選び、設定する

- すぐに：
  下記手順 ❽ の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- 電源 [切] 後：
  電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

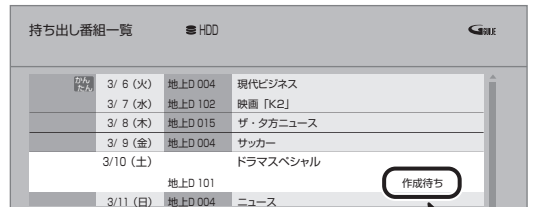
❼ 「作成する」を選び、[決定] を押す

❽ 「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、[決定] を押す

☞ 作成を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：
 を押す

☞ 作成の設定内容を変更・取り消しするには
手順 ❸ のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、**[決定]** を押す

☞ 作成が終了しているか確認するには

持ち出し番組一覧（➜114）で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

お知らせ

- ダウンロードした番組の場合：
  - ・コピー制限がある番組は、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
  - ・以下の設定はできません。
    - -「かんたん転送の登録」の「する」
    - -「開始方法」の「電源［切］後」
  - ・ネットワークに接続した状態で作成してください。
- 視聴制限のある番組は、「かんたん転送の登録」を「する」に設定することはできません。
- ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。
- HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
- 持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
  - ・二重音声 ：「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➜137)
  - ・マルチ音声：「信号切換」の「音声」(➜70)
  - ・チャプター：作成元になる番組のチャプター情報
  - ・字幕 ：「信号切換」の「字幕」(➜70)
  （「電源［切］後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます）

録画した番組をモバイル機器に持ち出す（続き）

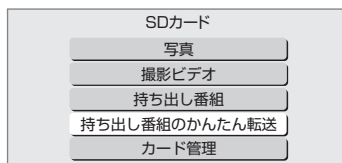
持ち出し番組を転送する

かんたん転送

「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。（最大 99 番組まで転送可能）
登録されている番組は、持ち出し番組一覧（➜ 右記）で確認することができます。

- 登録は、番組の予約時（➜112）、持ち出し番組の作成時（➜113）または作成後（➜ 右記）に行うことができます。

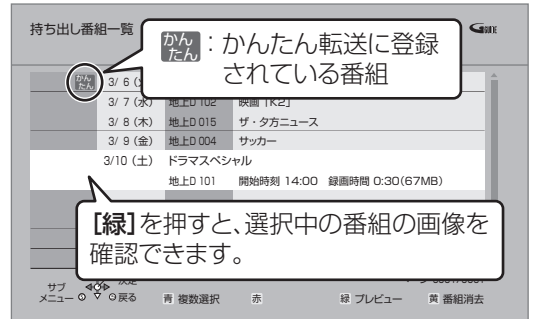
❶ **SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する**
USB 機器を接続するには（➜154）

例）SD

❷ **「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定 を押す**

持ち出し番組一覧から転送する

❶ **SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する**
USB 機器を接続するには（➜154）

例）SD

❷ **「持ち出し番組」を選び、決定 を押す**
❸ **「持ち出し番組を転送する」を選び、決定 を押す**
❹ **番組を選び、青 を押す**

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

選択を取り消すには
番組を選び、[青] を押す

❺ **すべてを選んだあと、決定 を押す**
❻ **「転送を開始する」を選び、決定 を押す**

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」（➜ 左記）
手順 ❸ のあと

❹ **番組を選び、サブメニュー S を押す**
❺ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。（➜ 上記手順 ❻ へ）
番組消去	番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の設定	「かんたん転送」（➜ 左記）の登録をします。（かんたん が表示されます）
かんたん転送の解除	「かんたん転送」（➜ 左記）の登録を解除します。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」（➜138）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

転送（ダビング）の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送（ダビング）できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
- 1 表示のある番組をダビング（転送）すると、通常の番組・持ち出し番組は HDD から消去されます。

転送した番組を確認・消去する

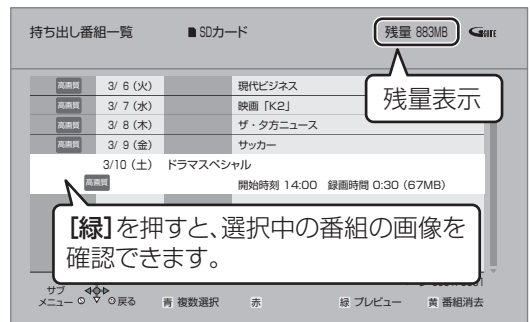
❶ **SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する**

USB 機器を接続するには（➜154）

❷ **「持ち出し番組」を選び、決定 を押す**

❸ **「持ち出し番組を確認する」を選び、決定 を押す**

❹ **番組を選ぶ**

例） SD

番組の内容を確認するには

① **[サブ メニュー]** を押す

②「内容確認」を選び、**[決定]** を押す

持ち出し番組を消去するには

① **[黄]** を押す

②「消去」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下のようになります。
  - ・通常の番組の再生はできません。
  - ・録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。
- ディスクに予約録画中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置 (**➜66「続き再生メモリー機能」**) とチャプターマーク（**➜76**）を通常の番組から引き継ぎます。
  - ・ダウンロードした番組では再生停止位置は引き継ぎません。
  - ・作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
  - ・位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定 (**➜72**) されている「1 回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。

お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。
- 本機以外で記録された持ち出し番組は、消去できない場合があります。
- 持ち出した番組の番組内容はHDDに録画した番組より少なく表示されます。

インターネットを楽しむ

本機では、インターネットを利用してアクトビラなどのサービスを楽しむことができます。

- 本機が録画中やダビング中は利用できません。また、予約録画の開始時刻になると、サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。

- ネットワーク接続と設定をする
(➜170、175)

インターネットの閲覧制限について
本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。
お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。
制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

① **[スタート]** を押す
②「放送設定」を選び、**[決定]** を押す
③「デジタル放送 視聴・再生設定」を選び、**[決定]** を押す
④「制限項目設定」を選び、**[決定]** を押す
⑤ [1] ～ [10] で暗証番号を設定する
⑥「ブラウザ制限」を選び、「する」を選ぶ

- 「アクトビラ」を利用するには、手順⑤で設定した暗証番号の入力が必要になります。

acTVila（アクトビラ）を利用する

acTVila とは

- インターネットを利用して情報サービスが受けられる、デジタルテレビの仕組みです。
- 本機は以下のコンテンツをお楽しみいただけます。
  - ･アクトビラ ベーシック
  - ･アクトビラ ビデオ
  - ･アクトビラ ビデオ・フル
  - ･アクトビラ ビデオ・ダウンロード

アクトビラの最新情報はアクトビラ情報公式サイト（http://actvila.jp/）をご覧ください。

1 [アクトビラ] **を押す**

2 **見たい項目を選び、**[決定] **を押す**

アクトビラを終了するには
[地上] [BS] [CS] を押す

お知らせ

- **ホームページへの情報登録について**
アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。

ネット操作パネルを表示する

❶ ホームページ表示中に、 を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す

Ⓐ １つ前のページへ
Ⓑ １つ先のページへ
Ⓒ 読み込みを中止
Ⓓ 表示中のページを再読み込み
Ⓔ ポータルサイトに戻るとき
Ⓕ お好みページを使う（➜ **右記**）

ネット操作パネルの表示を消すには
[サブ メニュー] を押す

お好みページを使う

お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

❶ ホームページ表示中に、サブメニュー S を押す

- 登録したい場合、登録したいホームページを表示して **[サブ メニュー]** を押してください。

❷「お好みページ」を選び、決定 を押す

■登録する

❸ 青 を押す

❹ 内容を確認し、決定 を押す

■見る

❸ 見たいタイトルを選び、決定 を押す

■削除する

❸ 削除したいタイトルを選ぶ

❹ 黄 を押す

❺「はい」を選び、決定 を押す

お知らせ

- お好みページには、あらかじめ「TSUTAYA TV」が登録されています。「TSUTAYA TV」のサービスを楽しむ場合には、お好みページからご覧ください。
- お好みページに登録できるのは「TSUTAYA TV」を除いて20件までです。

acTVila（アクトビラ）を利用する（続き）

動画コンテンツを HDD にダウンロードする

アクトビラなどのページから動画コンテンツを購入し、HDD にダウンロードすることができます。
●動画コンテンツ購入の課金方法はそれぞれのサービスのページでご確認ください。

アクトビラなどのページに従って動画コンテンツを購入する

●録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードを自動的に開始します。

ダウンロード中に点灯

本体表示窓

☞ **ダウンロードを中断するには**

ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。
① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、**[サブ メニュー]** を押す
②「ダウンロード一時停止」を選び、**[決定]** を押す
③「一時停止」を選び、**[決定]** を押す
●ダウンロードを再開するには、手順②で「ダウンロード再開」を選んでください。

☞ **ダウンロードに失敗した場合は**

ダウンロード履歴を確認してください。
（➜128「ダウンロード履歴」）

お知らせ

●電源「切」時でもダウンロードは実行されます。
●以下の操作中はダウンロードは実行されません。
・複数の番組を録画中
・LAN 経由（スカパー！HD）の番組を録画中
・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
・ダビング中
・AV ネットワーク機能など、ネットワークを利用する機能を使用中など
またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。

ダウンロードした番組を再生する

録画一覧（➜60）から再生する

☞ **ダウンロードした番組が表示されない場合**

「HDD番組の視聴制限」**（➜138）**の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。
① **[サブ メニュー]** を押す
②「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ

●視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から始まります。
●再生時はネットワークに接続した状態で行ってください。
●番組は自動的にプロテクト設定されます。

ダウンロードした番組をディスクにダビングする

ダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。

かんたんダビング（➜80）や詳細ダビング（➜82）でダビングを行う

☞ **ダウンロードした番組が表示されない場合**

「HDD番組の視聴制限」**（➜138）**の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。
① **[サブ メニュー]** を押す
②「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ

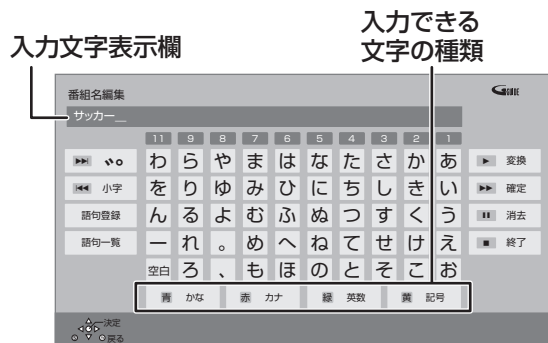
●DVD にダビングする場合、CPRM 対応のディスクを準備してください。
●ダビング時はネットワークに接続した状態で行ってください。
●番組によっては、ダビングできるディスクやダビングできる回数、期間に制限があります。番組の制限については、購入時にご確認ください。

文字入力

基本操作 選び ⇒ 決定する

本機では、表示された画面によって 2 種類の文字入力方法があります。

文字パネル方式で文字入力する

(番組名、ディスク名、アルバム名、イベント名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき)

1 青 赤 緑 黄 **で文字の種類を選ぶ**

- 漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、決定 を押す

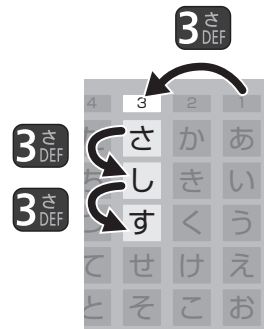
- この手順を繰り返し、文字を入力します。
- ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(➜ 右記)

3 入力が終わったら、■停止 を押す

4 「はい」を選び、決定 を押す

数字ボタン[1]～[9]、[11]でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

① **[3] を押す**
- 「さ」行に移動します。

② **[3] を2回押し、[決定]を押す**
- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶ **再生**] を押したあと、変換候補を選び、
[**決定**] を押す

- [**戻る**] を押すと、入力画面に戻ります。
- JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[❚❚ **一時停止**] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、[**決定**] を押す
② 「登録」を選び、[**決定**] を押す

語句を呼び出す

① 「語句一覧」を選び、[**決定**] を押す
② 語句を選び、[**決定**] を押す

語句の消去

① 「語句一覧」を選び、[**決定**] を押す
② 語句を選び、[**黄**] を押す
③ 「消去」を選び、[**決定**] を押す

携帯電話（リモコンボタン）方式で文字入力する
（アクトビラなどで入力するとき）

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
（番組名やディスク名はこの方法では入力できません）

1 1～12（ふた内部）**で文字を入力する**

例）「えいが」と入力するとき

4回押す（え）　1回押す　2回押す（い）　1回押す（か）　1回押す（゛）

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。（➜121）

漢字に変換するには

[▲][▼] で変換候補を選び、**[決定]** を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

映画
栄華
頴娃が
英が
瑛が

2 決定 **を押す**

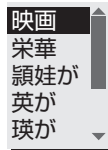
●この手順を繰り返し、文字を入力します。

映画

カーソル

文字の種類を変換する

[緑] を押して文字の種類を選び、**[決定]** を押す

●**[緑]** を押すごとに、（かな→カナ→英数→数字）に切り換わります。

●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶] でカーソルを右に移動させる

例）「あい」と入力する場合 :**[1][▶][1][1]** の順に押す

文節を分けて変換する

例）「えいが」の「えい」だけを変換する場合 :

① 「えいが」と入力して、**[▼]** を押す

② **[◀]** を押して「えい」だけを選ぶ

③ 変換候補を選び、**[決定]** を押す

映画

えいが

映が

記号を入力する

① “きごう”と入力する

② 変換候補を選び、**[決定]** を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
（カーソルの左に文字が追加されます）

文字を消す

カーソルを移動させたあと、**[黄]** を押す
（カーソルの文字が削除されます）

携帯電話方式での入力文字一覧表

入力モード＼ボタン	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	？	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	！	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	（	スペース	
	ぃ			4				8		）		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	1											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	？	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	！	ヮ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	・	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	（	スペース	
	ィ			4				8		）		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	1											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	—	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

AV ネットワーク機能を使う

AV ネットワーク機能

記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した DLNA 対応機器で行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- ●本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- ●サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
- ●他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。
- ●サーバーとクライアントについては、接続した機器の説明書も確認してください。
（どちらか一方のみに対応している場合や接続できる台数に制限があることがあります）

対応機器

- ●AV ネットワーク対応当社製テレビ：
XP05/HP05/UT800/H05/XP035/XP03/HP03/WP03/500CS/ZP05/HP07/H07/XP08/GP08/S08/V09/K09
- ●AV ネットワーク対応当社製ブルーレイディスクレコーダー：
DVL-BR9/DVL-BR10/DVL-BRT11/DVL-BRT12

別室のテレビなどで見る（本機をサーバーとして使用する）

●ネットワーク接続と設定をする
（➜169、170、175）
AV ネットワーク機能の設定を変更する場合（➜146）

HDD **USB-HDD**

DLNA 対応機器から、本機の HDD や USB-HDD に録画した番組や写真の再生ができます。

テレビなどのクライアント機器側で操作する

●画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- ●2 台以上の機器で同時に操作することはできません。

「ビデオ」を見る、「写真」を見るとき

- ●編集はできません。
- ●ダウンロードした番組は再生できません。
（DLNA対応の他社製機器から再生時）（2012 年 2 月現在）

映像が途切れたり、停止する場合

- ●本機で BD-Live などを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。

別室の機器の映像を見る（本機をクライアントとして使用する）

本機から AV ネットワーク対応の当社製テレビやブルーレイディスクレコーダーの HDD にある番組などを再生することができます。

- ネットワーク接続と設定をする
  (➔169、170、175)
- 接続した機器側で、本機を登録する
  （当社製機器の場合は「AV ネットワーク機能」または「Wooo リンク（LAN)」で登録する）
  （本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順 1 ～ 3 の操作を行ってください）

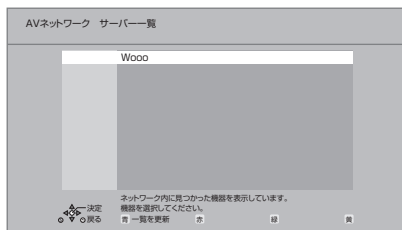
1 スタート **を押す**

2 **「AV ネットワーク」を選び、決定 を押す**

- 表示がない場合は [I◀◀] [▶▶I] でページを切り換えてください。

3 **接続する機器を選び、決定 を押す**

例）

AVネットワーク　サーバー一覧
Wooo
ネットワーク内に見つかった機器を表示しています。
機器を選択してください。
決定　戻る　青 一覧を更新　赤　緑　黄

- 選んだ機器の画面が表示されます。
- 画面に従って、以降の操作をしてください。
- 当社製ブルーレイディスクレコーダー (DVL-BR9/DVL-BR10) の場合は、サーバー一覧に「Wooo BD レコーダー」と表示されます。

お知らせ

- ディスクを再生することはできません。また接続している機器によっては、写真を再生することはできません。
- 接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、AV ネットワーク機能で接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。(➔63)
- パソコン上にあるコンテンツを再生する場合、音楽は LPCM のデータを再生できます。